

別冊

# 藤沢市市政運営の総合指針2020

—郷土愛あふれる藤沢をめざして—

## 事業集

<平成29年度～平成32年度>  
(平成30年度版)

藤 沢 市

## はじめに

- 1 藤沢市の現状と見通し
- 2 藤沢市の特性

これまでの市政運営等を踏まえた、本市の現状と見通し、特性を確認

## 第1章 基本方針

- 1 策定の背景と意義
- 2 構成と期間
- 3 長期的な視点
  - (1) めざす都市像
  - (2) 基本目標

長期的な課題、視点に基づき、歴史、価値等を踏まえた都市の姿、長期的政策目標を展望

## 第2章 重点方針

- 1 取組の考え方
- 2 まちづくりテーマ
- 3 重点施策
- 4 重点施策実現に向けた財政見通し
- 5 評価
- 6 重点施策の実現に向けた重点事業

長期的な視点を踏まえた重要性、緊急性の高い課題に対して、重点的に取り組む施策等を展開

### 別冊 事業集

- 1 重点事業
- 2 地域づくり

### 別冊 資料集

- 1 藤沢市を取り巻く社会情勢
- 2 基本方針・重点方針等に関する現状
- 3 個別計画一覧

## 目 次

1	重点施策の実現に向けた重点事業	1
2	施策・事業の体系	2
3	事業概要	6
(1)	体系別事業数	6
(2)	体系別事業費見通し	7
(3)	款別事業費見通し	8
(4)	性質別事業費見通し	9
4	重点事業等	10
	体系別事業一覧	12
(1)	まちづくりテーマ1 「安全で安心な暮らしを築く」	16
(2)	まちづくりテーマ2 「2020年」に向けてまちの魅力を創出する	27
(3)	まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	45
(4)	まちづくりテーマ4 健康で豊かな長寿社会をつくる	57
(5)	まちづくりテーマ5 都市の機能と活力を高める	84
5	地域づくり	108
	○六会地区まちづくり事業	109
	○片瀬地区地域まちづくり事業	112
	○明治地区まちづくり事業	115
	○御所見地区地域まちづくり事業	117
	○遠藤まちづくり推進事業	119
	○長後地域活性化事業	121
	○辻堂地区地域まちづくり事業	123
	○善行地区まちづくり事業	126
	○湘南大庭地域まちづくり事業	127
	○湘南台地域まちづくり事業	129
	○鵜沼地区まちづくり事業	131
	○藤沢地区まちづくり事業	132
	○村岡いきいきまちづくり事業	134





## 1 重点施策の実現に向けた重点事業

重点施策の実現を図るための個別の取組を「重点事業」として、別冊に示します。

### 重点事業

重点事業は、まちづくりテーマと重点施策の実現を図ることを目的として、指針の期間において重点的に取り組む事業となります。経常的、継続的に実施する事業と異なり、事業費、人的コストの重点的な投入や事業の組織横断的な検討実施等により取り組みます。

## 2 施策・事業の体系

5つのまちづくりテーマごとにそれぞれの重点施策と重点事業を体系化しています。

### まちづくりテーマ1 安全で安心な暮らしを築く

#### 1 災害対策の充実

- 11 防災設備等整備事業費
- 21 危機管理対策事業費
- 31 建築物等防災対策事業費
- 51 橋りょう改修費
- 61 橋りょう架替事業費
- 71 一色川改修費

#### 2 危機管理対策の推進

- 11 大規模震災等対策強化事業費

#### 3 防犯・交通安全対策の充実

- 11 街頭防犯カメラ設置推進事業費
- 21 商店街経営基盤支援事業費（街路灯LED化・防犯カメラ）
- 31 自転車駐車場整備費

### まちづくりテーマ2 「2020年」に向けてまちの魅力を創出する

#### 1 市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援

- 11 オリンピック開催準備関係費
- 21 （公財）藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費  
（オリンピック・パラリンピック関連事業費分）
- 31 ビーチバレー大会開催関係費
- 41 都市親善費

#### 2 オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力（レガシー）の創出

- 11 シティプロモーション関係費
- 21 誘客宣伝事業費
- 31 湘南藤沢フィルム・コミッション事業費
- 41 藤澤浮世絵館運営管理費
- 51 （公財）藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費  
（文化プログラム等事業費分）
- 61 文化行事費

- 71 アートスペース運営管理費
- 81 江の島地区周辺整備事業費
- 91 観光施設整備費
- 92 公衆便所整備費（江の島周辺公衆便所整備）

### まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる

#### 1 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

- 11 児童支援体制充実事業費
- 21 校務支援システム構築事業費（小学校）

#### 2 子どもの健やかな成長に向けた支援の充実

- 11 法人立保育所等施設整備助成事業費
- 21 市立保育所整備費（辻堂保育園再整備事業）
- 31 法人立保育所運営費等助成事業費
- 41 放課後児童クラブ整備事業費
- 51 小児医療助成費

#### 3 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実

- 11 子どもの生活支援事業費
- 21 子ども・若者育成支援事業費
- 31 就労支援事業費（ユースワークふじさわ）
- 41 奨学金給付事業費

### まちづくりテーマ4 健康で豊かな長寿社会をつくる

#### 1 多様な主体による支援の充実

- 11 藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費
- 21 生活困窮者自立支援事業費
- 31 地域生活支援事業費（相談支援事業）
- 41 介護人材育成支援事業費

#### 2 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進

- 11 健康づくり推進事業費
- 21 がん検診事業費
- 31 公園改修費

#### 3 コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進

- 11 市民活動支援施設運営管理費
- 21 公益的市民活動助成事業費

- 31 市民協働推進関係費
- 41 地域の縁側等地域づくり活動支援事業費
- 51 六会地区まちづくり事業費（公園改修費地域執行分含む）
- 61 片瀬地区地域まちづくり事業費
- 71 明治地区まちづくり事業費
- 81 御所見地区地域まちづくり事業費
- 91 遠藤まちづくり推進事業費
- 101 長後地域活性化事業費
- 111 辻堂地区地域まちづくり事業費（道路維持管理業務費地域執行分含む）
- 121 善行地区まちづくり事業費
- 131 湘南大庭地域まちづくり事業費  
（道路維持管理業務費・道路改修舗装費・公園改修費地域執行分含む）
- 141 湘南台地域まちづくり事業費
- 151 鵠沼地区まちづくり事業費（公園改修費地域執行分含む）
- 161 藤沢地区まちづくり事業費  
（緑地改修事業費・公園改修費地域執行分含む）
- 171 村岡いきいきまちづくり事業費  
（道路改修舗装費・公園改修費地域執行分含む）

## まちづくりテーマ5 都市の機能と活力を高める

### 1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

- 11 庁舎等整備費
- 21 労働会館整備費
- 31 善行市民センター改築事業費
- 41 辻堂市民センター改築事業費
- 51 一般廃棄物中間処理施設整備事業費
- 61 鵠南小学校改築事業費
- 71 六会中学校屋内運動場改築事業費
- 81 公共施設再整備関係費
- 111 藤沢駅周辺地区再整備事業費
- 121 健康と文化の森整備事業費
- 131 長後地区整備事業費
- 141 市道新設改良費（藤沢 652 号線）
- 151 市道新設改良費（バリアフリー事業）
- 161 村岡公民館改築事業費

### 2 誰もが移動しやすい交通体系の構築

- 11 総合交通体系推進業務費

### 3 自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進

- 11 健康の森保全再生整備事業費
- 21 自然環境共生推進事業費（生物多様性地域戦略推進事業）
- 31 地球温暖化対策関係事業費

### 4 市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備

- 11 住宅政策推進費
- 21 空き家対策関係費
- 31 新産業創出事業費
- 41 ロボット産業推進事業費
- 51 地域密着型商業まちづくり推進事業費
- 61 担い手育成支援事業費

### 3 事業概要

まちづくりテーマ等の別で集計した事業数、事業費見通しは次のとおりです。

#### (1) 体系別事業数

まちづくりテーマごとの重点事業数については次のとおりです。

表1 重点事業数一覧

まちづくりテーマ	重点事業数
1 安全で安心な暮らしを築く	10
2 「2020年」に向けてまちの魅力を創出する	14
3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	11
4 健康で豊かな長寿社会をつくる	34
5 都市の機能と活力を高める	24
合計	93

※ 重点事業には予算を伴わないものも含まれています。

※ 現在、一般会計事業のみを重点事業としていますが、重点施策、重点事業の強化を図るため、特別会計事業についても、今後の行財政改革の取組効果等を踏まえながら、毎年度の見直しの中で調整していきます。

## (2) 体系別事業費見直し

まちづくりテーマ別の年度ごとの事業費見直しは、次のとおりです。

表 1 体系別事業費見直し（事業費ベース）

（単位：千円）

まちづくりテーマ	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	期間合計
1 安全で安心な暮らしを築く	1,095,602	959,697	1,537,874	1,619,118	5,212,291
2 「2020年」に向けてまち の魅力を創出する	347,243	496,986	1,867,633	466,669	3,178,531
3 笑顔と元気あふれる子ども たちを育てる	2,149,726	2,350,993	3,216,889	2,467,445	10,185,053
4 健康で豊かな長寿社会をつ くる	600,235	657,920	721,723	801,191	2,781,069
5 都市の機能と活力を高める	19,042,579	5,754,683	10,136,511	6,386,217	41,319,990
合 計	23,235,385	10,220,279	17,480,630	11,740,640	62,676,934

表 2 体系別事業費見直し（一般財源ベース）

（単位：千円）

まちづくりテーマ	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	期間合計
1 安全で安心な暮らしを築く	434,319	342,348	768,505	850,368	2,395,540
2 「2020年」に向けてまち の魅力を創出する	322,903	370,599	704,751	395,044	1,793,297
3 笑顔と元気あふれる子ども たちを育てる	1,787,325	1,819,256	2,514,615	1,924,815	8,046,011
4 健康で豊かな長寿社会をつ くる	423,952	481,035	463,414	487,294	1,855,695
5 都市の機能と活力を高める	1,417,414	744,135	1,857,904	1,543,762	5,563,215
合 計	4,385,913	3,757,373	6,309,189	5,201,283	19,653,758

### (3) 款別事業費見通し

事務事業（予算事業）の区分である款をもとに区分した年度ごとの事業費は、次のとおりです。

表 3 款別事業費見通し（事業費ベース）

（単位：千円）

	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	期間合計
総務費	15,766,181	1,107,757	6,017,643	2,988,980	25,880,561
環境保全費	26,717	19,733	20,354	20,405	87,209
民生費	2,261,501	2,455,847	3,297,376	2,562,217	10,576,941
衛生費	125,020	358,033	940,605	960,472	2,384,130
労働費	1,849,931	2,572,032	16,884	16,884	4,455,731
農林水産業費	24,240	22,190	30,990	30,990	108,410
商工費	178,317	192,819	179,854	176,370	727,360
土木費	2,571,937	2,624,324	5,462,263	3,612,439	14,270,963
消防費	14,637	25,318	177,936	33,763	251,654
教育費	416,904	842,226	1,336,725	1,338,120	3,933,975
計	23,235,385	10,220,279	17,480,630	11,740,640	62,676,934

表 4 款別事業費見通し（一般財源ベース）

（単位：千円）

	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	期間合計
総務費	1,025,685	204,200	681,880	330,990	2,242,755
環境保全費	16,286	11,269	8,487	10,405	46,447
民生費	1,794,402	1,810,709	2,480,633	1,905,198	7,990,942
衛生費	109,873	98,586	293,327	297,674	799,460
労働費	23,197	66,302	16,884	16,884	123,267
農林水産業費	1,340	1,090	1,340	1,340	5,110
商工費	171,728	153,995	158,607	154,705	639,035
土木費	858,775	980,373	2,152,328	1,863,202	5,854,678
消防費	1,020	7,827	23,460	14,418	46,725
教育費	383,607	423,022	492,243	606,467	1,905,339
計	4,385,913	3,757,373	6,309,189	5,201,283	19,653,758



#### (4) 性質別事業費見直し

事業の性質をもとに区分した年度ごとの事業費は、次のとおりです。

消費的経費とは、支出効果はその年度限り又は極めて短期間に終わるもので、後年度に形を残さない性質の経費です。人件費、福祉の給付金、道路や施設の維持補修費などが該当します。

投資的経費とは、支出の効果が、施設等として長期間にわたる性質の経費で、普通建設事業費などが該当します。

表 5 性質別事業費見直し（事業費ベース）

（単位：千円）

	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	期間合計
消費的経費	5,189,450	6,128,626	3,974,201	3,961,597	19,253,874
投資的経費	18,045,935	4,091,653	13,506,429	7,779,043	43,423,060
合計	23,235,385	10,220,279	17,480,630	11,740,640	62,676,934

表 6 性質別事業費見直し（一般財源ベース）

（単位：千円）

	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	期間合計
消費的経費	2,680,517	2,798,910	2,958,183	3,060,459	11,498,069
投資的経費	1,705,396	958,463	3,351,006	2,140,824	8,155,689
合計	4,385,913	3,757,373	6,309,189	5,201,283	19,653,758

#### 4 重点事業等

重点事業について、予算事業名（事務事業名）ごとに示します。

予算事業は、複数の重点事業に関係していたり、再掲となったりしている場合があります。そのため、事務事業は次ページの体系順と前後することがあります。

事業の説明は平成30年度の予算事業に関する内容を記載しています。

※ 事業費については、平成29、30年度は予算額、平成31、32年度は事業見積額です。

※ 「[事業費（事務事業中の重点事業分)]」中、金額が0となっているものは事業経費のないことを、空欄となっているものは今後事業費を積算することを表しています。

※ 地域づくりに関する事業は、重点事業等と地域づくりの項目に記載しています。



# 藤沢市市政運営の総合指針 2020 体系別事業一覧

体系コード 事務事業名 課名 頁

## まちづくりテーマ1 「安全で安心な暮らしを築く」

### 1 災害対策の充実

11	防災設備等整備事業費	防災政策課	16
21	危機管理対策事業費	危機管理課	17
31	建築物等防災対策事業費	建築指導課	18
51	橋りょう改修費	道路維持課	20
61	橋りょう架替事業費	道路維持課	21
71	一色川改修費	河川水路課	22

### 2 危機管理対策の推進

11	大規模震災等対策強化事業費	警防課	23
----	---------------	-----	----

### 3 防犯・交通安全対策の充実

11	街頭防犯カメラ設置推進事業費	防犯交通安全課	24
21	商店街経営基盤支援事業費（街路灯LED化・防犯カメラ）	産業労働課	25
31	自転車駐車場整備費	道路河川総務課	26

## まちづくりテーマ2 「『2020年』に向けてまちの魅力を創出する」

### 1 市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援

11	オリンピック開催準備関係費	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室	27
21	（公財）藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費（オリンピック・パラリンピック関連事業費分）	スポーツ推進課	29
31	ビーチバレー大会開催関係費	スポーツ推進課	30
41	都市親善費	人権男女共同平和課	31

### 2 オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力（レガシー）の創出

11	シティプロモーション関係費	観光シティプロモーション課	32
21	誘客宣伝事業費	観光シティプロモーション課	33
31	湘南藤沢フィルム・コミッション事業費	観光シティプロモーション課	35
41	藤澤浮世絵館運営管理費	郷土歴史課	36
51	（公財）藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費（文化プログラム等事業費分）	文化芸術課	37
61	文化行事費	文化芸術課	38
71	アートスペース運営管理費	文化芸術課	39
81	江の島地区周辺整備事業費	江の島地区周辺整備担当	40
91	観光施設整備費	観光シティプロモーション課	41
92	公衆便所整備費（江の島周辺公衆便所整備）	環境総務課	43

## まちづくりテーマ3 「笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる」

## 1 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

11	児童支援体制充実事業費	学務保健課	45
21	校務支援システム構築事業費（小学校）	教育総務課	46

## 2 子どもの健やかな成長に向けた支援の充実

11	法人立保育所等施設整備助成事業費	子育て企画課	47
21	市立保育所整備費（辻堂保育園再整備事業）	子育て企画課	48
31	法人立保育所運営費等助成事業費	保育課	49
41	放課後児童クラブ整備事業費	青少年課	50
51	小児医療助成費	子育て給付課	51

## 3 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実

11	子どもの生活支援事業費	子ども家庭課	53
21	子ども・若者育成支援事業費	青少年課	54
31	就労支援事業費（ユースワークふじさわ）	産業労働課	55
41	奨学金給付事業費	教育総務課	56

## まちづくりテーマ4 「健康で豊かな長寿社会をつくる」

## 1 多様な主体による支援の充実

11	藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費	地域包括ケアシステム推進室	57
21	生活困窮者自立支援事業費	地域包括ケアシステム推進室	58
31	地域生活支援事業費（相談支援事業）	障がい福祉課	60
41	介護人材育成支援事業費	介護保険課	62

## 2 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進

11	健康づくり推進事業費	健康増進課	63
21	がん検診事業費	健康増進課	64
31	公園改修費	公園課	65

## 3 コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進

11	市民活動支援施設運営管理費	市民自治推進課	66
21	公益的市民活動助成事業費	市民自治推進課	67
31	市民協働推進関係費	市民自治推進課	68
41	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費	地域包括ケアシステム推進室	69
51	六会地区まちづくり事業費	六会市民センター	70
61	片瀬地区地域まちづくり事業費	片瀬市民センター	71

体系コード	事務事業名	課名	頁
71	明治地区まちづくり事業費	明治市民センター	72
81	御所見地区地域まちづくり事業費	御所見市民センター	73
91	遠藤まちづくり推進事業費	遠藤市民センター	74
101	長後地域活性化事業費	長後市民センター	75
111	辻堂地区地域まちづくり事業費	辻堂市民センター	76
121	善行地区まちづくり事業費	善行市民センター	77
131	湘南大庭地域まちづくり事業費	湘南大庭市民センター	78
141	湘南台地域まちづくり事業費	湘南台市民センター	79
151	鶴沼地区まちづくり事業費	鶴沼市民センター	80
161	藤沢地区まちづくり事業費	藤沢公民館	81
171	村岡いきいきまちづくり事業費	村岡公民館	82

## まちづくりテーマ5 「都市の機能と活力を高める」

### 1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

11	庁舎等整備費	管財課	84
21	労働会館整備費	産業労働課	85
31	善行市民センター改築事業費	市民自治推進課 善行市民センター	86
41	辻堂市民センター改築事業費	市民自治推進課	87
51	一般廃棄物中間処理施設整備事業費	北部環境事業所	88
61	鶴南小学校改築事業費	学校施設課	89
71	六会中学校屋内運動場改築事業費	学校施設課	90
81	公共施設再整備関係費	企画政策課	91
111	藤沢駅周辺地区再整備事業費	藤沢駅周辺地区整備担当	92
121	健康と文化の森整備事業費	西北部総合整備事務所	93
131	長後地区整備事業費	都市整備課長後地区整備事務所	94
141	市道新設改良費（藤沢652号線）	道路整備課	95
151	市道新設改良費（バリアフリー事業）	道路整備課	95
161	村岡公民館改築事業費	村岡公民館	96

### 2 誰もが移動しやすい交通体系の構築

11	総合交通体系推進業務費	都市計画課	97
----	-------------	-------	----

### 3 自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進

11	健康の森保全再生整備事業費	西北部総合整備事務所	98
21	自然環境共生推進事業費（生物多様性地域戦略推進事業）	みどり保全課	99
31	地球温暖化対策関係事業費	環境総務課	100

体系コード	事務事業名	課名	頁
4	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備		
11	住宅政策推進費	住宅政策課	101
21	空き家対策関係費	住宅政策課	102
31	新産業創出事業費	産業労働課	103
41	ロボット産業推進事業費	産業労働課	104
51	地域密着型商業まちづくり推進事業費	産業労働課	105
61	担い手育成支援事業費	農業水産課	107

総務費

事業名	防災設備等整備事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 06			防災政策課		
指針体系コード	1-1-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	228,782	38,360	19,616	59,100	3,000	108,706
平成29年度	260,665	18,450	12,877	118,600	2,000	108,738
対前年度	△ 31,883	19,910	6,739	△ 59,500	1,000	△ 32
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				38,360
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				19,616
	(地方債)	防災施設整備事業債				59,100
	(その他)	防災ラジオ売払収入				3,000

【事業概要】

災害に対する備えとして、防災備蓄資機材、防災ラジオ、津波避難施設、ふじさわ防災ナビ等の整備や充実・強化を推進する。

1. 防災備蓄資機材等の整備・充実 157,648 千円
  - ・アルファ米、長期保存食（ビスケット）、粉ミルク、簡易トイレ処理袋、毛布等の購入及び諸経費 46,344 千円
  - ・防災拠点管理業務委託 1,698 千円
  - ・江の島耐震性飲料用貯水槽設置工事（平成29年度から2カ年継続事業） 109,606 千円

＜継続費年割額＞ （単位：千円）

	平成29年度	平成30年度	合計
江の島耐震性飲料用貯水槽設置工事	46,973	109,606	156,579

2. 防災ラジオの市民頒布 11,504 千円  
災害時等に緊急割込放送を自動受信できる防災ラジオ1,500台の購入及び頒布
3. 津波避難対策の充実・強化 31,112 千円
  - ・津波避難ビル設置用簡易トイレ処理袋等の購入 2,762 千円
  - ・津波避難施設整備事業費補助金 10,000 千円
  - ・下藤が谷ポンプ場津波避難施設基本設計委託 18,350 千円
4. ふじさわ防災ナビの普及・充実 6,182 千円
  - ・市民配布用の冊子「みんなの防災・オーダーメイドの災害対応編」の増刷 890 千円
  - ・スマートフォンアプリ「ふじさわ街歩きナビ」の保守管理業務委託等 5,292 千円
5. 防災対策の充実・強化 22,336 千円
  - ・危険ブロック塀等安全対策工事費補助金 5,250 千円
  - ・洪水ハザードマップの改訂に向けた河川測量委託 13,846 千円
  - ・Jアラート新型受信機の整備 3,240 千円

（この事業は平成29年度6月補正で増額した事業）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
260,665	228,782	194,106	247,106	930,659	



総務費

事業名	危機管理対策事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 08			危機管理課		
指針体系コード	1-1-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	6,564		2,187			4,377
平成29年度	4,556		1,518			3,038
対前年度	2,008		669			1,339
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				2,187

【事業概要】

本市に想定されている災害に対し被害を最小限に留め、安全で安心なまちづくりを推進するため、津波避難経路への路面標識の設置や海拔表示公共小型看板の更新等の各種対策を実施する。

- 津波避難経路路面標識の設置 5,248 千円  
 地域住民と協働で作成した地域ごとの津波避難マップ等の記載に基づき、津波浸水想定区域内から避難目標となる浸水想定区域外や津波避難ビル等までの間に、経路の方向案内を示す蓄光型の路面標識を設置する。  
 ・平成30年度設置予定数 68箇所
- 海拔表示公共小型看板の更新 1,016 千円  
 津波避難対策の一環として、平成23年度に東京電力パワーグリッド(株)所有の電柱に設置した、海拔及び津波注意喚起を表示した公共小型看板(市内1,000箇所)について、順次更新を行う。  
 ・平成30年度更新予定数 200箇所
- 指定防災井戸への手動式ポンプ設置等に対する補助 300 千円  
 災害時における市民の生活用水を確保するため、「藤沢市防災井戸の指定に関する要綱」に基づき、防災井戸として指定を受けている井戸の所有者等に対し、揚水用ポンプ(手動式のみ)の新規設置、交換及び修繕に係る費用の一部(設置等に係る費用の1/2以内、上限額50千円)を補助する。



津波避難経路路面標識 (例)



海拔表示公共小型看板 (例)

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
4,556	6,564	8,912	9,697	29,729	

土木費

事業名	建築物等防災対策事業費					
予算科目	款 9 項 1 目 2 細目 01 説明 03	建築指導課				
指針体系コード	1-1-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	63,041	19,250	14,054			29,737
平成29年度	45,004	6,036	10,657			28,311
対前年度	18,037	13,214	3,397			1,426
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				19,250
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				8,254
	(県支出金)	沿道建築物耐震化支援事業費補助金				5,800

<拡充事業> 分譲マンション耐震改修工事等補助制度の創設

【施策等を必要とする背景】

藤沢市耐震改修促進計画の改定に伴い、国の指針に基づき平成32年度末までに住宅の耐震化率を95%とする目標を定めた。本市が耐震改修工事補助制度の対象としている在来軸組工法2階建て木造住宅に加えて、新たに分譲マンションの耐震改修工事等補助制度を創設し、住宅の耐震化をより一層進める。

【提案に至るまでの経緯】

昭和56年新耐震基準以前に建築された非木造の分譲マンションの管理組合を対象に、耐震診断に要する費用の一部を補助しており、平成28年度から合意形成や技術的支援等を行う専門家派遣による支援を行っている。

- 平成18年 9月 藤沢市木造住宅耐震改修工事補助制度創設
- 平成20年10月 藤沢市耐震改修促進計画策定
- 平成22年 5月 藤沢市分譲マンション耐震診断補助制度創設
- 平成28年 4月 藤沢市耐震改修促進計画改定
- 平成28年 8月 藤沢市マンション耐震アドバイザー派遣制度創設

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

【藤沢市耐震改修促進計画】

- ・藤沢市耐震改修促進計画において建築物の耐震化を促進するための施策に位置付け平成32年度末までに住宅の耐震化率95%を目指す

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により昭和56年新耐震基準以前に建築された非木造の分譲マンションの一層の耐震化が図られ、震災時における人的及び経済的被害が軽減できる。

2. 将来にわたる費用

耐震診断の結果、倒壊の危険性があると判断された分譲マンションの管理組合を対象に、耐震改修設計及び耐震改修工事に要する費用の一部を補助する。

- ・耐震改修設計（補助率1/2、補助上限 50,000円/戸）
- ・耐震改修工事（補助率23%、補助上限 300,000円/戸かつ面積に応じ1～2千万円/棟）

また、災害対策を充実する上で相乗効果のある制度とするため、津波浸水予測区域内の津波避難ビルについては、次のとおり補助率及び補助限度額を引き上げる。

- ・耐震改修設計（補助率2/3、補助上限 100,000円/戸）
- ・耐震改修工事（補助率1/2、補助上限 600,000円/戸かつ面積に応じ2～5千万円/棟）

平成30年度は補助制度の創設及び周知を行い、補助制度を利用する旨の登録をした分譲マンションについて、翌年度以降に予算措置を図るものとする。

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

- 平成31年度 14,000千円
- 平成32年度以降 28,000千円/年

**【事業概要】**

災害対策を充実するため、建築物の耐震性能の把握と向上を図るとともに、藤沢市住宅耐震化緊急促進アクションプログラムを策定し、住宅耐震化に向け個別通知等による普及啓発に取り組む。

昭和56年新耐震基準以前に建築された在来軸組工法2階建て木造住宅（以下「対象住宅」という。）の所有者及び非木造の分譲マンションの管理組合、耐震診断が義務化された緊急輸送道路沿道建築物所有者を対象に、既存建築物の耐震促進事業を行う。

- |  |           |
|--|-----------|
| 1. 木造住宅耐震診断補助  | 3,000 千円  |
| 対象住宅の所有者を対象に、耐震診断に要する費用の1/2を補助する。  |           |
| ・一般診断（補助上限 60,000円）  | 50 件      |
| 2. 木造住宅耐震改修工事補助  | 28,500 千円 |
| 耐震診断の総合評点が1.0未満の対象住宅の耐震改修工事を行う所有者を対象に、耐震改修工事に要する費用の1/2を補助する。さらに、木造住宅耐震診断補助を受けた後に耐震改修工事の実施に至った場合には、診断における自己負担分の追加補助を行う。 |           |
| ・耐震改修工事（補助上限 900,000円）   | 30 件      |
| ・耐震診断自己負担分（補助上限 60,000円）   | 25 件      |
| 3. 木造住宅耐震シェルター・ベッド設置補助   | 200 千円    |
| 耐震診断の総合評点が1.0未満の対象住宅に耐震シェルター・ベッドの設置を行う所有者を対象に、設置に要する費用の1/2を補助する。   |           |
| ・耐震シェルター・ベッド設置（補助上限 200,000円）  | 1 件       |
| 4. 分譲マンション耐震診断補助   | 1,800 千円  |
| 昭和56年新耐震基準以前に建築された、非木造の分譲マンションの管理組合を対象に、予備診断又は本診断に要する費用の1/2を補助する。  |           |
| ・予備診断（補助上限 150,000円）   | 2 件       |
| ・本診断（補助上限 1,500,000円）  | 1 件       |
| 5. 耐震診断義務対象沿道建築物補助   | 29,000 千円 |
| 耐震改修促進計画に基づき、耐震診断が義務付けられた緊急輸送道路沿道の旧耐震建築物（要安全確認計画記載建築物）所有者を対象に、診断に要する費用の一部を補助する。  |           |
| ・本診断（補助率5/6）   | 11 件      |
| 6. 耐震アドバイザー講師謝礼  | 200 千円    |
| 分譲マンションの耐震化促進に向けた合意形成を図るため、管理組合等に対し専門家の立場からサポートするアドバイザー（建築士等）を派遣する。  |           |
| ・講師謝礼（20,000円/回）   | 10 回      |
| 7. 建築物等防災対策事務経費  | 341 千円    |

**【事業費（事務事業中の重点事業分）】**

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
45,004	63,041	152,851	162,351	423,247	拡充

土木費

事業名	橋りょう改修費					
予算科目	款 9 項 2 目 5 細目 01 説明 02			道路維持課		
指針体系コード	1-1-51	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	341,575	109,549		118,200		113,826
平成29年度	346,364	99,840		125,700		120,824
対前年度	△ 4,789	9,709		△ 7,500		△ 6,998
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				109,549
	(地方債)	橋りょう整備事業債				118,200

【事業概要】

大地震発生時の避難路確保を図るため、境川に架かる新屋敷橋の耐震化工事及び境橋等の耐震化設計委託を実施する。また市内橋りょうの長寿命化修繕計画に基づく塗装塗り替え等維持補修及び撤去工事を実施する。

1. 委託料 54,530 千円  
 橋りょう耐震化設計  
 (境橋、山崎跨線橋)  
 長寿命化修繕計画に基づく橋りょう改修設計委託  
 (城下橋等)
2. 工事請負費 287,045 千円  
 新屋敷橋耐震化工事  
 橋りょう長寿命化修繕計画に基づく塗装塗り替え等維持補修工事  
 (大平橋、御殿橋、大清水橋、大庭大橋、柄沢歩道橋)  
 大道歩道橋撤去工事

新屋敷橋【耐震化工事】



大平橋【塗装塗り替え工事】



御殿橋【塗装塗り替え、高欄改修工事】



大道歩道橋【撤去工事】



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
346,364	341,575	510,000	484,000	1,681,939	

土木費

事業名	橋りょう架替事業費					
予算科目	款 9 項 2 目 6 細目 01 説明 01			道路維持課		
指針体系コード	1-1-61	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	171,277		156,895	0		14,382
平成29年度	200,858		135,465	38,100		27,293
対前年度	△ 29,581		21,430	△ 38,100		△ 12,911
特定財源の内訳	(県支出金)	蓼川橋りょう架替事業費負担金				156,895

【事業概要】

水害対策を図るために神奈川県が実施する河川改修事業にあわせて、蓼川の蓼中橋、蓼中人道橋の架替事業を行う。

1. 蓼中橋架替事業 171,277 千円  
 平成30年度は右岸側の護岸築造及び左岸側橋台の設置工事を実施する。

蓼中橋（新設右岸橋台）



蓼中橋（下流側より）



<継続費> 蓼中橋架替工事（右岸下部・護岸工） (単位：千円)

年割額	平成29年度	平成30年度	合計
	73,809	79,875	153,684

<継続費> 蓼中橋架替工事（左岸下部工） (単位：千円)

年割額	平成30年度	平成31年度	合計
	85,701	44,915	130,616

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
200,858	171,277	196,322	222,271	790,728	



土木費

事業名	一色川改修費					
予算科目	款 9 項 3 目 2 細目 01 説明 01			河川水路課		
指針体系コード	1-1-71	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	44,481	8,000		15,900		20,581
平成29年度	100,924	6,100		31,100		63,724
対前年度	△ 56,443	1,900		△ 15,200		△ 43,143
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				8,000
	(地方債)	河川改修事業債				15,900

【事業概要】

一色川流域の浸水被害を軽減し、流域住民の安全・安心を確保するため、準用河川一色川整備基本計画に基づき、河川改修事業を行う。

引地川合流点にある稲荷山橋架替に先立ち、他企業占用物の移設と改修事業に必要な事業用地の取得及び補償等を実施する。

- |                                      |           |
|--------------------------------------|-----------|
| 1. 委託料<br>稲荷山橋架替工事に伴う建物等事前調査         | 1,100 千円  |
| 2. 使用料及び賃借料<br>稲荷山橋架替工事に伴う切廻し管等用地賃借料 | 520 千円    |
| 3. 工事請負費<br>稲荷山橋架替工事に伴う施工ヤード整備       | 3,200 千円  |
| 4. 公有財産購入費<br>事業用地取得費                | 22,500 千円 |
| 5. 補償補填及び賠償金<br>事業用地取得に伴う補償          | 17,000 千円 |
| 6. 一色川改修事務経費                         | 161 千円    |

【案内図】



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
100,924	44,481	180,745	71,445	397,595	

消防費

事業名	大規模震災等対策強化事業費					
予算科目	款 1 0 項 1 目 3 細目 01 説明 06			警防課		
指針体系コード	1-2-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
区分	事業費	重点施策名	危機管理対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	25,318	2,693	4,498	10,300		7,827
平成29年度	14,637	2,400	3,217	8,000		1,020
対前年度	10,681	293	1,281	2,300		6,807
特定財源の内訳	(国庫支出金)	消防防災施設整備費補助金				2,693
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				4,498
	(地方債)	消防施設整備事業債				10,300

【事業概要】

近年中に発生が懸念されている大規模地震や台風及び集中豪雨等による風水害、また大規模イベントにおけるテロ等の特殊災害への対策を強化するため、耐震性防火水槽の新設及び災害対応資機材の整備等を行う。

1. 耐震性防火水槽の新設 16,190 千円

近年中に発生が懸念されている大規模地震時における火災被害を軽減するため、耐震性防火水槽（40 m<sup>3</sup>）を桜小路公園内に設置する。

・耐震性防火水槽（40 m<sup>3</sup>） 1 基

(新) 2. 災害対応資機材の整備 2,298 千円

大規模地震における建物倒壊や土砂災害現場での崩壊危険物の安定化を図り、活動隊員の安全を確保するため、資機材を整備する。

・レスキューサポート 1 セット

3. 災害対応資機材の更新等 6,830 千円

・浸水害対応救助ボート（FRP製ボート） 4 艇 2,584 千円

・特殊災害対応資機材の更新（化学防護服、検知資機材等） 2,931 千円

・特殊災害対応資機材の点検 1,315 千円

【耐震性防火水槽（桜小路公園）】

【レスキューサポート】



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
14,637	25,318	177,936	33,763	251,654	拡充

環境保全費

事業名	街頭防犯カメラ設置推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 07	防犯交通安全課				
指針体系コード	1-3-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	9,516		1,747			7,769
平成29年度	0		0			0
対前年度	9,516		1,747			7,769
特定財源の内訳	(県支出金)	地域防犯力強化支援事業補助金				1,747

【事業概要】

犯罪抑止に効果的な街頭防犯カメラを、不特定多数の方が利用する主要駅周辺の駅前広場等に設置する。また、自治会・町内会による防犯カメラ設置費を補助する。

1. 街頭防犯カメラ設置等 1,946 千円  
 湘南台駅東口周辺、西口周辺及び地下自由通路（計3台）  
 防犯カメラ設置費 1,875 千円  
 防犯カメラ維持管理費 71 千円
2. 自治会・町内会による防犯カメラ設置費補助 7,570 千円  
 自治会・町内会が設置する防犯カメラ27台について設置費の一部を補助する。  
 (単位：千円)

自治会・町内会名	地区	区分	台数	補助金額
柳小路町内会	鶴沼	更新	2	405
ニコニコ自治会	鶴沼	更新	2	445
鶴沼藤が谷会	鶴沼	新規	2	656
新屋敷第二町内会	片瀬	新規	8	2,683
片瀬東り町東会	片瀬	新規	3	391
片瀬山5丁目自治会	片瀬	新規	2	693
上合自治会	長後	新規	2	526
辻堂西海岸町内会	辻堂	新規	4	1,310
湘南ライフタウンEブロック自治会	湘南大庭	新規	2	461
合計			27	7,570



湘南台駅東口 設置箇所イメージ



湘南台駅西口 設置箇所イメージ



湘南台駅地下自由通路 設置箇所イメージ  
 (前年度の防犯対策強化事業費から分離した事業)  
 (この事業は平成29年度9月補正で実施した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
17,366	9,516	10,354	10,405	47,641	



商工費

事業名	商店街経営基盤支援事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 02	産業労働課				
指針体系コード	1-3-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	34,154					34,154
平成29年度	37,402					37,402
対前年度	△ 3,248					△ 3,248

【事業概要】

地域コミュニティの核として市民生活を支える商店街を維持するため、商店街団体の共同施設の運営や維持管理、新設及び修繕など基盤整備事業等に対する助成を行い、商店街経営基盤の安定を図る。

1. 商店街駐車場運営事業補助金 11,057 千円  
 消費者の利便性の向上と快適な買物空間の創出及び違法駐車の減少を図るため、公益社団法人藤沢市商店会連合会に加盟している商店街団体が設置した顧客用駐車場の運営費の45%を助成する。

  - ・提携駐車場に対する助成 10,562 千円  
 15カ所 遊行通り4丁目商店街振興組合 他12商店街
  - ・借上駐車場に対する助成 495 千円  
 1カ所 片瀬竜の口商店街振興組合
2. 商店街街路灯電灯料補助金 10,725 千円  
 商店街の活性化及び安全・安心なまちづくりを推進するため、公益社団法人藤沢市商店会連合会に加盟している商店街団体が設置及び管理する街路灯の電灯料に対し、補助対象電灯料の100%を助成する。

  - ・街路灯 2,744灯 本町白旗商店街振興組合 他33商店街
3. 商店街共同施設設置事業補助金 12,372 千円  
 商店街の環境を改善し、活性化を図るため、共同施設の設置または改修、修繕を実施する商店街団体に対し、その費用の一部を助成する。

  - ・街路灯等改修 柄沢橋商店会 他1商店街 1,725 千円
  - ・防犯カメラ設置 遊行通り4丁目商店街振興組合 他3商店街 10,647 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
13,294	10,647	15,000	10,000	48,941	

土木費

事業名	自転車駐車場整備費					
予算科目	款 9 項 2 目 7 細目 01 説明 02			道路河川総務課		
指針体系コード	1-3-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	58,496			34,000		24,496
平成29年度	27,318			0		27,318
対前年度	31,178			34,000		△ 2,822
特定財源の内訳	(地方債)	自転車駐車場整備事業債				34,000

【事業概要】

歩行者の安全かつ円滑な通行の確保や自転車等の利用者の利便性の向上を図るため、自転車等駐車場の整備を進めるとともに、民間駐輪施設の改築に対する補助を行う。

1. 工事請負費 45,555 千円  
 (仮称) 湘南台駅東口路上自転車駐車場及び (仮称) 善行駅東口自転車等駐車場の整備
2. 負担金補助及び交付金 9,996 千円  
 藤沢駅南口民間駐輪施設の改築費用に対する補助
3. 補償補填及び賠償金 1,000 千円  
 (仮称) 湘南台駅東口路上自転車駐車場整備に伴う移設補償
4. 使用料及び賃借料 885 千円
  - (1) 土地・建物賃借料 189 千円  
 (仮称) 善行駅東口自転車等駐車場建物賃借料
  - (2) 土地・建物以外 696 千円  
 (仮称) 湘南台駅東口路上自転車駐車場管理設備賃借料  
 (仮称) 善行駅東口自転車等駐車場管理設備賃借料
5. 自転車駐車場整備事務経費 1,060 千円

(仮称) 湘南台駅東口路上自転車駐車場  
予定箇所



(仮称) 善行駅東口自転車等駐車場  
予定箇所



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
27,318	58,496	91,648	368,080	545,542	

教育費

事業名	オリンピック開催準備関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 04 説明 01 東京オリンピック・パラリンピック開催準備室					
指針体系コード	2-1-11	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	74,984		13,565			61,419
平成29年度	35,438		8,675			26,763
対前年度	39,546		4,890			34,656
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				11,512
	(県支出金)	市町村スポーツ施策推進補助金				2,053

<新規事業> 「セーリング ワールドカップシリーズ江の島大会」開催に係る負担金

<拡充事業> 気運を高める取組及びボランティアに関する取組の実施

【施策等を必要とする背景】

平成27年6月に、東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技が本市江の島で開催されることが決定された。

江の島で2回目となるオリンピック競技大会の開催の機会を、将来の少子化・超高齢化の進行や人口減少等に伴う諸課題の解決に向けての試金石と捉え、大会に向けた気運を醸成しつつ大会組織委員会、神奈川県等の関係機関及び市民協働組織である「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」（以下「支援委員会」という。）と連携して大会を支援するとともに、地域活性化、健康増進、国際交流等に資する事業を展開することが求められている。

【提案に至るまでの経緯】

江の島でのセーリング競技開催が決定されたことにより、新たに開催準備室を設置し、リオ2016大会の視察や、庁内外での検討結果を踏まえ、各種取組を実施してきた。その後、「セーリング ワールドカップシリーズ江の島大会」の開催が決定し、地域活性化に資するよう実行委員会へ参画して大会の準備を支援するとともに、気運を高める取組やボランティアに関する取組を計画的に進めている。

平成27年6月 国際オリンピック委員会理事会で江の島におけるセーリング競技開催決定

平成28年4月 東京オリンピック・パラリンピック開催準備室を設置

平成28年9月 「セーリング ワールドカップシリーズ江の島大会」開催決定

平成30年3月 藤沢市大会関連ボランティア等実施計画を策定予定

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

平成29年度は、支援委員会において新たに作業部会を設置するなど市民参加の推進に取り組んだことに加え、13地区の郷土づくり推進会議委員と市長等との意見交換会において、東京2020大会をテーマとし、各地区で可能なおもてなし等について意見交換を行った。

平成30年度からは（仮称）市民応援団の設立等により、市民参加をさらに推進する。

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市政運営の総合指針2020において、市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援を重点施策として位置づけている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

将来に向けた成果を意識して取り組むことにより、レガシーとしてのセーリングをはじめとするマリンスポーツ・ビーチスポーツの振興、競技スポーツ力の向上、生涯スポーツ・パラスポーツの推進、健康増進、国際交流、観光振興、環境美化、ボランティア活動の推進、文化芸術・教育分野の推進等が図られる。

2. 将来にわたる費用

事前キャンプにおける国際交流や文化芸術・教育分野等での東京2020大会に関連した取組等については、大会開催までの継続的かつ拡充した展開が必要となるとともに、ボランティアの取組の拡充を予定しているため、これらに要する事業費が見込まれる。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
35,438	74,984	123,992	132,242	366,656	拡充

**【事業概要】**

東京2020大会の成功に向け、関係機関・団体、市民等と連携し計画的に開催準備を進める。

- (拡) 1. 気運を高める取組 17,593 千円
- (1) 東京2020大会への全市民的な気運醸成を図るため、新たに商店街へのフラッグ掲出を行うなど、各種事業を実施する。 11,610 千円
- 【実施予定事業】**  
商店街へのフラッグ掲出、カウントダウンイベント、事前キャンプ誘致活動、オリンピック・パラリンピアンによるスポーツ教室、パラスポーツ講演会・実技指導等
- (2) セーリング競技の普及啓発を図るため、出張陸上体験会を市内各所に拡大するなど、各種事業を実施する。 5,983 千円
- 【実施予定事業】**  
出張陸上体験会、プールでセーリング体験、国際レース等海上観戦、ヨット展示等



1000日前イベントの様子



海上観戦イベント

- (拡) 2. ボランティアに関する取組 20,000 千円
- 平成30年9月中旬から予定されている大会組織委員会が運営する大会ボランティアの募集にあわせ、平成30年3月に策定予定の藤沢市大会関連ボランティア等実施計画に基づき、競技会場を有する関係自治体が担う都市ボランティアの募集を開始するほか、Webサイトのボランティア募集機能の実装等、市民参加に向けた各種事業を実施する。



ボランティアフォーラムチラシ



フォーラムの様子



ボランティア講座チラシ

- (新) 3. セーリングワールドカップシリーズ江の島大会負担金 10,000 千円  
江の島で開催されるワールドカップシリーズが、地域活性化、ボランティアの実践活動、セーリング競技普及に資するよう、平成29年11月に設立された「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会実行委員会」へ負担金を支出する。
4. その他事務経費 27,391 千円
- ・非常勤職員報酬、臨時職員賃金 8,565 千円
  - ・旅費 845 千円
  - ・事務用品、参考図書等 424 千円
  - ・人材派遣業務委託 16,444 千円
  - ・使用料及び賃借料 1,113 千円



教育費

事業名	(公財)藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 03 説明 01			スポーツ推進課		
指針体系コード	2-1-21	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	42,945		6,500			36,445
平成29年度	38,718		0			38,718
対前年度	4,227		6,500			△ 2,273
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				6,500

【事業概要】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け気運を高めるとともに、市民のスポーツ・レクリエーション活動の普及及び推進を図ることを目的として、(公財)藤沢市みらい創造財団へ各種スポーツ関係業務を委託する。

1. スポーツ事業業務委託 42,945 千円

- (1) 東京2020オリンピック競技大会関連業務
  - ・東京2020オリンピック競技大会関連業務
  - ・ビーチ、マリンスポーツ推進関連業務
- (2) 東京2020パラリンピック競技大会関連業務
  - ・パラスポーツ交流会の開催
  - ・ふれあいスポーツ交流会の開催
  - ・障がい者スポーツ団体と連携した大会・教室等の開催
  - ・障がい者スポーツの指導者、支援協力者を養成
- (3) 藤沢市健康増進関連業務
  - ・ラジオ体操開催業務
  - ・健康、体力づくりのイベント等開催業務
- (4) 藤沢市スポーツ推進計画関連業務
  - ・ビーチレクリエーションゾーン管理運営業務
  - ・こどもの体力テスト事業業務
  - ・神奈川県中学生ビーチバレー大会、全国中学生ビーチバレー大会開催業務
  - ・湘南藤沢市民マラソン大会開催業務
  - ・藤沢市駅伝競走大会開催業務
  - ・スポーツ施設マップ作成業務
  - ・スポーツ推進、施設利用促進のための広報業務及び利用者支援業務



<参考写真>  
(藤沢市駅伝競走大会)



<参考写真>  
(おはよう！キュンとするまち。藤沢ラジオ体操2017)

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
1,201	16,375	1,210	1,240	20,026	

教育費

事業名	ビーチバレー大会開催関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 02 説明 07			スポーツ推進課		
指針体系コード	2-1-31	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	11,000				3,000	8,000
平成29年度	11,000				3,000	8,000
対前年度	0				0	0
特定財源の内訳	(その他)	スポーツ拠点づくり推進事業助成金				3,000

【事業概要】

広く市民を対象として、「観るスポーツ」の機会を提供するため、ビーチバレー発祥の地である鶴沼海岸において「第32回ビーチバレージャパン」を開催する。

また、湘南の地域特性を生かした生涯スポーツ活動の推進及びビーチバレー競技人口の底辺拡大を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運を高めるために、中学生を対象としたビーチバレー県大会と、その上位チームに加え全国の予選を勝ち抜いた中学生を対象とした全国大会を開催する。

- 第32回ビーチバレージャパン（開催負担金） 6,000 千円  
開催月：8月（3日間）（予定）  
会場：鶴沼海岸ビーチバレーコート  
主管：ビーチバレージャパン実行委員会
- 第12回神奈川県中学生ビーチバレー大会（開催負担金） 1,000 千円  
開催月：7月（1日間）（予定）  
会場：鶴沼海岸ビーチバレーコート  
主管：神奈川県中学生ビーチバレー大会実行委員会
- 第9回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会（開催負担金） 4,000 千円  
開催月：8月（2日間）（予定）  
会場：鶴沼海岸ビーチバレーコート  
主管：湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会実行委員会



＜参考写真＞  
（第31回ビーチバレージャパン）



＜参考写真＞  
（第8回湘南藤沢カップ  
全国中学生ビーチバレー大会）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
11,000	11,000	11,000	11,000	44,000	

総務費

事業名	都市親善費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 細目 10 説明 01	人権男女共同平和課				
指針体系コード	2-1-41	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	27,491				27,491	
平成29年度	32,024				32,024	
対前年度	△ 4,533				△ 4,533	
特定財源の内訳	(その他)	平和基金繰入金				27,491

【事業概要】

姉妹友好都市を中心とした海外等諸都市との友好関係を深めるとともに、市民の国際理解の推進を図るため、都市親善交流を行う。

1. 姉妹友好都市等との親善事業 9,995 千円  
 姉妹友好都市をはじめとする諸都市との親善交流を目的とした事業を、藤沢市都市親善委員会に委託して実施する。
  - (1) マイアミビーチ市との交流（姉妹都市提携60周年記念事業）
    - ・公式訪問団派遣 11月（予定）
    - ・公式訪問団受入 7月（予定）
    - ・ブリッジミージャパンプロジェクト報告会の実施 7月（予定）
  - (2) 昆明市との交流
    - ・公式訪問団派遣 4月（予定）
  - (3) ウィンザー市との交流
  - (4) 保寧市との交流
    - ・青少年訪問団派遣 8月（予定）
  - (5) 湘南藤沢市民マラソンへの姉妹友好都市招待  
 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定を契機として、姉妹友好都市の方々を湘南藤沢市民マラソンへ招待し、スポーツ交流・文化交流及び市民交流を通じて都市親善の推進を図る。
2. ふじさわ国際交流フェスティバルの開催 831 千円  
 外国人市民との交流や異文化への理解を深めるための事業を、ふじさわ国際交流フェスティバル実行委員会へ委託して実施する。
  - ・開催時期：10月（予定）
3. 聶耳記念碑保存会への助成 250 千円
4. 都市親善事業事務経費 16,415 千円
  - ・都市親善推進員報酬 9,224 千円
  - ・特別旅費 5,033 千円
  - ・パート賃金、通訳・翻訳料等 2,158 千円



湘南藤沢市民マラソン  
オープニングセレモニーの様子



湘南藤沢市民マラソン  
姉妹友好都市招待選手ゴールの様子

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
4,156	3,181	4,200	5,000	16,537	

商工費

事業名	シティプロモーション関係費					
予算科目	款 8 項 2 目 5 細目 01 説明 01			観光シティプロモーション課		
指針体系コード	2-2-11	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	14,396		1,143			13,253
平成29年度	14,926		1,764			13,162
対前年度	△ 530		△ 621			91
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				1,143

【事業概要】

ふじさわシティプロモーション推進方針に基づき、キャッチフレーズ「キュンとするまち。藤沢」のもと、メディアの活用とともに、市民をはじめ市内企業、団体等を通じて藤沢の魅力やイメージを継続的に発信し、プロモーションを展開する。

1. シティプロモーション推進における事業展開 7,824 千円
  - ・ ふじさわシティプロモーション推進業務委託 7,500 千円  
観光客等をターゲットにSNSを活用した参加型プロモーションやメディアアプローチを実施する。
  - ・ 市民アンケート調査の実施 324 千円  
藤沢への愛着度や居留意欲、ふじさわシティプロモーションの認知度等を測定するため市民アンケート調査を行う。
2. ふじさわファンクラブ事務局運營業務委託 2,500 千円  
藤沢を応援していくコミュニティである「ふじさわファンクラブ」の自発的活動の支援を行う。
3. キャラクタープロモーション運營業務委託 930 千円  
公式マスコットキャラクター（ふじキュン♡）を活用したプロモーションを行う。
- (新) 4. WEB広告枠を活用したPR 540 千円  
藤沢の認知度アップを目的として、市民等からPR動画を公募し、優れた作品を大手インターネットサービスの動画広告で配信する。
5. シティプロモーション関係事務経費 千円
  - ・ 講師謝礼 180 千円
  - ・ 旅費 332 千円
  - ・ その他（啓発品、消耗品、Wi-Fi回線使用料等） 2,090 千円



(市民まつりでのキュンダンス披露)



(市内郵便局とのPR連携協定)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
14,926	14,396	14,396	14,396	58,114	拡充



商工費

事業名	誘客宣伝事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 01			観光シティプロモーション課		
指針体系コード	2-2-21	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
区分	事業費	重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	44,028		2,791		16,541	24,696
平成29年度	44,157		356		3,467	40,334
対前年度	△ 129		2,435		13,074	△ 15,638
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				2,791
	(その他)	江の島岩屋使用料				13,095
	(その他)	片瀬東浜駐車場使用料				3,446

<拡充事業> 外国人観光客誘致対策事業

【施策等を必要とする背景】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、今後、外国人観光客の増加が見込まれることから、外国人観光客に対する心のこもった「おもてなし」として受入体制の充実を図るとともに、新たな外国人観光客誘致のため、効果的な誘客事業を展開することが求められている。

【提案に至るまでの経緯】

これまで外国人観光客誘客の取組として、台湾の台北で行われている国際旅行博に11年間継続して出展してきたことにより、誘客促進が図られた。今後、更なる観光客の開拓のため、新たに台湾高雄をターゲットとし、現地鉄道会社と観光連携を行う市内鉄道事業者とともに誘客を図る。

また、タイについては、訪日来客数が6番目に多いことから、平成28年度から新たに出展した「タイ国際旅行フェア」において、集中的なセールスを継続する。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市観光振興計画において、藤沢らしさが光る選ばれる観光都市の実現に向け、「外国人観光客誘致の推進」として位置付けている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

旅行博への出展等により、台湾やタイなどアジア向けの観光誘客を図るとともに、「おもてなし」の受入体制の一環として、外国語版パンフレットの作成により、利用者の利便性の向上が図られる。

2. 将来にわたる費用

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会までの継続的な事業展開が必要であることから、本事業に要する事業費が見込まれる。

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
44,157	44,028	44,028	44,028	176,241	拡充

## 【事業概要】

国内外から広く観光客を誘客するため、県外での観光キャラバンによるキャンペーン、海外旅行博への出展などによる外国人観光客誘致対策事業の実施、観光ホームページによる情報発信、マスメディアを活用した観光情報の提供、民間団体等が実施するイベントへの参画等により、誘客宣伝事業を行う。

1. 観光宣伝事業委託	38,145 千円
＜主な事業＞	
・観光キャラバン事業	3,260 千円
・マスメディアによる観光宣伝事業	1,610 千円
・観光ホームページによる宣伝事業	1,786 千円
・松本市交流事業	202 千円
・北部地域観光ウォークラリー	70 千円
・北部観光振興事業	275 千円
・旅行情報誌ブランドを活用した観光PR事業	8,628 千円
・江の島イラストマップの作成	1,389 千円
・外国語版江の島イラストマップの作成	1,549 千円
(拡) ・外国人観光客誘致対策事業	14,337 千円
・宝探し事業（エノシマトレジャー）	3,571 千円
・江の島・相模湾観光振興事業	108 千円
・観光親善大使関連事業	590 千円
2. 海と山との市民交歓会開催委託 姉妹都市・松本市との市民交流事業の実施	891 千円
3. 地域観光振興事業補助金 8月に開催される遊行寺薪能事業への助成	500 千円
4. 新春藤沢江の島歴史散歩事業補助金 1月に藤沢七福神各神社・寺院で開催される新春藤沢・江の島七福神スタンプラリーへの助成	530 千円
5. 全日本ライフセービング選手権大会補助金 10月に片瀬海岸西浜で開催される全日本ライフセービング選手権大会への助成	300 千円
6. サイクルチャレンジカップ藤沢事業補助金 市内北部地域で開催されるサイクルロードレース大会への助成	2,000 千円
7. その他事務経費 臨時職員賃金、講師謝礼、特別旅費	1,662 千円

商工費

事業名	湘南藤沢フィルム・コミッション事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 04			観光シティプロモーション課		
指針体系コード	2-2-31	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	25,759		418			25,341
平成29年度	23,729		0			23,729
対前年度	2,030		418			1,612
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				418

【事業概要】

本市を舞台とする国内外の映画・ドラマ・CM等のロケーション撮影や映像作品の誘致及び市内全域における撮影環境の調整を行い、マスメディアを通して観光地藤沢としての情報を発信するほか、撮影隊の来藤による直接的・間接的な経済効果を図る。

1. 湘南藤沢フィルム・コミッション事業負担金 25,759 千円

- ・ロケハン（ロケ地探し）への協力及びロケの立ち会い
- ・撮影許可申請の案内
- ・食事や宿泊施設の紹介及び調整
- ・市民エキストラ、支援施設の募集及び手配
- ・市民向けフォーラムの開催
- ・制作宣伝部とのPR企画・実施協力
- ・多言語版ロケ地マップ作成

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
23,729	25,759	24,403	25,759	99,650	

教育費

事業名	藤澤浮世絵館運営管理費 (前年度事業名：郷土文化推進費)					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 08 説明 02			郷土歴史課		
指針体系コード	2-2-41	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	64,233				1,450	62,783
平成29年度	91,167				1,160	90,007
対前年度	△ 26,934				290	△ 27,224
特定財源の内訳	(その他)	浮世絵館関連グッズ売上収入				1,450

【事業概要】

本市所蔵の浮世絵をはじめとする郷土歴史及び文化に関する資料を展示公開することにより市民の郷土への愛着を育み、文化の向上に寄与するため藤澤浮世絵館の運営管理を行う。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし、藤澤市の歴史や文化を広く発信していくため、藤澤浮世絵館の周知について市内外へ拡大する。

1. 藤澤浮世絵館の運営管理 62,534 千円
  - ・非常勤職員報酬、パート職員賃金 12,714 千円
  - ・講演会、資料調査等講師謝礼 350 千円
  - ・旅費 294 千円
  - ・展示用消耗品費、備品購入費、修繕費 3,832 千円
  - ・印刷製本費（展示ガイド・ポスター・チラシ作成等） 4,864 千円
  - ・マット加工、浮世絵修復等手数料、翻訳料、運搬料等 5,108 千円
  - ・ココテラス湘南賃借料、共益費、光熱水費 33,424 千円
  - ・その他経費（パソコン賃借料、清掃委託料等） 1,948 千円

- (新) 2. (仮称) 江の島浮世絵展開催費 1,699 千円  
 姉妹都市である松本市において本市の「江の島」をテーマとした浮世絵コレクションによる企画展示を協働で開催し、文化交流を通じて藤澤浮世絵館の市内外への周知を図る。

会期：8月14日～9月30日（予定）

場所：長野県松本市美術館

- ・講演会等講師謝礼 60 千円
- ・旅費 285 千円
- ・展示用消耗品費 80 千円
- ・印刷製本費（展示用パネル作成等） 300 千円
- ・運搬料 974 千円



<参考写真>  
(展示室の様子)



<参考写真>  
(浮世絵すり体験)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
60,787	64,233	60,787	61,287	247,094	

教育費

事業名	(公財) 藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 02 説明 01			文化芸術課		
指針体系コード	2-2-51	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	134,763				0	134,763
平成29年度	148,704				2,000	146,704
対前年度	△ 13,941				△ 2,000	△ 11,941

【事業概要】

文化芸術創造の活性化及び市民文化の支援・育成を図るため、公益財団法人藤沢市みらい創造財団に対し補助を行う。

1. (公財) 藤沢市みらい創造財団芸術文化振興事業補助金 134,763 千円  
 ゆとりと潤いの実感できるこころ豊かな市民生活の実現を図るため、芸術鑑賞事業や体験発表事業等を実施する。
- ・音楽、演劇等を鑑賞する機会の提供  
 オペラ招聘公演 藤原歌劇団「椿姫」  
 藤沢にゆかりのある音楽家たちによる演奏会等の音楽事業  
 落語鑑賞会等の演劇事業
  - ・芸術文化の創造の機会の提供  
 学校訪問事業、演劇ワークショップ等
  - ・芸術文化の普及  
 ロビーコンサート、ワンコインコンサート等
  - ・地域における芸術文化及び伝統文化の継承  
 藤沢市展 日程：6月5日～6月24日  
 会場：藤沢市民ギャラリー



<参考写真> (平成29年度第67回藤沢市展風景)

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
78,496	61,771	50,291	88,496	279,054	

教育費

事業名	文化行事費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 01 説明 03			文化芸術課		
指針体系コード	2-2-61	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
区分	事業費	重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	8,488				0	8,488
平成29年度	5,797				1,242	4,555
対前年度	2,691				△ 1,242	3,933

【事業概要】

魅力あふれる文化芸術創造のため、文化芸術の鑑賞機会の充実を図り、将来の本市の文化芸術を担う人材を育成するための事業を実施する。また、藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムとして位置づける文化芸術事業の実施主体となる団体に対して補助を行うことにより、大会開催に向けて気運の醸成を図る。

- (拡) 1. 文化団体への補助金の交付 5,720 千円
- ・ 郷土芸術文化推進事業補助金 3,420 千円  
 藤沢市文化団体連合会が実施する、児童生徒を対象とした伝統文化の体験事業「ワクワク体験ひろば」や、藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムの取組の一つとして実施する、外国人観光客等を対象とした日本の伝統文化の体験事業である「おもてなし事業」等に対する補助を行う。
  - ・ 市民シアター第九演奏会事業補助金 2,300 千円  
 自主的に「第九」を唱うために集い、合唱することの楽しさを市民に広めるために組織された「市民シアター第九を唱う会」が実施する演奏会に対する補助を行う。
2. 「こころの劇場」招待事業（輸送等経費） 2,655 千円  
 市立小学校35校の6年生等を対象に、優れた演劇に触れるきっかけを与え、豊かな感性と創造性を育むことを目的とした、ミュージカル「こころの劇場」への招待事業を行う。  
 日程：6月28日、29日（予定）  
 会場：市民会館大ホール  
 招待児童数：約4,000人
3. セイジ・オザワ松本フェスティバル事業  
 松本市で行われる「セイジ・オザワ松本フェスティバル」のオーケストラコンサートを生中継で観る、スクリーンコンサートを湘南台文化センターにて行う。（平成30年度は松本市負担での実施）
4. 藤沢市文化芸術振興計画の進行管理 113 千円  
 本市の文化芸術振興計画について、学識経験者、文化団体関係者等により進行管理を行う。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
5,797	8,488	7,730	8,195	30,210	拡充



教育費

事業名	アートスペース運営管理費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 01 説明 04			文化芸術課		
指針体系コード	2-2-71	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	67,516				1,004	66,512
平成29年度	66,752				580	66,172
対前年度	764				424	340
特定財源の内訳	(その他)	アートスペース使用料				604
	(その他)	アートスペース有料展覧会観覧料				400

【事業概要】

藤沢市アートスペースの運営管理を行い、藤沢にゆかりのある作家や若手芸術家等の美術作品の創作や展示・発表の支援を行うとともに、市民に身近な場所で美術の魅力に触れる機会及び美術学習の場を提供し、美術の振興を図る。

また、藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムに位置づける文化芸術事業として、アートスペースを活用した企画展及びワークショップを開催する。

1. 報酬、賃金 13,294 千円  
非常勤職員月額報酬、パート職員賃金等
2. 施設管理、運営管理 37,283 千円  
建物賃借料、共益費、光熱水費、清掃委託、機器賃借料、電話料等
3. 事業運営費 16,939 千円

- ・若手芸術家の創作活動及び展示・発表等の支援  
藤沢市や湘南地域で活動する若手芸術家や全国からの公募により選出した芸術家による公開制作や制作作品の展示・発表を行う。
- ・身近な美術鑑賞の機会の提供  
藤沢ゆかりの作家や湘南地域で活動する若手芸術家を中心に、絵画、彫刻、写真等の幅広い分野の展覧会や本市所蔵の美術作品の企画展を開催する。
- ・美術作品の展示・発表の場の提供  
個展及びグループ展が開催できるよう展示ルームを貸し出し、地域で活動する作家やグループの作品発表の場を提供する。
- ・美術学習の場の提供  
子ども向けを中心としたワークショップや各世代で楽しめる美術講座等を開催し、市民に体験的、学術的な美術学習の場を提供する。
- ・藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムに位置づける事業の開催  
姉妹都市の芸術家と本市の若手芸術家とのコラボレーションによる国際交流企画展を開催する。



平成29年度企画展Ⅰ  
「せかいをうつす」



平成29年度ワークショップ  
「紙でお寿司を作ろう」

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
66,752	67,516	67,516	67,516	269,300	

土木費

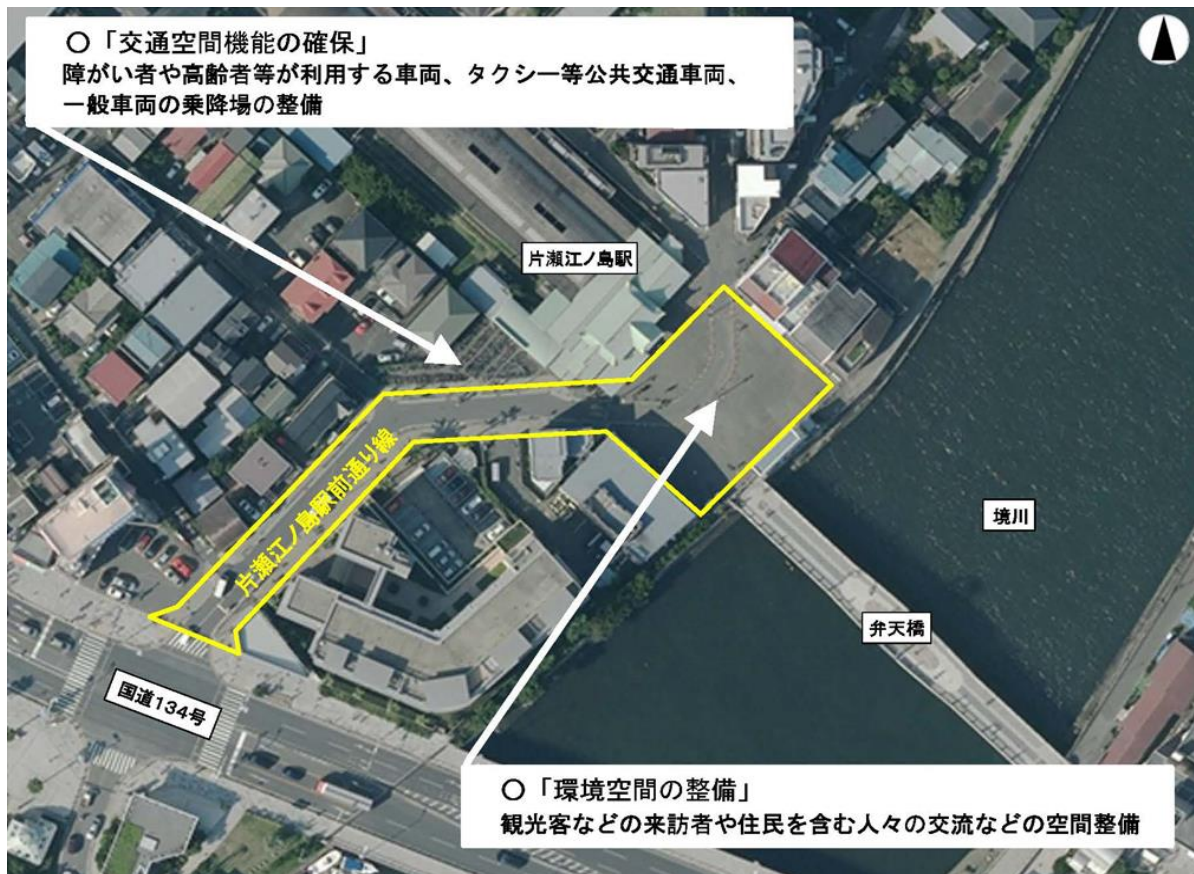
事業名	江の島地区周辺整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 10 説明 01	江の島地区周辺整備担当				
指針体系コード	2-2-81	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	21,229		6,145			15,084
平成29年度	804		0			804
対前年度	20,425		6,145			14,280
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				6,145

【事業概要】

片瀬・江の島周辺における回遊性の向上及び交通機能の強化を図るため、片瀬江ノ島駅駅前広場の整備に向けた基本設計を行う。

また、平成29年度に行った建物調査委託及び用地測量委託の成果等をもとに、当該広場整備に必要な用地の検討を進める。

1. 役務費 1,489 千円
  - ・不動産鑑定手数料
2. 委託料 18,436 千円
  - ・基本設計委託
3. 江の島地区周辺整備事業事務経費 1,304 千円



片瀬江ノ島駅駅前広場整備の検討内容

(この事業は平成29年度6月補正で増額した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
804	21,229	1,408,080	7,510	1,437,623	



商工費

事業名	観光施設整備費					
予算科目	款 8 項 2 目 4 細目 01 説明 02			観光シティプロモーション課		
指針体系コード	2-2-91	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
区分	事業費	重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	16,849		5,615	5,000	6,234	
平成29年度	0		0	0	0	
対前年度	16,849		5,615	5,000	6,234	
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				5,615
	(地方債)	観光施設整備債				5,000
	(その他)	江の島サムエル・コッキング苑使用料				6,234

<拡充事業> 観光客受入環境整備の実施

【施策等を必要とする背景】

本市の代表的な観光地であり、東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技会場となる江の島において、同大会の開催を契機に、今後ますます国内外からの観光客の増加が予想されており、観光客や観戦者の受入体制の充実が求められている。

【提案に至るまでの経緯】

- 平成29年9月 江の島中津宮広場常設公衆トイレ整備工事を行うため、調査委託に関する経費について、市議会定例会において予算補正を実施。
- 平成29年10月 藤沢市観光振興計画の見直しを実施。  
同計画の戦略プログラムに「グローバルスタンダードな観光案内サインの充実」のほか、「公衆トイレの快適性の充実」を掲げ、取組を推進することとしている。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・藤沢市観光振興計画の基本方針に「観光客を迎えるおもてなしの体制づくり」のほか、「外国人観光客誘致の推進」、「東京2020大会の開催地としてのおもてなしの体制づくり」を掲げ、各基本方針の中に、戦略プロジェクトとして位置付けている。
- ・湘南江の島魅力アップ・プランに「観光客が楽しめるおもてなしの体制と拠点づくり」として位置付けている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、今後ますます増加が予想される観光客や、同大会の観戦者等の受入体制を整備することにより、観光客の満足度向上が図られ、さらなる誘客促進やリピーターの獲得にも繋がる。

また、交通事業者や観光事業者等と連携し、統一感があり、誰もが分かりやすいグローバルスタンダードな観光案内サインを整備することにより、本市を訪れる観光客に対し、ストレス無く円滑な回遊の提供が可能となる。

2. 将来にわたる費用

本事業により、今後、整備工事等の事業費のほか、整備後の適正な維持管理に要する事業費が見込まれる。

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
	16,849			16,849	新規

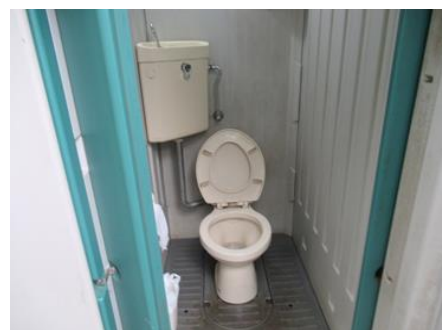
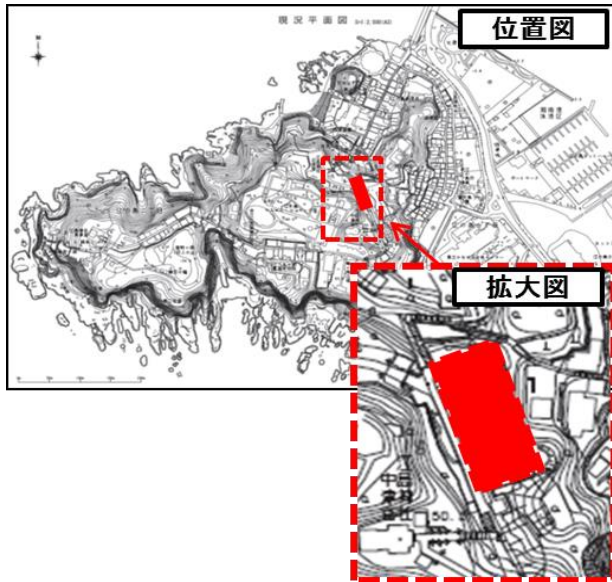
**【事業概要】**

本市を訪れる多くの観光客の受入環境の整備を図るため、江の島中津宮広場常設公衆トイレ整備工事の実施設計を行う。

また、円滑に観光地を回遊してもらうため、観光案内サイン整備プランの作成を行う。

(拡) 1. 江の島中津宮広場常設公衆トイレ整備工事实施設計委託 7,517 千円

観光客の受入体制を充実させるため、江の島中津宮広場常設公衆トイレ整備工事の実施設計を委託する。



(現況写真)

(新) 2. 観光案内サイン整備プラン作成業務委託 9,332 千円

国内外から本市を訪れる多くの観光客に対し円滑に観光地を回遊してもらうため、観光案内サイン整備プランの作成を行う。

＜既存案内サイン＞



(大型説明板：江の島名勝図)



(江の島地下道)

ロードマップ

	平成29年度 2017年度	平成30年度 2018年度(プレ大会)	平成31年度 2019年度(プレ大会)	平成32年度 (東京2020オリンピック競技大会)
中津宮常設トイレ整備事業		調査委託	実施設計委託	設置工事 供用開始
観光案内サイン整備事業		整備計画業務委託(プロポーザル)	整備工事	供用開始

(この事業は平成29年度9月補正で実施した事業)

事業名	(新) 公衆便所整備費					
予算科目	款 5 項 1 目 3 細目 03 説明 01			環境総務課		
指針体系コード	2-2-92	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	67,177	40,200		20,100		6,877
平成29年度	0	0		0		0
対前年度	67,177	40,200		20,100		6,877
特定財源の内訳	(国庫支出金)	特定防衛施設周辺整備調整交付金				40,200
	(地方債)	公衆便所整備事業債				20,100

**【施策等を必要とする背景】**

市内には、建設後20年以上経過している公衆便所が多く、老朽化に起因する修繕が増加傾向であることや開設当時にはなかったバリアフリー化等の多様化するニーズに対応できていない部分があるため、順次改修を計画している。江の島が東京2020オリンピック競技大会セーリング競技会場に選ばれたことから、江の島周辺の公衆便所の改修を優先的に行う。

**【提案に至るまでの経緯】**

平成27年に東京2020オリンピック競技大会セーリング競技会場が江の島に決定したことに伴い、神奈川県所管公衆便所の整備計画等の確認を行いながら、江の島周辺公衆便所3カ所を東京2020オリンピック競技大会までに整備することとした。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 無

**【市の策定する計画や条例との整合性】** 無

**【将来にわたる効果及び費用】**

バリアフリー化により、誰もが安全に安心して使用することができる公衆便所への改修を行うことで、公衆衛生の向上を図るとともに、観光客に対するイメージ向上につながる。

整備計画として、平成30年度に片瀬江の島公衆便所及び江の島公衆便所を改修し、平成31年度に片瀬東浜公衆便所の改修を実施する予定である。

**【事業概要】**

誰もが安全に安心して使用できる公衆便所にするため、老朽化対策及びバリアフリー化を推進するもの。

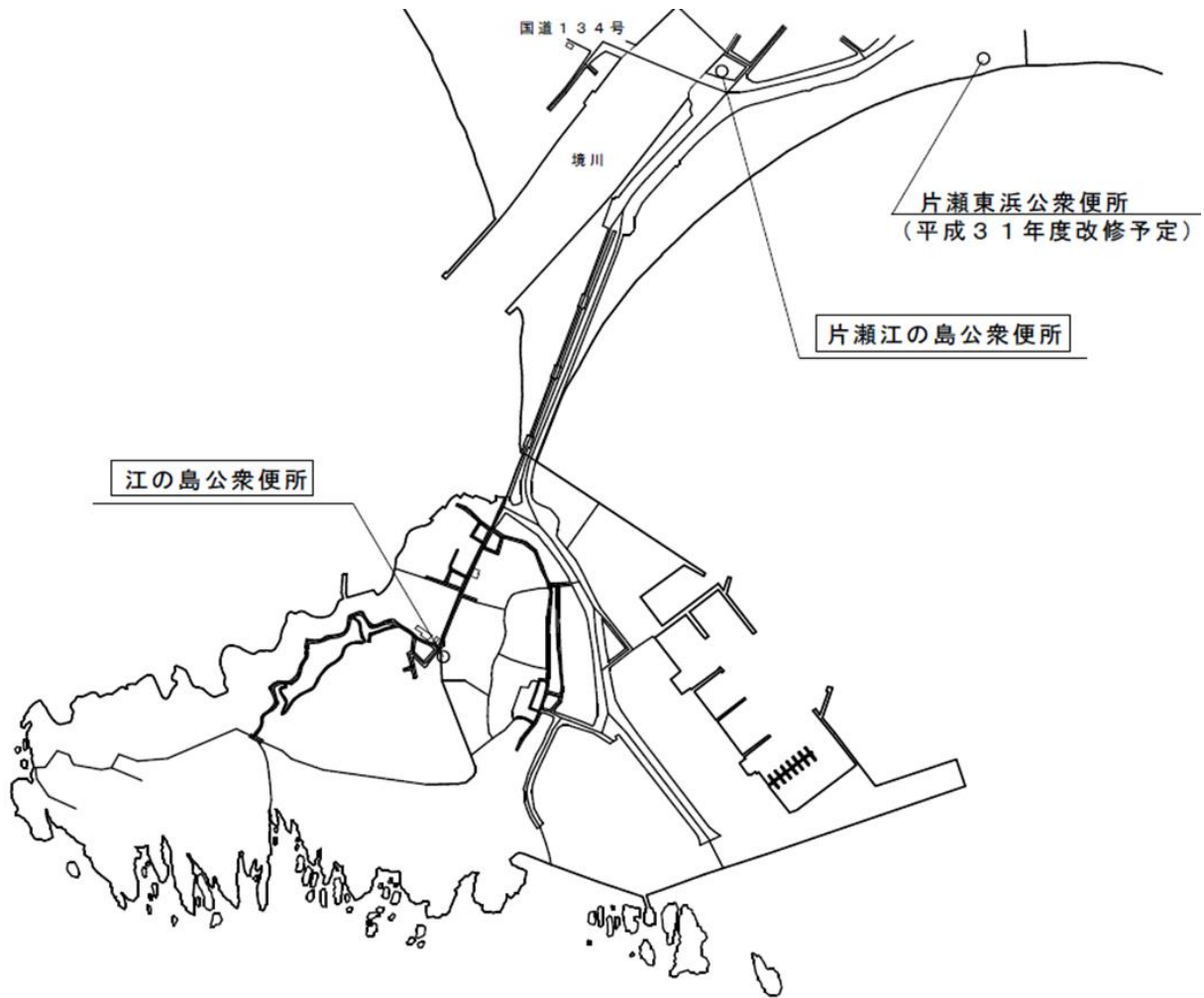
1. 工事請負費 67,133 千円
  - ・片瀬江の島公衆便所改修工事 39,722千円  
レイアウト変更を行い(床、内壁、天井、配管、照明) 全面改修(外壁は除く)を行う。
  - ・江の島公衆便所改修工事 27,411千円  
便器の洋式化、ブースパーテーション改修、手洗い器交換、屋外モルタル外壁交換及び木材柱の木肌復活塗装を行う。

**【事業費（事務事業中の重点事業分）】**

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
	67,177	50,000	0	117,177	新規

2. その他事務経費  
公衆便所改修工事における図面印刷にかかる経費

44 千円



(改修対象公衆便所位置図)

教育費

事業名	児童支援体制充実事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 2 細目 02 説明 13	学務保健課				
指針体系コード	3-1-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	25,777					25,777
平成29年度	17,957					17,957
対前年度	7,820					7,820

【事業概要】

全教職員があらゆる教育活動を通して組織的、効果的に児童支援に取り組み、一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな教育を推進するにあたり、小学校全35校に児童支援の中心的役割を持つ「児童支援担当教諭」を配置するために、担当教諭が受け持つ授業の一部を担う市費講師を配置し、児童支援担当教諭の活動時間を確保する。

- (拡) 1. 市費講師 25,777 千円  
 任用人数 23人  
 (経費内訳)  
 ・賃金 24,489 千円  
 (市費講師の1人あたりの授業時間数 週12時間)  
 ・交通費 1,288 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
17,957	25,777	31,380	31,380	106,494	拡充

教育費

事業名	校務支援システム構築事業費（小学校）					
予算科目	款 1 1 項 2 目 1 細目 03 説明 01	教育総務課				
指針体系コード	3-1-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	110,515					110,515
平成29年度	85,856					85,856
対前年度	24,659					24,659

【事業概要】

小学校において名簿管理をはじめとする校務を適切かつ効率的に行うため、情報セキュリティを確保しつつ、教職員が使用するパソコンを整備する。

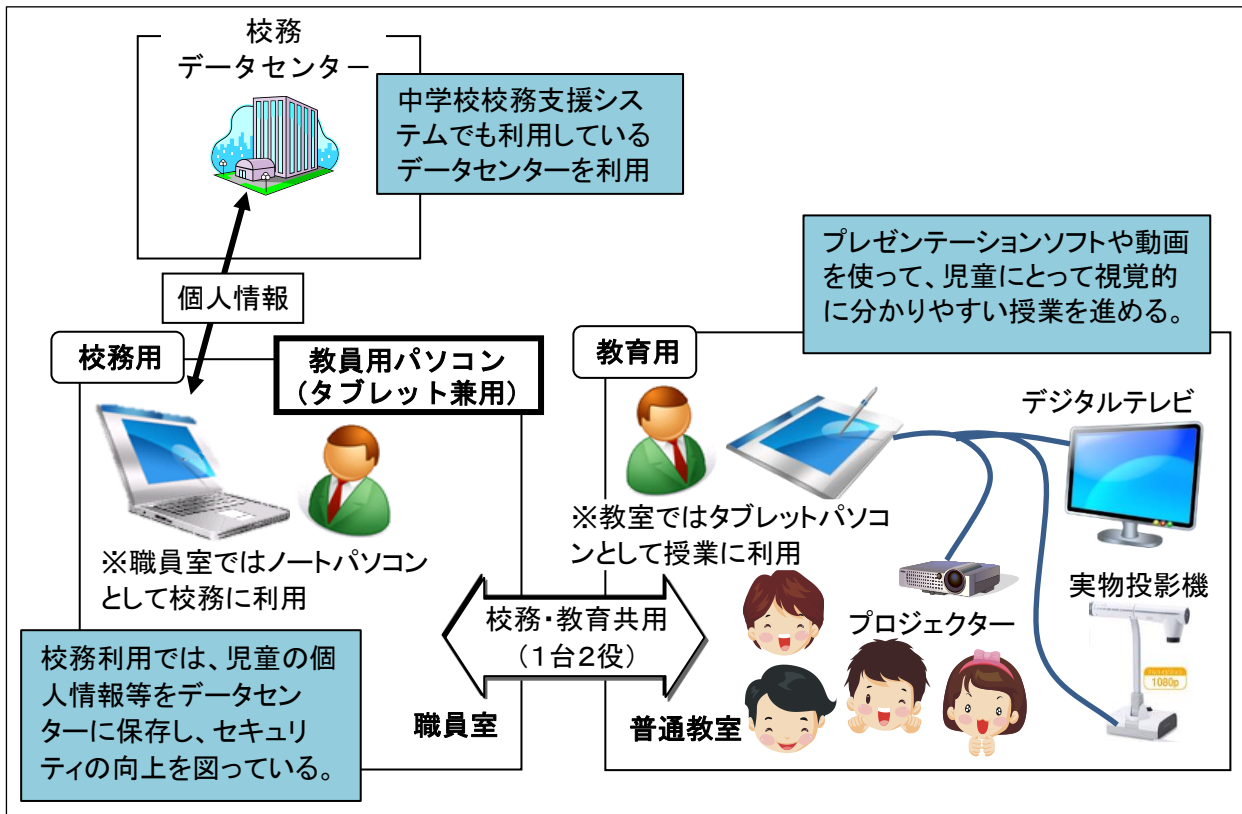
また、教員用パソコンについてはタブレット兼用のものを整備し、教室等での学習指導にも活用できるようにする。

(拡) 1. 校務用パソコン等賃貸借

110,515 千円

小学校教職員校務用PC整備状況前年度対比表

	台数	整備率
平成29年度	424台	40%
平成30年度	814台	77%



小学校教職員校務用パソコン運用イメージ図

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
85,856	110,515	131,654	128,493	456,518	拡充

民生費

事業名	法人立保育所等施設整備助成事業費(前年度事業名：法人立保育所施設整備助成事業費)					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 08			子育て企画課		
指針体系コード	3-2-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	212,836	0	181,264	0		31,572
平成29年度	87,277	58,185	0	23,200		5,892
対前年度	125,559	△ 58,185	181,264	△ 23,200		25,680
特定財源の内訳	(県支出金)	安心こども交付金事業費補助金				181,264

【事業概要】

法人立認可保育所における施設の長寿命化及び保育環境の向上を図るため、建設後一定年数が経過した施設の大規模改修や移転による再整備を実施するための経費を助成する。

1. 亀井野保育園大規模改修 178,677 千円  
 昭和53年の建設から39年が経過し、施設の老朽化が進んでいるため、設備等の改修を行うとともに、一部増築を行い待機児童の解消を図る。

  - ・設置運営法人 社会福祉法人葵福社会
  - ・所在地 亀井野4-4-2
  - ・構造等 鉄筋コンクリート造2階建て
  - ・定員 120名(改修後、定員130名に増員予定)
  - ・整備期間 平成30年7月～平成31年2月
2. 保育園小さなほし移転再整備 25,248 千円  
 既存運営施設は昭和57年に建築された建物を賃借し、運営を行っているが、建物の老朽化が進んでいるため、近接地に移転し、再整備を行うとともに、定員増による待機児童の解消を図る。

  - ・設置運営法人 社会福祉法人藤雪会
  - ・所在地 湘南台5-1-2(移転先：湘南台3-9-1)
  - ・構造等 鉄骨造2階建て(移転後：木造2階建て)
  - ・定員 60名(移転再整備後、定員66名に増員予定)
  - ・整備期間 平成30年7月～12月
3. 再整備に係る財産処分の返還金 8,797 千円  
 「安心こども交付金事業費補助金」を活用し設置した保育園小さなほしが移転・再整備することにより発生する返還金
4. 保育所等設置運営者選考委員会委員報酬 114 千円  
 公募による保育所等設置運営事業者の審査選考を行う委員会の専門委員に支払う報酬

(この事業は平成29年度6月補正で増額した事業)

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
87,277	212,836			300,113	



民生費

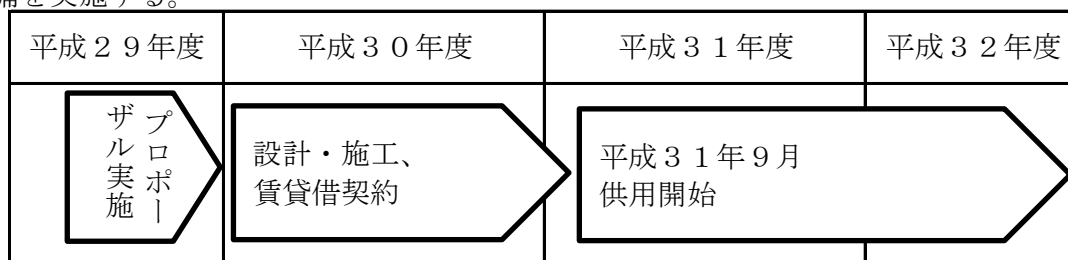
事業名	市立保育所整備費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 03			子育て企画課・保育課		
指針体系コード	3-2-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	2,918					2,918
平成29年度	25,338					25,338
対前年度	△ 22,420					△ 22,420

【事業概要】

老朽化した市立保育所の再整備を行うため、設計・施工一括、賃貸借契約により辻堂保育園の建て替えに着手するとともに、藤が岡保育園の建て替え期間中に使用する仮設園舎への移転等を行う。

1. 辻堂保育園再整備にかかる債務負担行為の設定

辻堂保育園については、建設から45年以上が経過しており、「公共施設の安全性の確保」及び「中長期にわたる保育需要へ対応を図る」ため、次のスケジュールに沿って再整備を実施する。



施設整備にあたっては、平成29年度から公募型プロポーザルにより実施事業者を選定し、設計・施工及び建設後の維持管理業務等について債務負担行為を設定する。

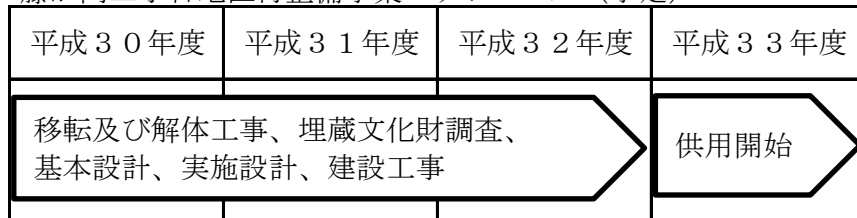
- ・事業期間 平成31年度から平成40年度まで（10年間）  
事業期間後の建物は市に無償譲渡され、引き続き辻堂保育園として運営する。
- ・限度額 900,000千円

2. 藤が岡保育園仮設園舎への移転にかかる費用等 2,918 千円

藤が岡二丁目地区再整備の一環として、藤が岡保育園の建て替えにあたり、建て替え期間中（平成30年5月から平成33年度中）に使用する仮設園舎（法人立認可保育所村岡保育園旧園舎）への移転及び備品の購入にかかる費用

〈参考〉

- ・藤が岡二丁目地区再整備事業スケジュール（予定）



【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
19,076		470,000	90,000	579,076	



民生費

事業名	法人立保育所運営費等助成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 05			保育課		
指針体系コード	3-2-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
区分	事業費	重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	1,802,689	74,592	101,462		88,838	1,537,797
平成29年度	1,824,398	62,027	87,977		88,838	1,585,556
対前年度	△ 21,709	12,565	13,485		0	△ 47,759
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				49,860
	(国庫支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				24,732
	(県支出金)	民間保育所運営費補助金				14,469
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				49,860
	(県支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				3,510
	(県支出金)	保育緊急対策事業費補助金				33,623
	(その他)	法人立保育所建物賃貸料収入				88,642
	(その他)	法人立保育所用地賃貸料収入				196

【事業概要】

法人立認可保育所の保育内容の向上及び施設運営の安定を図るため、設置者の社会福祉法人等に対し、保育所の運営費等を助成する。

1. 傷害・損害保険料  
在園児童の傷害保険加入費用等 2,684 千円
2. 湘南C-X内保育所建物賃借料等、UR都市機構内保育所土地賃借料 101,530 千円
3. 法人立保育所運営等業務委託 1,455,825 千円  
市内法人立認可保育所に対する人件費、安定した施設運営を図るための管理費、及び一時預かりなどの特別保育の実施に要する費用
4. 法人立保育所特別経常費補助金 43,661 千円  
施設及び設備整備のため、独立行政法人福祉医療機構又は社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会から借り入れた法人に対し、借入金の償還元金の一部を助成
5. 法人立保育所保育士宿舎借り上げ支援事業補助金 26,568 千円  
保育士の人材確保及び離職防止を図るため、保育士のための宿舎を借り上げた法人に対し、年間経費の3/4を助成
6. 社会福祉法人立保育所用地賃借料補助金 12,944 千円  
民有地等を賃借して認可保育所を設置運営する法人に対し、年間賃借料の1/2を助成
7. 分園設置運営補助金 30,000 千円  
建物を賃借して分園を設置運営する法人に対し、年間賃借料の3/4を助成
8. 保育所建物設置賃借料補助金 111,665 千円  
建物を賃借して認可保育所を設置運営する法人に対し、年間賃借料の1/2を助成
9. 法人立保育所保育士等確保事業補助金 9,000 千円  
市内法人立認可保育所が確実に職員を雇用できるよう、保育所を設置運営する法人に対し、人材確保に係る経費の一部を助成
10. 市外民間保育所扶助費 8,812 千円  
市外の法人立認可保育所等に在園する本市在住児童の保育に要する費用

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
1,824,398	1,802,689	1,914,444	1,914,444	7,455,975	

民生費

事業名	放課後児童クラブ整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 07 説明 03			青少年課		
指針体系コード	3-2-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	115,997	36,255	26,613	10,900	3,689	38,540
平成29年度	77,525	18,105	18,105	0	0	41,315
対前年度	38,472	18,150	8,508	10,900	3,689	△ 2,775
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				23,399
	(国庫支出金)	子ども・子育て支援整備交付金				12,856
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				23,399
	(県支出金)	子ども・子育て支援整備交付金				3,214
	(地方債)	放課後児童クラブ整備事業債				10,900
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				3,689

【事業概要】

藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき、設置運営事業者の公募を行い、平成31年4月開所に向けた児童クラブの整備に係る費用の一部を負担するとともに、（公財）藤沢市みらい創造財団及び（社福）湘南児童福祉会との連携により放課後児童クラブを整備する。

また、天神小学校区の放課後児童クラブ及び障がい児者一時預かり施設等の整備に係る設計委託及び敷地測量を行う。

1. 放課後児童クラブの移設 27,484 千円

小学校区	定員(予定)	事業者	整備手法	備考
藤沢	60人	(公財)藤沢市みらい創造財団	藤沢公民館・労働会館等複合施設への整備	第2さわやか児童クラブの移設
本町	60人	(社福)湘南児童福祉会	県立藤沢高等学校跡地への建設	神明しいのみクラブの移設

※いずれも平成31年4月開所予定

2. 公募による放課後児童クラブの整備 63,997 千円

- (1) 放課後児童クラブ設置運営事業者選考委員会委員報酬 177 千円

平成31年4月開所に向け放課後児童クラブ設置運営事業者の審査選定を行うため、学識経験者に対し選考委員会委員報酬を支払う。

- (2) 選定事業者による整備 63,820 千円

選考委員会で選定した事業者との連携により既存建物の改修等による整備を行い、大鋸、亀井野及び辻堂の3小学校区において各1クラブを、八松小学校区において2クラブを設置する。

3. 天神小学校区放課後児童クラブの整備に係る設計委託及び敷地測量 24,516 千円

平成32年4月開所に向け、県立藤沢北高等学校跡地に放課後児童クラブ及び障がい児者一時預かり施設等を整備するため、設計委託及び敷地測量を行う。

(この事業は平成29年度9月補正で増額、12月補正で減額した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
77,525	115,997	393,191	24,748	611,461	

民生費

事業名	小児医療助成費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 05 説明 01			子育て給付課		
指針体系コード	3-2-51	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	1,622,825		233,625		120	1,389,080
平成29年度	1,642,381		254,591		120	1,387,670
対前年度	△ 19,556		△ 20,966		0	1,410
特定財源の内訳	(県支出金)	小児医療費助成事業費補助金				233,625
	(その他)	高額療養費還付金				95
	(その他)	第三者行為損害賠償金				25

<拡充事業> 平成31年4月に予定する対象年齢拡大に向けた準備作業の実施

【施策等を必要とする背景】

子どもの医療費にかかる保護者の経済的負担を軽減することにより、安心して子育てができる環境づくりのさらなる推進を図るため、平成31年4月から通院に係る医療費助成の対象年齢を、現行の小学校6年生までから中学校3年生までに拡大する。

【提案に至るまでの経緯】

対象年齢の拡大にあたっては、持続可能な制度となるよう平成28年度に実施された藤沢市市政運営の総合指針2016の改訂作業の中で、必要な財源確保等について整理しながら検討を進め、平成29年4月に策定された藤沢市市政運営の総合指針2020における重点事業の一つとして位置づけた。

平成29年9月の子ども文教常任委員会において、これまでの検討に基づく制度改正の概要案を報告した。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

平成29年11月の1カ月間、条例改正案に対する市民意見公募（パブリックコメント）を実施した。

【市の策定する計画や条例との整合性】

【藤沢市市政運営の総合指針2020】

- ・藤沢市市政運営の総合指針2020における重点施策の一つに、子どもの健やかな成長に向けた支援の充実が示されており、小児医療助成費が重点事業として位置づけられている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、小児の保健の向上と福祉の増進が図られるとともに、子育て世帯の保護者の経済的負担が軽減される。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政的負担見込額は次のとおり（拡大にかかる経費のみ）

平成31年度以降 234,282千円（内訳 扶助費：225,000千円 役務費他：9,282千円）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
	43,448	234,282	234,282	512,012	拡充

### 【事業概要】

小児の健康増進と子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、小学校6年生までの児童の入通院及び中学生の入院に係る医療費を助成する。

平成30年度は対象年齢の拡大に向けた準備期間として、対象者への制度周知と申請勧奨、所得制限等の資格判定、医療証の発行・発送を行うためのシステム改修を行うとともに、準備作業に従事する臨時職員の雇用、交付申請書や案内チラシ、封筒、医療証等の作成・印刷及び封入封緘作業の業務委託等を行う。

1. 医療費助成（扶助費）			1,525,075 千円
対象者の保険診療に係る医療費の自己負担分を助成する。			
未就学児分（所得制限なし）	806,820千円	受診件数見込み	481,224件
小学生分（所得制限なし）	714,411千円	受診件数見込み	327,091件
中学生入院分（所得制限あり）	3,844千円	受診件数見込み	66件
2. 審査支払手数料			53,794 千円
小児医療証取扱い分に係る神奈川県国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金への審査支払手数料			
件数見込み	807,713件		
3. 小児医療助成費事業事務経費			508 千円
旅費、需用費			
(新) 4. 対象年齢拡大にかかる準備経費			43,448 千円
システム改修等に要する委託料	41,847 千円		
臨時職員賃金	1,430 千円		
旅費、需用費、賃借料	171 千円		

民生費

事業名	子どもの生活支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 4 細目 03 説明 01			子ども家庭課		
指針体系コード	3-3-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	8,124		4,264			3,860
平成29年度	8,124		4,264			3,860
対前年度	0		0			0
特定財源の内訳	(県支出金)	子ども・青少年の居場所づくり推進事業費補助金				4,264

【事業概要】

ひとり親家庭や経済的に困難を抱えている家庭のうち、さまざまな事情から、夜、保護者と一緒に過ごす時間が限られている、また十分な食事をとることができないなど、養育環境等に課題がある小・中学生等を対象に、安心して夜を過ごすことができる場を提供することを目的として、基本的な生活習慣の習得、学習習慣の定着、食事の提供等の支援を行う。

1. 子どもの生活支援事業業務委託 8,124 千円  
 《実施場所》 市内2カ所  
 《実施日数》 月12日以上（平日の夜間等に実施）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
8,124	8,124	8,124	8,124	32,496	

民生費

事業名	子ども・若者育成支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 06 説明 01			青少年課		
指針体系コード	3-3-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	11,320		800			10,520
平成29年度	11,666		800			10,866
対前年度	△ 346		0			△ 346
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村事業推進交付金				800

【事業概要】

ニート・ひきこもり等の社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者とその家族を対象に、きめ細やかな相談により若者一人ひとりと向き合い、それぞれの状況に応じた自立を支援する事業を実施する。

また、学校教育相談センター等と連携し、中学校卒業後の進路未決定者等について相談等の引き継ぎを行い、切れ目ない支援を実施することで、社会的自立を支援する。

1. 若者サポート事業業務委託 11,320 千円

困難を有する若者や家族からの相談に対して専門スタッフがきめ細やかな面談（カウンセリング）を行い、個々の状況に応じた自立に向けて、ユースワークふじさわや関係機関等と連携を図りながら継続的に支援を実施する。

(1) 対象者

市内在住・在勤・在学の概ね15歳から30歳代までの若者とその家族

(2) 支援内容

- ・専門スタッフによる電話・来所・Eメールによる相談、地域出張相談
- ・自立に向けた具体的な個別支援計画の作成
- ・福祉、保健・医療、就労的自立支援等の個別機関・団体等への引き継ぎ及び同行支援
- ・学校教育相談センターや各学校との連携による切れ目ない支援

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
11,666	11,320	11,320	11,320	45,626	

労働費

事業名	就労支援事業費					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 02 説明 02			産業労働課		
指針体系コード	3-3-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	22,683					22,683
平成29年度	23,108					23,108
対前年度	△ 425					△ 425

【事業概要】

就労支援事業として、困難を有する若者を対象とした「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」及び求職者や勤労者を対象とした就労支援・資格取得講座を実施する。また、地域の雇用状況の改善を図るため、求職者を対象として、広域連携により「湘南合同就職面接会」を実施する。

1. 若年者就労支援事業「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」 16,884 千円  
 ニート、ひきこもり等の就労に困難を有する若者の自立に向け、専門スタッフによるきめ細かな相談、社会参加、就労体験等の各種プログラムを通じて自立・就職・定着に至るまでを支援する。また、その保護者を対象に講演会や相談を実施する。
  - (1) 対象者  
市内に在住・在勤・在学の概ね15歳から39歳の若者とその家族
  - (2) 支援内容
    - ①各種相談  
・専門スタッフによる相談 ・個別継続支援 ・訪問相談 ・地域出張相談・セミナー
    - ②就労準備応援  
・社会参加プログラム（コミュニケーションワークショップ、生活・金銭管理講座等）  
・就労準備セミナー、職業訓練プログラム（職業適性検査、マナー講座等）
    - ③就労応援  
・就労支援プログラム（パソコン教室、職業人セミナー等）  
・社会体験（ボランティア体験）、就労体験
    - ④就労後応援・家族応援  
・電話・来所・Eメールによる相談・定着支援  
・家族交流会や講演会の実施
  
2. 就労支援・資格取得講座 5,496 千円  
 少子高齢化や女性の社会進出など社会情勢にあわせて、就労支援講座や資格取得講座、市内企業向けの障がい者就労推進講座などを実施する。
  
3. 湘南合同就職面接会 303 千円  
 藤沢公共職業安定所管内の3市1町（藤沢市・鎌倉市・茅ヶ崎市・寒川町）で広域連携を図り、神奈川県、藤沢公共職業安定所、商工会議所、商工会と連携し、短時間で効率的な就職機会と人材発掘の場を提供する求職・求人支援事業を実施する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
16,884	16,884	16,884	16,884	67,536	



教育費

事業名	奨学金給付事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 2 細目 02 説明 14			教育総務課		
指針体系コード	3-3-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	3,403				3,060	343
平成29年度	963				900	63
対前年度	2,440				2,160	280
特定財源の内訳	(その他)	教育応援基金繰入金				3,060

【事業概要】

意欲と能力のある高校生等が、経済的理由により進学を断念することなく、大学等での修学の機会が得られるよう、給付型奨学金制度を実施する。

- (括) 1. 奨学金の給付 3,060 千円  
 平成29年度に選考した奨学生に対し、授業料相当の学費奨学資金を給付するとともに、面談等により入学後のアフターフォローを行う。  
 また、新たな奨学生を募集し、入学金相当の入学準備奨学資金を給付する。
2. 奨学金給付審査委員会委員報酬 74 千円  
 奨学生の選考等に関する審査を行う奨学金給付審査委員会委員に対して、日額報酬を支払う。
3. 奨学金関係事務経費 269 千円  
 奨学金給付事業に必要な事務用品等

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
963	3,403	5,610	7,770	17,746	拡充

民生費

事業名	藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 23 説明 01			地域包括ケアシステム推進室		
指針体系コード	4-1-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	1,135	582				553
平成29年度	1,091	582				509
対前年度	44	0				44
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				582

【事業概要】

誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らし続けることができるまちをめざし、市民、地域で活動する団体・事業者等と行政との協働により、13地区ごとの特性を活かした支えあいの地域づくりと、その取組を支える仕組み・連携体制づくりを中心とした、藤沢型地域包括ケアシステムの推進に向けた施策等に取り組む。

1. 「藤沢型地域包括ケアシステム推進会議」の開催（委員報酬） 777 千円  
市民、医療・福祉等の関係機関や地域団体の代表者、市社会福祉協議会や行政の職員で構成する審議会を開催し、藤沢型地域包括ケアシステムの推進における多機関との連携体制やネットワークづくりに向けた意見交換、情報共有を図る（年4回）。
2. 藤沢型地域包括ケアシステムの普及啓発（報償費、旅費、需用費） 358 千円  
藤沢型地域包括ケアシステムの基本理念を共有し、市民一人ひとりが地域社会の一員として地域づくりについて考え、取り組むきっかけづくりとして、身近なテーマを切り口としたシンポジウムや、ワークショップ等の開催、啓発リーフレット等の作成・配布による普及啓発を図る。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
1,091	1,135	1,135	1,135	4,496	

民生費

事業名	生活困窮者自立支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 01	地域包括ケアシステム推進室				
指針体系コード	4-1-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	119,821	79,536				40,285
平成29年度	100,309	65,785				34,524
対前年度	19,512	13,751				5,761
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				36,835
	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				42,701

<拡充事業> ①コミュニティソーシャルワーカーの増員配置  
②学習支援事業における個別支援の充実

【施策等を必要とする背景】

「藤沢型地域包括ケアシステム」では、子どもから高齢者、障がい者、生活困窮者等すべての市民を対象とすることを基本理念の一つとし、13地区の特色にあわせそれぞれの地域の課題に対するきめ細やかな対応を掲げている。そのため各地区においてその特色を生かし、地域のニーズに即した支えあいの地域づくりを関係機関・地域団体等と協力して進めていくコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置地区の拡大が求められている。

また、学習支援事業を利用する児童、生徒の中に不登校の問題や高校進学に向けた課題を抱えている場合があり、家庭だけでなく学校・教育関係機関等と連携し、子ども一人ひとりの状況に応じた伴走型の支援が必要となっている。

【提案に至るまでの経緯】

①CSWの増員配置

平成28年4月 3地区（六会、湘南大庭、鵠沼）に3人をモデル配置

平成29年4月 2地区（村岡、長後）に配置し、計5地区に拡大

②学習支援事業の展開

平成26年11月 モデル事業として市内南北（鵠沼・六会）の2カ所で開始

平成27年4月 生活困窮者自立支援法施行に伴う本格実施

平成28年4月 湘南大庭地区に1カ所増設（計3カ所で実施）

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

①「藤沢市地域福祉計画2020」（中間見直し）

「地域福祉を推進するためのコーディネーターとなりうる人材の育成・確保」「地域における福祉相談窓口の充実」にCSWの配置、活動を位置づけている。

②「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」

「子どもの貧困対策の推進」の主な施策として、「生活困窮世帯の子どもに対する学習支援」を位置づけている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

①CSWの配置を拡充することにより、困難を抱えた人の早期把握と各地区の様々な支援機関との連携による相談支援が可能となるとともに、支えあいの地域づくりにもつながり、地区の特性に合わせた藤沢型地域包括ケアシステム推進の一助となる。

②学習支援事業において個別支援を充実し、学校等との連携を強化することで、不登校等の問題や高校進学に向けた手続き等への支援が可能となり、貧困の連鎖や高校の中退防止にも寄与する。

2. 将来にわたる費用

CSWの配置拡充にともない事業費の増額が見込まれるが、国の補助事業の活用を含め、財源確保に努めていく。

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
100,309	119,821	119,821	119,821	459,772	拡充

## 【事業概要】

生活困窮者自立支援法に基づき、第2のセーフティネットとして、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、各種事業を実施する。

なお、市社会福祉協議会「バックアップふじさわ社協」への各委託事業（1～4）の中で、コミュニティソーシャルワーカーを8地区に配置する。

- (拡) 1. 自立相談支援事業（必須事業） 47,759 千円  
《事業内容》生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対する相談に応じ、さまざまな社会資源と連携・協働しながら、相談支援を一体的かつ計画的に行う。  
《実施機関》・地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」（市直営）  
本庁（福祉総合相談支援センター）及び北部福祉総合相談室で実施  
・市社会福祉協議会「バックアップふじさわ社協」（一部委託）
2. 共助の基盤づくり事業（任意事業） 9,510 千円  
《事業内容》身近な地域で誰もが安心して生活していくために、住民相互の支えあいによる共助の取組を活性化し、これらを地域全体で支える基盤を構築する。  
《実施機関》市社会福祉協議会「バックアップふじさわ社協」（委託）
- (拡) 3. 多機関の協働による包括的支援体制構築事業（任意事業） 17,284 千円  
《事業内容》多分野にわたる相談支援機関の連携体制及び多職種間の連携・協働の体制を構築し、複合的な課題を抱える者に対する支援をコーディネートする。  
《実施機関》・地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」（市直営）  
・市社会福祉協議会「バックアップふじさわ社協」（一部委託）
- (新) 4. 地域力強化推進事業（任意事業） 2,543 千円  
《事業内容》住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みる体制づくりを支援し、その活動を通して把握された個別課題を包括的に受け止め、必要に応じて支援機関につながることのできる体制を構築する。  
《実施機関》市社会福祉協議会「バックアップふじさわ社協」（委託）
5. 住居確保給付金の支給（必須事業） 1,381 千円  
《事業内容》離職者の住居を確保し、就職活動を支えるため、家賃相当額を支給する。  
《実施機関》地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」（市直営）
6. 就労準備支援事業（任意事業） 14,437 千円  
《事業内容》就労意欲の喚起や、就労に向けた基礎能力の形成を目的として、日常生活自立・社会生活自立段階から支援を行う。  
《実施方法》委託事業として実施
7. 家計相談支援事業（任意事業） 8,937 千円  
《事業内容》家計管理に関する相談と指導、貸付のあっせん等の支援を行う。  
《実施方法》委託事業として実施
- (拡) 8. 学習支援事業（任意事業） 17,970 千円  
《事業内容》市内3地区（北部・東部・西部）に拠点を開設し、生活困窮家庭の子どもへの学習支援、居場所づくり及び学習の重要性についての保護者の理解促進等の支援を行う。また、新たに、利用者のうち不登校等の子ども（小～高校生）についての学校や支援機関への付添、高校入試関連の校外活動への同行、学校等との連絡調整を必要に応じて実施する。  
《実施方法》委託事業として実施

民生費

事業名	地域生活支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 16 説明 01			障がい福祉課		
指針体系コード	4-1-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
区分	事業費	重点施策名	多様な主体による支援の充実			
	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	624,480	143,186	88,181		7,836	385,277
平成29年度	610,262	140,594	89,390		7,461	372,817
対前年度	14,218	2,592	△ 1,209		375	12,460
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				143,186
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				71,594
	(県支出金)	市町村事業推進交付金				16,587
	(その他)	障がい福祉事業所建物賃貸料収入				5,736
	(その他)	地域活動支援センター利用他市負担金				2,100

<拡充事業> ①発達障がい委託相談支援事業所への臨床心理士の配置  
②居室確保事業の実施

【施策等を必要とする背景】

- ① 発達障がいの可能性のある小中学生が約15人に1人とも言われている状況から今後も相談件数の増加が見込まれる。これまでは神奈川県が設置する「発達障害者支援センターかながわA（エース）」の相談機能を活用してきたが、相談者数の増加等により同センターのみでは個別相談への対応が困難となってきた。また、発達障がいの委託相談支援事業所リートでは、臨床心理士が不在であるため、新規の相談者には他機関で心理検査を受けた上で、結果を持参してもらわなければならない。継続相談者についても心理検査の実施により行動面の変容を確認すべきであるが、現状では心理検査を通じた行動面の傾向分析や医療機関につなぐ必要性の判断が十分にできていない。本市及び近隣市においては、発達障がいを扱う専門の医師が非常に少ないため、発達障がい専門の相談機関の充実が必要となっている。
- ② 第4期ふじさわ障がい福祉計画に基づき、障がい者の「重度化・高齢化や親亡き後」を見据え、地域での生活を支援する機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受け入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）を、平成29年度末までに、少なくとも1つ整備することを目標に、平成28年度から「地域生活支援拠点等の整備に関するワーキング」を立ち上げ、検討を重ねており、平成29年度の取組として、緊急時に支援が必要な対象者の把握と、短期入所の利用促進を行っているところである。

既存の短期入所事業所においては、居室の空きが少ないことから、事前予約をせずに数日間の緊急一時的な利用を行うことが困難であり、また障がい福祉サービスの支給決定を受けていない人による利用ニーズも想定されることから、平成29年度から本事業を新たに実施することにより、地域で緊急一時的な宿泊ができる体制を確保する。

【提案に至るまでの経緯】

- ① 平成29年5月に、発達障がい委託相談支援事業所職員が来庁し、発達障がいに関する相談支援事業の現状と、臨床心理士配置の必要性について事業者との協議により、心理士の配置を行うこととした。
- ② 平成27年度 藤沢市障がい者総合支援協議会において、地域生活支援拠点等の整備に関する議案を提案  
平成28年度 ワーキングチームを立ち上げ、緊急時における支援体制を検討  
平成29年度 市と委託相談支援事業所で、緊急時に支援が必要な対象者を把握し、支援につなぐ取組を開始

【市民参加の実施の有無とその内容】

- ① 無
- ② 有 藤沢市障がい者総合支援協議会における協議

【市の策定する計画や条例との整合性】

ふじさわ障がい者プラン2020 第6章 「第5期ふじさわ障がい福祉計画」  
〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
81,986	89,452	93,431	106,695	371,564	拡充

### 【将来にわたる効果及び費用】

- ① 発達障がいについて社会の認知度が高まる中で、自らや子どもが発達障がいなのではないかという不安を持つ人の数は今後増加していく見込みであり、そのような相談者に対して心理士によるきめ細やかな対応をすることができる。

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

平成30年度 6,792千円

平成31年度以降 6,792千円

- ② 介護者の不在等で緊急的に宿泊を伴う支援の必要が生じた際の受け皿として、障がいのある人が地域で安心して生活する一助となる。

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

平成30年度 2,826千円

平成31年度以降 2,826千円

### 【事業概要】

障がい者の自立のため、障がい者総合支援法に基づき、地域の特性や利用者の状況に応じた事業（地域生活支援事業）を実施する。

1. 手話通訳等の派遣・設置 8,375 千円  
聴覚障がい者等に対し、手話通訳者または要約筆記者の派遣及び配置を行う。

- (括) 2. 障がい者相談支援事業の実施 96,840 千円  
障がい児者及びその家族の地域生活を支援するための相談支援事業を実施する。また、発達障がい専門の委託相談支援事業所に新たに常勤の臨床心理士を配置する。

3. 日常生活用具の給付 93,152 千円  
重度の障がい児者に対して、日常生活を円滑に行うための用具を給付する。

4. 移動支援事業の実施 184,552 千円  
屋外での移動が困難な障がい児者に対して、外出のための支援を行う。

5. 日中一時支援事業の実施 54,282 千円  
障がい児者の日中活動の場を確保し、障がい児者の家族に対して一時的な支援を行う。

6. 訪問入浴事業の実施 38,646 千円  
自宅での入浴が困難な障がい児者に対して、入浴サービスの支援を行う。

7. 手話講習会事業等の実施 1,705 千円  
手話講習会、要約筆記体験会を実施する。

8. 障がい児者一時預かり事業 26,697 千円  
緊急時に障がい児者を受け入れる一時預かり事業に対して助成を行う。

9. 障がい者虐待防止センターの運営等 5,198 千円  
障がい者虐待防止法にかかる普及啓発等を行う。

10. 地域活動支援センターへの運営費等の助成 109,669 千円

11. 市外の地域活動支援センター利用に対する負担金 2,100 千円

12. 藤沢市自立動作支援装具（ロボットスーツ）着用訓練費助成事業 438 千円  
身体障がい者の体力向上と身体機能維持のため、訓練に要した経費の助成を行う。

- (新) 13. 居室確保事業 2,826 千円  
介護者の不在等、緊急的に宿泊を伴う支援の必要が生じた際の一時的な居室を提供する。

民生費

事業名	介護人材育成支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 18 説明 01			介護保険課		
指針体系コード	4-1-41	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	15,023					15,023
平成29年度	12,046					12,046
対前年度	2,977					2,977

【事業概要】

高齢者一人ひとりの状況に応じた適切な介護サービスを継続的に提供できる体制づくりを支援するため、介護職員初任者研修の受講者支援及び特別養護老人ホーム、地域密着型サービス事業所等の介護職場における介護人材の確保と技能の向上を目的に、各種助成事業を行う。

1. 介護職員初任者研修受講料助成事業 400 千円  
 介護職員初任者研修受講者を対象として、研修終了後、一定の就労要件を満たした場合に受講料の一部（上限2万円）を助成する。
  
2. 特別養護老人ホーム等人材育成定着事業 12,343 千円  
 市内で特別養護老人ホーム、養護老人ホーム及び介護老人保健施設を運営する社会福祉法人等に対し、介護職員等の資格取得や研修への参加、職員募集に関する事業及び介護ロボットの導入に関する事業の実施に係る費用の一部（上限100万円）を助成する。
  - (1) 介護職員等資格取得支援事業 （費用の3分の1以内）
  - (2) 介護職員等レベルアップ研修支援事業 （費用の2分の1以内）
  - (3) 介護職員等募集支援事業 （費用の2分の1以内・上限30万円）
  - (4) 介護ロボット導入支援事業 （費用の2分の1以内・上限30万円）
  
3. 地域密着型サービス事業所人材育成定着事業 2,280 千円  
 地域密着型サービス事業所を運営する法人に対し、介護職員等の資格取得や研修への参加に係る費用の一部（上限10万円）を助成する。
  - (1) 介護職員等資格取得支援事業 （費用の3分の1以内）
  - (2) 介護職員等レベルアップ研修支援事業 （費用の2分の1以内）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
12,046	15,023	15,584	15,584	58,237	



衛生費

事業名	健康づくり推進事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 01			健康増進課		
指針体系コード	4-2-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	79,586	1,313	2,441			75,832
平成29年度	75,576	1,313	2,441			71,822
対前年度	4,010	0	0			4,010
特定財源の内訳	(国庫支出金)	国民健康・栄養調査委託金				1,313
	(県支出金)	健康増進事業費補助金				2,441

【事業概要】

藤沢市健康増進計画（第2次）の到達目標である「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」を達成するため、生活習慣病予防及び重症化予防を目的とする健康教育・健康相談等、健康づくり事業を実施し、市民が健康づくりに取り組みやすい社会環境の整備を図る。

- 健康づくり推進会議・タバコ対策協議会・食育推進会議・歯科保健推進会議の開催  
964 千円

藤沢市健康増進計画（第2次）に掲げた健康づくり施策の進捗状況や事業の検証を行うため、専門家や有識者などで構成する各会議を開催する。

- 藤沢市健康増進計画（第2次）に基づくがん対策や健康づくりに関する普及啓発、人材育成等、各種事業の実施  
1,221 千円

- 保健医療センターにおける健康づくり推進事業の実施  
64,297 千円

・健康づくり支援事業

生活習慣病予防及び重症化予防のための健康支援プログラム、普及啓発事業の実施

・健康づくりトレーニング

各種検査による健康診査（健康度チェック）や、運動時の身体機能を判定する体力度チェックによる、一人ひとりにあわせたトレーニングメニューの作成、実践

・地域支援事業

運動指導員、保健師等が地域での身体活動促進に向けたグループや団体などと連携して市民の自主的な健康づくりにつながる様々な活動メニューの提供や相談、指導等を実施

- 健康づくりに関するボランティアの養成及び活動支援、市民活動団体との協働事業の実施  
2,196 千円

健康づくり普及推進団体、食生活改善推進団体等への事業委託等

- 健康づくりの普及啓発事業  
2,039 千円

- 健康増進法に基づく国民健康・栄養調査  
1,492 千円

- (新) 健康寿命日本一をめざすリーディングプロジェクト  
598 千円  
・周知・啓発リーフレット等の作成

- 藤沢市健康増進計画（第2次）中間評価及び第2次藤沢市食育推進計画最終評価におけるアンケート業務委託  
3,995 千円

- 健康づくり推進事業事務経費  
2,784 千円  
旅費、消耗品費、役務費他

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
75,576	79,586	81,178	82,802	319,142	拡充

衛生費

事業名	がん検診事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 03			健康増進課		
指針体系コード	4-2-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
区分	事業費	重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	676,466	2,434				674,032
平成29年度	687,816	2,040				685,776
対前年度	△ 11,350	394				△ 11,744
特定財源の内訳	(国庫支出金)	がん検診総合支援事業補助金				2,434

【事業概要】

がんの早期発見、早期治療のため、市内指定医療機関でがん検診を実施する。対象者には個別通知を行い、受診率の向上を図る。

特に女性のがんについては、国の補助による無料クーポン券の配布を継続するとともに、啓発ステッカーの作成や検診車によるマンモグラフィ検診の拡充により普及啓発を図る。

1. 胃がん検診（実施期間4月～3月） 93,253 千円  
40歳以上の市民を対象にバリウムによる検診を行う。  
自己負担額は3,000円（70歳以上は無料）
2. 胃がんリスク検診（実施期間6月～10月） 14,769 千円  
40・45・50・55・60・65・70歳の市民を対象に採血による検診を行う。  
自己負担額は1,000円
3. 子宮頸がん検診（実施期間4月～3月） 193,395 千円  
20歳以上の女性市民を対象に細胞診検診を行う。  
自己負担額は2,000円（無料クーポン券対象の20歳と70歳以上は無料）
4. 乳がん検診（実施期間4月～3月） 124,641 千円  
40歳以上の女性市民を対象にマンモグラフィによる検診を行う。  
自己負担額は40歳～49歳まで（2方向撮影）は3,000円（無料クーポン券対象の40歳は無料）、50歳以上（1方向撮影）は1,800円（70歳以上は無料）
5. 肺がん検診（実施期間6月～10月） 140,856 千円  
40歳以上の市民を対象に胸部X線検査及び喀痰検査による検診を行う。  
自己負担額は600円（70歳以上は無料）
6. 大腸がん検診（実施期間6月～10月） 49,255 千円  
40歳以上の市民を対象に便潜血反応検査による検診を行う。  
自己負担額は600円（70歳以上は無料）
7. 前立腺がん検診（実施期間6月～10月） 32,491 千円  
50歳以上の男性市民を対象にPSA検査による検診を行う。  
自己負担額は1,000円
- (拡) 8. 啓発ステッカーの作成、マンモグラフィ検診車による集団検診の実施 3,004 千円  
女性のがん検診の受診率向上のため、啓発ステッカーを作成して市有施設的女子トイレ等に貼り、周知啓発を図る。また、マンモグラフィ検診車による集団検診の回数を増やし、検診機会の拡充を図る。
9. がん検診事務経費 24,802 千円  
賃金、消耗品費、印刷製本費他

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
14,989	14,769	30,000	30,300	90,058	拡充

土木費

事業名	公園改修費					
予算科目	款 9 項 4 目 4 細目 02 説明 05			公園課		
指針体系コード	4-2-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	185,283	16,000		39,000		130,283
平成29年度	156,095	19,500		45,900		90,695
対前年度	29,188	△ 3,500		△ 6,900		39,588
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				16,000
	(地方債)	公園建設事業債				14,400
	(地方債)	土砂災害防止対策事業債				24,600

【事業概要】

公園を安全・安心に利用できることを目的とし、遊具等の公園施設の改修や専門業者による保守点検を実施し、適切な維持管理と老朽化等への対応を図るとともに、「藤沢市健康増進計画」に基づき、健康遊具を増設する。

また、土砂災害警戒区域内に位置する法面について、利用者等の安全確保に向けた対策を進めるとともに、区域内にある埋蔵文化財の発掘調査を行う。

1. 公園施設の老朽化等対策 104,638 千円
  - (1) 役務費 2,828 千円
    - ・二番構公園他6公園フジ管理作業  
剪定や施肥等の管理を実施し、市の花であるフジの保護及び育成を図る。
  - (2) 委託料 3,356 千円
    - ・都市公園遊具点検業務委託（268公園）  
遊具に起因する事故の発生を未然に防ぐため、国の指針に基づき定期点検を行う。
  - (3) 工事請負費 84,123 千円
    - ・遊具改修工事（第二花立公園他4公園）
    - ・デッキ整備工事（桜小路公園）
    - ・フェンス等改修工事（鵜沼海浜公園）
    - ・園路改修工事（善行公園）
    - ・施設改修工事（第二立石公園）
    - ・公園内健康遊具増設工事（海南公園他8公園）
  - (4) 施設修繕費 9,730 千円
    - 劣化が進んでいる遊具等の公園施設について、延命化を図るための塗装や小規模修繕を行う。
  - (5) 事務経費 4,601 千円
2. 法面对策 80,645 千円
  - (1) 埋蔵文化財発掘調査委託（大庭城址公園） 41,948 千円  
法面对策を実施する箇所において、事前に埋蔵文化財の発掘調査を行う。
  - (2) 土砂搬出工事（大庭城址公園） 6,502 千円  
埋蔵文化財発掘調査で発生する土砂の搬出・処分を行う。
  - (3) 法面对策工事（大鋸まちかど公園） 32,195 千円  
前年度までに調査・設計を行った法面について、対策工事を行う。



施工前



施工後

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
156,095	185,283	204,200	259,200	804,778	

総務費

事業名	市民活動支援施設運営管理費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 02	市民自治推進課				
指針体系コード	4-3-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	59,124				60	59,064
平成29年度	59,331				60	59,271
対前年度	△ 207				0	△ 207
特定財源の内訳	(その他)	光熱水費実費収入				60

【事業概要】

市民活動の自立を推進し、市民活動が活発に行われることを目的として、公益的な市民活動を行い、または行おうとする市民活動団体及び個人を対象に、市民活動の場の提供、情報提供、相談、人材育成等を行う。

- |                        |           |
|------------------------|-----------|
| 1. 市民活動推進センター（本館）運営管理  | 44,319 千円 |
| ・賃借料                   | 20,988 千円 |
| ・指定管理者による管理運営（指定管理料）   | 20,772 千円 |
| ・その他管理運営費（光熱水費、電信電話料等） | 2,559 千円  |
| 2. 市民活動プラザむつあい（分館）運営管理 | 14,805 千円 |
| ・指定管理者による管理運営（指定管理料）   | 14,628 千円 |
| ・その他管理運営費（電信電話料等）      | 177 千円    |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
59,331	59,124	59,124	71,224	248,803	

総務費

事業名	公益的市民活動助成事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 04	市民自治推進課				
指針体系コード	4-3-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	2,000					2,000
平成29年度	2,000					2,000
対前年度	0					0

【事業概要】

市民活動の活性化を図るため、市内で活動する市民活動団体等の組織基盤を強化する取組を対象に、公開プレゼンテーション等による審査選考により団体を選定し、助成を行う。

1. 公益的市民活動に係る助成のための経費 1,500 千円  
 市民を対象とした公益的な市民活動を行う団体が組織基盤の強化を図る取組を対象として助成を行う。1団体2回まで。

〔一般の団体〕

限度額30万円、補助率は団体の予算額の50%以内。

ただし、設立3年未満で初めて助成を受けようとする団体については、補助率は団体の予算額の80%以内。

〔若者を中心とする団体〕

限度額15万円、補助率は団体の予算額の90%以内。

2. 活動中の支援のための経費 500 千円  
 助成団体に対し、先進事例を視察するための経費の助成や組織基盤強化に向けた伴走支援を行う。
- ・視察補助金（限度額5万円） 300 千円
  - ・伴走支援業務委託 200 千円



公開プレゼンテーションによる中間報告会



助成団体・市民活動推進委員との意見交換会

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	

総務費

事業名	市民協働推進関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 06	市民自治推進課				
指針体系コード	4-3-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	7,967					7,967
平成29年度	9,021					9,021
対前年度	△ 1,054					△ 1,054

【事業概要】

多様な主体との共感によるマルチパートナーシップの考え方に基づいて、市民活動団体等と行政との協働による施策・事業を進めるため、市民活動団体等から事業アイデアの募集を行うとともに、これまでに採択した事業を行う。

1. 協働によるまちづくりの推進 105 千円  
 ・協働コーディネーター謝礼
2. 「藤沢市まちづくりパートナーシップ事業」提案制度の実施 7,862 千円  
 市民活動団体等の公共サービスへの参入機会拡充を目的として、地域課題等を解決するための事業アイデアの募集を行うとともに、提案団体と市が協働して採択事業を実施する。

(実施事業)

平成29年度～平成30年度（平成28年度採択）

種別	事業名	実施団体	担当課
テーマ 設定型	自治会・町内会運営 サポート事業	一般社団法人 日本キャリアアップ支援協会	市民自治推進課
テーマ 設定型	市民参加による遊休農地解 消事業及び農業理解の促進 に関する事業	藤沢市新規参入者連絡会	農業水産課 農業委員会事務局

平成30年度（平成29年度採択）

種別	事業名	実施団体	担当課
テーマ 設定型	オリンピック・パラリン ピックに向けた（仮称）市 民応援団運営事業	特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構	東京オリンピッ ク・パラリンピッ ク開催準備室

平成30年度～平成31年度（平成29年度採択）

種別	事業名	実施団体	担当課
テーマ 設定型	予告篇で盛り上げる東京 2020オリンピック競技大会 セーリング競技江の島開催	NPO法人 湘南遊映坐	東京オリンピッ ク・パラリンピッ ク開催準備室
自由 提案型	藤沢市ジュニアアスリート スポーツ栄養講座～めざせ 東京2020オリンピック・パ ラリンピック～	特定非営利活動法人 湘南栄養指導センター	スポーツ推進課

(事業募集概要)

- ・事業年度  
平成31年度に実施する事業
- ・事業種別  
テーマ設定型：政策課題等に基づき市が設定したテーマに基づく事業アイデア  
自由提案型：市民ニーズ等を踏まえて、市民活動団体等が自由に提案する事業アイデア

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
9,021	7,967	12,626	16,105	45,719	

民生費

事業名	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 24 説明 01			地域包括ケアシステム推進室		
指針体系コード	4-3-41	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による接続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	36,002	12,598				23,404
平成29年度	38,003	0				38,003
対前年度	△ 2,001	12,598				△ 14,599
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				12,598

【事業概要】

藤沢型地域包括ケアシステムの推進にあたり、支えあいの地域づくりに向けた活動を実施する団体へ運営費及び家賃等の補助を行う。

1. 支えあいの地域づくり活動に対する補助 25,643 千円

(単位：千円)

補助メニュー	団体数	予算額
(括) 地域の縁側事業		
「基本型」…誰もが気軽に立ち寄り、交流や相談ができる居場所	20 (7)	11,721
「特定型」…特定の利用対象者が自由に集え、交流できる居場所	9 (0)	
地区ボランティアセンター事業 地区活動のコーディネート等による、住民を主体とした地域支えあい活動の拠点	12	11,437
安全・安心ステーション事業 地域における防犯意識の高揚、地域住民による防犯活動の拠点	6	2,485

団体数のうち、( ) は新規団体の見込み数

2. 地域の縁側事業に係る事務経費等 10,359 千円

- (1) 地域の縁側ポイント支援金 237 千円  
地域の縁側においてボランティア活動を行った者に対しポイントを付与し活動者からの申請に基づき1ポイント100円の支援金を、前年度の付与ポイントに対して支給する。
- (2) 地域の縁側周知用リーフレットの作成 20 千円
- (3) 広告掲載料 550 千円  
地域の縁側事業の周知、啓発として、広告を掲載する。
- (4) 地域の縁側活動支援事業 9,552 千円  
地域団体など、それぞれの運営主体による地域の縁側の活動を支援するため、藤沢市社会福祉協議会へ活動支援業務を委託する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
38,003	36,002	36,044	36,064	146,113	拡充



総務費

事業名	六会地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 01	六会市民センター				
指針体系コード	4-3-51	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	1,224					1,224
平成29年度	1,534					1,534
対前年度	△ 310					△ 310

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「素的なふるさと 六会」を実現するため、地域力を生かした様々なまちづくり事業を行う。

1. 花の植栽活動による美しいまちづくり事業 278 千円  
 地区内の公園、小・中学校、特別支援学校及びボランティア団体への花の植栽活動の支援や「六会の美しい庭・風景の写真展」を行い、自然とのふれあいを深めるとともに、美しいまちづくりを進める。  
 ・花苗配付、写真展の開催等（消耗品費・印刷製本費）
2. 交通不便地区解消検討事業 10 千円  
 西俣野地区で運行する予約型乗合タクシーの周知及び利用者拡大を図るため、チラシを作成する。  
 ・チラシ作成（消耗品費）
3. 六会まちの相談室事業 20 千円  
 将来を安心して暮らすためのライフプランセミナーを行う。  
 ・ライフプランセミナー講師謝礼（報償金）
4. 六会人材センター推進事業 689 千円  
 地域の人材発掘とボランティア先とのコーディネート事業等を行い、地域住民のつながりを深めるとともに、地域活動の推進を図る。  
 ・六会人材センター運営（委託料）
5. 六会まちおこし活動支援事業 227 千円  
 地域の子どもから障がい者・高齢者まで楽しめるイベント等の掘り起こしや支援を行い活気あるまちづくりを目指す。また、六会日大前駅ロータリーに12月から1月にかけてイルミネーションを設置する。  
 ・イルミネーションの設置（光熱水費・手数料）

-----  
 [他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費]

- 公園提案事業 (8,684 千円)  
 子どもから高齢者・障がい者まで安心して遊ぶことができる公園にするため、郷土づくり推進会議から提案された課題解消のための公園改修工事を行う。  
 ・三角公園：休憩施設の改修等（工事請負費）  
 ※予算は、公園改修費（地域執行分）に計上

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	新規等の区分
	予算額	予算額	見積額	見積額		
市民センター分	1,534	1,224	1,735	1,735	6,228	
他の事業費計上分	6,329	8,684	6,000	6,000	27,013	

総務費

事業名	片瀬地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 02	片瀬市民センター				
指針体系コード	4-3-61	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	2,524					2,524
平成29年度	3,204					3,204
対前年度	△ 680					△ 680

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史の薫りと潮の香りがただようふれあいのまち 片瀬・江の島」を実現するため、地域の特性を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業 1,652 千円  
 地域のまちづくり活動の推進を図るため、ボランティア活動をしたい人と地域のボランティア活動とをつなぐコーディネート事業やボランティア活動への関心を醸成する機会となる講演会などを企画・実施する。  
 ・コーディネーター謝礼、事務費（委託料）
2. まちかど相談事業 206 千円  
 高齢者の生活支援や子育て環境の充実を図るため、身近な地域の居場所を活用し、臨床心理士等の専門家による相談事業を支援する。  
 ・臨床心理士謝礼、交通費（補助金）
3. 民俗文化財等継承事業 22 千円  
 制作職人の不在により、一旦は途絶えた地域の伝統民芸品である片瀬こまの保存活動を支援し、更なる普及・発展を図るため、体験会や大会用のこまの土台を購入する。  
 ・こまの土台（消耗品費）
4. 緑と花いっぱい推進活動事業 52 千円  
 日本有数の観光地である江の島入口の景観の向上を図るため、江の島弁天橋植栽帯の花植え活動を支援する。  
 ・花苗、肥料、上下水道代等（消耗品費・光熱水費）
5. 江の島道の整備事業 184 千円  
 旧江の島道の史跡の周辺整備を実施し、景観の向上を図る。  
 ・史跡周辺の整備（施設修繕費）
6. 青少年居場所事業 408 千円  
 青少年の健全育成を図るため、青少年サポーターを中心に、片瀬しおさいセンターを利用する青少年への声かけや見守り等を通して、青少年の居場所事業を支援する。  
 ・青少年サポーター謝礼、事務費等（補助金）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
3,204	2,524	2,580	2,582	10,890	

総務費

事業名	明治地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 03	明治市民センター				
指針体系コード	4-3-71	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	1,140					1,140
平成29年度	1,617					1,617
対前年度	△ 477					△ 477

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「明るく楽しい未来を創るまち、めいじ」を実現するため、明治地区の地域まちづくり事業を実施する。

1. 歴史・文化継承事業 672 千円  
 明治地区の歴史文化を継承していくための学習・啓発の場として、明治郷土史料室の企画運営を明治郷土史料室運営委員会に委託し実施する。  
 地域の生活、文化の歴史的資料として貴重な石仏を調査し記録するとともに、石仏の文化、生活とのつながり等歴史的意義を広く周知し、次世代への継承を図る。  
 ・明治郷土史料室の運営（委託料）  
 ・石仏調査及び報告書の作成（報償金・消耗品費）
2. 明治地区マナーアップ推進事業 162 千円  
 自転車運転、歩きタバコ、ゴミのポイ捨て等、様々な分野で地域のマナー向上を図るため、地域団体や住民・学校等が連携し、地域一丸となり街頭キャンペーンをはじめとする啓発活動を実施する。  
 ・啓発グッズ、ポスター等（消耗品費・印刷製本費）
3. 子育て支援充実事業 186 千円  
 明治地区内の子育てグループやフリースペースにこここ、市の子育て関係機関等が一堂に集い、団体相互の連携を図るほか、それぞれの活動を地域に発信する「明治発！子育て応援メッセ」を実施し、各団体のブースの開設やシンポジウム等を行う。  
 ・シンポジウム謝礼、ポスター作成等（報償金・消耗品費・印刷製本費）
4. 明治地区健康体操推進事業 120 千円  
 明治地区内住民の健康維持と住民相互の交流を図り、健康でいきいきと生活できる地域づくりを推進するため、自治会・町内会等が中心となって、公園等地区内各所で健康体操を実施することができるよう支援する。  
 ・チラシ作成（消耗品費）



歴史・文化継承事業  
(地藏堂像（羽鳥 汲田墓地）)



明治地区健康体操推進事業  
(土打公園体操)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
1,617	1,140	1,140	1,140	5,037	

総務費

事業名	御所見地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 04	御所見市民センター				
指針体系コード	4-3-81	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	598					598
平成29年度	598					598
対前年度	0					0

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが楽しめる心なごむ田園パーク・御所見」を実現するため、地域資源を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. 田園パーク構想推進事業 598 千円

御所見地区の活性化を促進するため、地域団体・ボランティアと連携して、少年の森を拠点とした散策ルートの整備を進めるとともに、地区内の農畜産物を使用した「御所見グルメ」の定着及び新たな「御所見ブランド」の創出を目指す。

また、農地や樹林地、豊かな水系に恵まれた地域特性を生かし、四季折々の花に彩られた環境整備を進める。

- ・花の植栽活動（消耗品費）
- ・環境整備に関するチラシ作成（印刷製本費）
- ・散策ルートの整備、御所見グルメのPR活動等（補助金）



少年の森植栽帯花植え作業



御所見グルメPR活動

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
598	598	598	598	2,392	

総務費

事業名	遠藤まちづくり推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 05	遠藤市民センター				
指針体系コード	4-3-91	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	892				309	583
平成29年度	244				230	14
対前年度	648				79	569
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				309

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「人と自然がいきづくまち」夢のあるまち遠藤」を実現するため、各種事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりを推進する。

1. 高齢者見守りネットワーク体制推進事業 92 千円  
 高齢者が地域で安心して暮らし続けられるように構築した「高齢者見守りネットワーク」を広く地域住民・関係機関等に周知するため、リーフレットを作成し、配付する。  
 地区内の地域の縁側開設に向け、事業の周知等を行うため、チラシを作成し、配付する。  
 ・リーフレット作成（印刷製本費）  
 ・チラシ作成（消耗品費）

- (新) 2. 自然環境推進事業 89 千円  
 地域と市が一体となり都市公園として整備したいけのかしら公園において、遠藤の農産物等をPRするとともに地域交流の場とするため、遠藤朝市を開催する。  
 環境保全活動等の後継者を育成するため、児童生徒やその保護者等を対象にして、地区の自然に触れあひながらの散策及び環境美化等の環境保全活動を行う。  
 ・遠藤朝市の実施（補助金）  
 ・環境保全活動の実施（消耗品費）

- (拡) 3. 遠藤魅力アップ推進事業 561 千円  
 2市1町広域連携による小出川彼岸花まつりをはじめ、竹炭祭、あじさいまつりの観光客等に対応するための仮設トイレ（計7基）を設置する。  
 多くの外国人の方に訪れてもらうため、遠藤ふるさと観光マップの英語版を作成する。  
 ・仮設トイレ設置、汲み取り（賃借料・手数料）  
 ・英語版遠藤ふるさと観光マップの作成（印刷製本費）

- (新) 4. 地域活動の広報充実事業 150 千円  
 遠藤地区のPRを行うため、地区内児童生徒の視点で描く遠藤の自然や風景、農産物、お祭等をテーマとしたポスターを募集し、「わがまち遠藤ポスターコンクール」を開催する。  
 ・わがまち遠藤ポスターコンクールの実施（補助金）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
244	892	629	629	2,394	拡充

総務費

事業名	長後地域活性化事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 06	長後市民センター				
指針体系コード	4-3-101	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	1,395					1,395
平成29年度	1,541					1,541
対前年度	△ 146					△ 146

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環」を実現するため、地域の特性を生かした事業を実施することにより、地域の活性化を図る。

1. 健康づくり普及事業 150 千円  
 地域に根ざした健康づくりを普及させるために、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を実施する。  
 ・健康づくりに関する講座の実施（報償金・消耗品費）
2. 長後すくすく応援事業 120 千円  
 子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やグループ、ボランティア等が一堂に会し、長後版の子育てメッセを開催する。  
 ・「長後子育てメッセ」の開催（補助金）
3. 地産地消推進事業 220 千円  
 長後地区で栽培されている果物やその他の特産物を紹介するとともに、商店街の活性化にもつながる地産地消のイベントを行う。  
 ・地産地消イベントの実施（補助金）
4. 地域人材発掘・育成事業 60 千円  
 地域コミュニティを担う人材の発掘や育成について、情報交換の場づくり等の調査研究を行う。  
 ・人材育成講座講師謝礼（報償金）
5. ちよご見守りネットワーク事業 160 千円  
 住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、高齢者を支える「ちよご見守りネットワークシステム」の定着と推進を図る。  
 ・チラシの作成（印刷製本費）
6. 観光・歴史資源開拓事業 530 千円  
 地区内の名所、旧跡の説明板の整備等を行う。  
 ・名所、旧跡説明板の設置、リーフレットの作成（施設修繕費・印刷製本費）
7. 交通手段支援事業 35 千円  
 長後地区の交通不便地域解消のため、新たな交通手段の実施に向けた調査や検討を行う。  
 ・住民ニーズの調査（消耗品費）
8. 花いっぱい運動推進事業 120 千円  
 花の広場での花植え活動等の支援を行う。  
 ・花の広場の管理、プランターへの花植え等（補助金）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
1,541	1,395	1,335	1,300	5,571	

総務費

事業名	辻堂地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 07	辻堂市民センター				
指針体系コード	4-3-111	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	942					942
平成29年度	942					942
対前年度	0					0

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち“湘南辻堂”」を実現するため、各種地域まちづくり事業を実施する。

1. 生活マナーアップ啓発事業 11 千円  
 地域住民と来訪者（観光客）が自転車、ペット、ごみなどの生活マナーを守るように、チラシ・キャンペーン・マナー看板等により啓発を行い、地域の生活環境の向上を図る。  
 ・啓発チラシ作成（消耗品費）
2. 健康推進事業 61 千円  
 地域ぐるみで健康づくりに取り組み、地域で健康な生活を続けていくことを目指し、身体を動かす講座、健康講座等を開催する。  
 ・講師謝礼、チラシ作成（報償金・消耗品費）
3. 湘南辻堂地域ブランド情報発信事業 63 千円  
 地域への誇りや愛着が育まれるよう、地域ブランド、地域グルメを生み出すための取組を進めるとともに、地産地消のきっかけづくりを図るため、「辻堂朝市」を実施する。  
 ・チラシ作成（消耗品費）
4. 環境美化キャンペーン事業 126 千円  
 辻堂駅南海岸線及びその周辺の景観を維持・保全するため、地域団体及び住民による環境美化活動に対する支援を実施する。  
 ・美化活動用具、花苗（消耗品費）
5. 辻堂グリーン回廊事業 235 千円  
 地区内の歴史的財産である名所旧跡や辻堂海岸遊歩道、引地川緑道等を自転車や徒歩で巡ることができる「辻堂グリーン回廊」を周知、活用するため、案内板等を整備するとともに、辻堂グリーン回廊ウォーキングを実施する。  
 ・ウォーキング講師謝礼、チラシ作成、案内板設置（報償金・消耗品費・委託料）
6. 伝統文化継承事業 191 千円  
 地区内の伝統文化等を次世代に継承するため、講座開催や名所旧跡説明板設置を行う。  
 ・講師謝礼、チラシ作成、名所旧跡説明板設置（報償金・消耗品費・手数料・委託料）
7. 防災対策推進事業 255 千円  
 災害に対する地域住民の不安解消を図るため、沿岸部に位置する辻堂地区の住民に津波災害等、防災に対する正しい知識の普及や情報の発信を目的とした防災講演会を開催する。  
 ・講師謝礼、チラシ作成、会場使用料（報償金・消耗品費・使用料）

-----  
 [他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費]

- 環境美化キャンペーン事業 (1,012 千円)  
 辻堂駅南海岸線及びその周辺の景観を長く維持保全するため、環境保全事業を実施する。  
 ・除草作業（手数料）  
 ※予算は、道路維持管理業務費（地域執行分）に計上

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	新規等の区分
	予算額	予算額	見積額	見積額		
市民センター分	942	942	598	598	3,080	
他の事業費計上分	979	1,012	1,012	1,012	4,015	



総務費

事業名	善行地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 08	善行市民センター				
指針体系コード	4-3-121	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	1,098					1,098
平成29年度	1,513					1,513
対前年度	△ 415					△ 415

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち」の実現に向けた取組として、地域の特性を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. 地域活動ネットワーク事業 490 千円  
 地域住民が地域活動に参加しやすい環境をつくるため、地域で活躍する団体の情報等を発信し、住民同士のネットワークの構築を支援する。  
 ・ 地区内への広報、情報発信に要する紙代等（消耗品費・印刷製本費）  
 ・ 地域の活力を生かした事業に対する活動支援（補助金）
2. つづけよう きれいな善行 100 千円  
 きれいで住みよい地域環境を保つため、地域団体と協力しながら、地域の美化推進を図る。また、善行駅周辺のバリアフリー化についての周知活動に取り組む。  
 ・ 地区内への広報、情報発信に要する紙代等（消耗品費）
3. 高齢者等移動支援事業 358 千円  
 坂の多い善行で、高齢者や障がい者、子育て世代の親子など地区内を移動することに不便を感じる者に対する移動手段の運営を支援する。  
 ・ 地区内への広報、情報発信に要する紙代等（消耗品費）  
 ・ 地域情報リーフレット（印刷製本費）
4. 「ぜんぎょう」を知ろう事業 100 千円  
 わがまち「ぜんぎょう」への郷土愛の醸成を図るため、「善行かるた」などを用いて、善行に関する様々な情報を地域住民に知ってもらう。  
 ・ 地区内への広報、情報発信に要する紙代等（消耗品費）
5. 活気ある地域づくり事業 50 千円  
 活気ある地域づくりを進めるため、自治会・町内会とも協力しながら、地域団体の活動や地域イベントの再構築など、地域の活性化を図る。  
 ・ 地区内への広報、情報発信に要する紙代等（消耗品費）



高齢者等移動支援事業  
 (地域の移動手段として定着してきた「のりあい善行」)



「ぜんぎょう」を知ろう事業  
 (善行かるたを使用してのかるた大会)  
 (地域の団体が実施)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
1,513	1,098	1,098	1,098	4,807	

総務費

事業名	湘南大庭地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 09	湘南大庭市民センター				
指針体系コード	4-3-131	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	447					447
平成29年度	553					553
対前年度	△ 106					△ 106

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」の実現を目指して、地域の特性を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. 健康なんでも相談事業 258 千円  
 地域における健康長寿社会の実現に向けて、健康増進への意欲を高め、生き生き健康のまちづくりを推進するため、医療相談支援事業を行う。  
  - ・相談会開催に伴う医師等の専門スタッフの人件費及び運営に関する経費（委託料）
  - ・健康増進講習会の講師謝礼（報償金）
2. 地域のゴミゼロ運動推進事業 160 千円  
 地域内の3つの関係団体が連携しながら一緒に実施している地域の環境美化活動「ポイ捨て無くし隊」を支援し、参加者の拡充を図る。  
  - ・消耗品、事務費等（補助金）
3. 健康体操普及推進事業 29 千円  
 健康体操の自主グループの育成・支援を行い、地域における健康体操の普及を図る。  
  - ・CDラジカセ購入等（消耗品費）

-----  
 [他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費]

- 歩行空間バリアフリー事業 (1,637 千円)  
 高齢者・障がい者など誰にでも優しい歩行空間を整備するため、歩道の段差の解消とバリアフリー化を進める。  
  - ・歩車道境界ブロック改修（施設修繕費）
 ※予算は、道路改修舗装費（地域執行分）に計上
- 街路樹景観保全事業 (2,804 千円)  
 辻堂駅遠藤線（中央けやき通り）の景観を長く維持保全するため、けやきを良好な状態に保つ景観保全事業を実施する。  
  - ・けやき並木の剪定、落枝防止（手数料）
 ※予算は、道路維持管理業務費（地域執行分）に計上
- 健康増進公園改修事業 (2,690 千円)  
 生き生き健康のまちづくりを推進するため、日頃から健康づくりを身近なところで行えるよう健康増進公園の整備を図る。  
  - ・大庭城址公園に健康遊具を設置（工事請負費）
 ※予算は、公園改修費（地域執行分）に計上

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	新規等の区分
	予算額	予算額	見積額	見積額		
市民センター分	553	447	927	927	2,854	
他の事業費計上分	8,968	7,131	8,899	5,696	30,694	

総務費

事業名	湘南台地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 10	湘南台市民センター				
指針体系コード	4-3-141	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	1,301				1,301	
平成29年度	1,241				1,241	
対前年度	60				60	
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				1,301

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台」の実現に向けた取組として、湘南台地域まちづくり事業を実施する。

1. ようこそ先輩 in 湘南台事業 50 千円  
 地域と湘南台中学校及びPTAが連携し、中学1年生の職業観や勤労観を育てる目的で、先輩講師との交流事業「ようこそ先輩 in 湘南台」を開催する。  
 ・ようこそ先輩 in 湘南台開催経費（報償金・消耗品費）
2. 緑の回遊路事業 93 千円  
 良好な自然環境や文化施設等、地域資産を有効に活用し、多くの方が身近に自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる事業を開催する。  
 ・ウォークイベント開催経費（消耗品費）  
 ・回遊事業開催経費（消耗品費・印刷製本費）
3. 子育てネットワーク事業 238 千円  
 地域の子育て環境の向上を図るため、保育園、幼稚園、子育て支援センター、各種子育てサークル等が連携して「湘南台子育て応援メッセ」を開催し、子育てに関する情報の提供や相談などの支援を行う。  
 ・湘南台子育て応援メッセ開催補助（補助金）
4. 地域サポーター育成事業 220 千円  
 地域活動を支える人材不足の解消を図るため、社会貢献や地域貢献に意欲のある方を対象に、様々な地域活動やイベントに参加協力する地域サポーターを養成する講座「ゆめまる地域塾」を開催する。  
 ・地域サポーター養成講座開催業務委託（委託料）
5. 文化創造事業 700 千円  
 湘南台地区の地域性や特性を生かした文化創造の取組の一つとして、湘南台駅地下イベント広場の有効活用を図りながら、展示ギャラリーや活性化イベントなどの多目的イベントを開催する。  
 ・駅地下イベント広場活用運営等業務委託（委託料）



子育てネットワーク事業  
(湘南台子育て応援メッセの開催)



文化創造事業  
(湘南台七夕まつりの開催)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
1,241	1,301	1,301	3,801	7,644	

総務費

事業名	鶴沼地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 11	鶴沼市民センター				
指針体系コード	4-3-151	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	1,431					1,431
平成29年度	1,431					1,431
対前年度	0					0

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「緑と海と人が輝くまち 湘南ふじさわ鶴沼」を実現するため、地域力を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. 鶴沼元気塾・鶴沼元気ひろば事業 808 千円  
 子どもたちの豊かな人間性を地域で育むため、ボランティアスタッフが趣向を凝らした学習や創造的遊び、運動等を企画し、様々な体験ができる放課後の居場所づくりを行う。  
 対象は、地域の小学3～6年生で、それぞれ週1回実施する。  
 ・スタッフ謝礼、イベント時の昼食、教材、チラシ・リーフレット作成  
 (報償金・食糧費・消耗品費・印刷製本費)
2. 鶴(くぐい)まつり事業 435 千円  
 鶴沼運動公園芝生広場において、地産地消やまちおこし等を目的に、地元の飲食店やサークルなども参加し、地域住民主体のまつりを開催する。  
 ・チラシ・ポスター作成、会場運営費(印刷製本費・補助金)
3. 認知症対策事業 188 千円  
 認知症の当事者やその家族が安心して暮らすことができる地域づくりを進めるため、認知症予防などの講座や講演会を実施する。  
 ・講演会等講師謝礼、啓発物品、チラシ作成(報償金・消耗品費・印刷製本費)

-----  
 [他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費]

- 公園見直し事業 (2,037 千円)  
 地区内で早期に整備され、設備が老朽化した公園をより利用しやすくするため、水飲み場の改修など、バリアフリー化を行う。  
 ・一木公園及び下藤が谷南公園の水飲み場改修等(施設修繕費)  
 ※予算は、公園改修費(地域執行分)に計上



鶴沼元気塾・鶴沼元気ひろば事業  
 (ブラインドサッカー体験)



鶴まつり事業  
 (地元和太鼓サークルによるステージ)

[事業費(事務事業中の重点事業分)]

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	新規等の区分
	予算額	予算額	見積額	見積額		
市民センター分	1,431	1,431	1,431	1,431	5,724	
他の事業費計上分	1,905	2,037	2,017		5,959	



総務費

事業名	藤沢地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 12	藤沢公民館				
指針体系コード	4-3-161	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	2,233					2,233
平成29年度	2,591					2,591
対前年度	△ 358					△ 358

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点」を実現するため、地域の特性を生かした各種事業を実施する。

1. 藤沢宿活性化事業 1,963 千円  
 藤沢宿の歴史的資源を活用した地域イベントを支援する。また、歴史的まちなみを落書き等から守るために実施したトランスボックスラッピングの維持管理を行う。これらの事業により、藤沢宿の積極的なPRを行い、地域の活性化を図る。
  - ・地域イベント等を実施する団体への助成（補助金）
  - ・トランスボックスラッピング修繕等（施設修繕費・印刷製本費）
  - ・街頭フラッグ作製費（消耗品費）
2. 子どもの見守り活動事業 270 千円  
 子どもの見守り活動に関する情報を共有するため、地域内の安全・安心に関する情報等を掲載したマップを作成・配布する。
  - ・こども110番マップ（印刷製本費）

〔他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費〕

- 西富憩いの森検証事業 (1,291 千円)  
 西富憩いの森の充実を図るための検証・提言を踏まえて、散策路等の整備を実施する。  
 ・階段改修、看板改修（施設修繕費）  
 ※予算は、緑地改修事業費（地域執行分）に計上
- 地域緑化運動事業 (4,500 千円)  
 地域の緑化推進及び緑地の整備を実施する。  
 ・樹木伐採等（手数料）  
 ※予算は、公園改修費（地域執行分）に計上
- 地域の魅力発見事業 (941 千円)  
 伊勢山公園における桜の植樹など、地域の魅力あるスポットの整備を実施する。  
 ・桜植樹等（手数料）  
 ※予算は、公園改修費（地域執行分）に計上



藤沢宿活性化事業（藤沢宿まつり）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
公民館分	2,591	2,233	2,067	1,741	8,632	
他の事業費計上分	8,741	6,732	5,441	5,441	26,355	

総務費

事業名	村岡いきいきまちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 13	村岡公民館				
指針体系コード	4-3-171	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	2,574					2,574
平成29年度	2,709					2,709
対前年度	△ 135					△ 135

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか」を実現するため、地域の特性を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. マナーアップ啓発事業 80 千円  
 自転車の乗り方、ごみやたばこのポイ捨て、ペットの飼い方等のマナー向上を目指し、ポイ捨て等禁止看板を作製する。  
 ・看板及び横断幕の作製（消耗品費）
2. 村岡あいさつ運動事業 326 千円  
 あいさつ運動の充実を図るため、キャンペーン活動及びポスター・標語コンクールを実施する。  
 ・啓発物品等の作製、コンクール景品及び審査員謝礼（消耗品費・報償金）
3. 地域防災力強化事業 119 千円  
 地域防災力の強化を図るため、災害時の備えとして、雨水貯留槽の設置を各家庭等に普及していくに当たり、啓発用として地区内の公共施設に設置する。  
 ・雨水貯留槽の設置、電波使用料（消耗品費・負担金）
4. 村岡美化活動事業 333 千円  
 美しく住みよい地域環境を築くため、環境に対する意識の向上を図る事業及び村岡地区独自の一斉清掃を実施する。  
 ・講習会指導謝礼、ごみ袋購入、ごみ収集運搬（報償金・消耗品費・手数料）
5. 史跡案内板設置事業 1,260 千円  
 地域の歴史的資産の有効活用を図るため、村岡地区内史跡案内板の改修等を実施する。  
 ・史跡案内板の改修、歴史ガイドマップの増刷（施設修繕費・印刷製本費）
6. 高齢者見守り事業 200 千円  
 高齢者の社会的孤立を防止するため、高齢者の見守り事業を実施する。  
 ・村岡地区便利帳の増刷（印刷製本費）
7. 犯罪のない安全安心まちづくり対策事業 256 千円  
 まちの防犯力を高めるため、「むらおかわんわんパトロール」事業を実施する。  
 ・パトロール用バンダナ等の作製（消耗品費）

-----  
 [他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費]

- 歩道等通行環境整備事業 (2,021 千円)  
 すべての人が安全に安心して歩くことができるまちづくりのため、歩道等の段差などを改修し、歩行者等の道路環境を向上させる。  
 ・歩道の段差解消修繕（施設修繕費）  
 ※予算は、道路改修舗装費（地域執行分）に計上

- 公園環境整備防犯対策事業 (1,262 千円)  
 犯罪防止及び地域防災力の向上を図るため、停電時にも使用できるソーラー蓄電池型の照明灯を設置する。  
 ・ソーラー蓄電池型LED照明灯の設置（施設修繕費）  
 ※予算は、公園改修費（地域執行分）に計上



村岡あいさつ運動事業  
 (キャンペーン活動)



高齢者見守り事業  
 (村岡地区便利帳)



犯罪のない安全安心まちづくり  
 対策事業  
 (むらおかわんわんパトロール)



史跡案内板設置事業  
 (村岡ふるさとマップ)

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	新規等の区分
	予算額	予算額	見積額	見積額		
公民館分	2,709	2,574	2,574	2,574	10,431	
他の事業費計上分	3,148	3,283	3,283	3,283	12,997	



総務費

事業名	庁舎等整備費					
予算科目	款 2 項 1 目 8 細目 06 説明 01	管財課				
指針体系コード	5-1-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	452,480	0		325,500	126,980	0
平成29年度	14,743,138	82,147		10,307,000	3,550,923	803,068
対前年度	△ 14,290,658	△ 82,147		△ 9,981,500	△ 3,423,943	△ 803,068
特定財源の内訳	(地方債)	新庁舎建設事業債				325,500
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				126,980

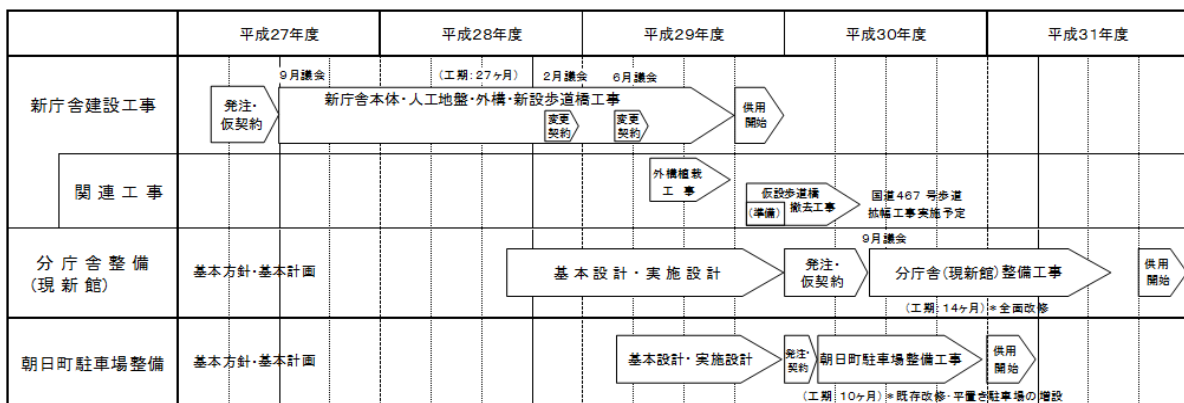
【事業概要】

新庁舎建設に続き、築30年、築20年がそれぞれ経過している分庁舎（現新館）及び朝日町駐車場の再整備を進めるとともに、分庁舎から税務署前に架かる仮設歩道橋の撤去工事を実施する。

整備計画としては、平成29年度中に基本・実施設計を完了させ、分庁舎については平成30・31年度の継続事業により平成32年1月の供用開始に向けて、朝日町駐車場については平成31年4月の供用開始に向けて、整備工事に着手する。

- (拡) 1. 分庁舎整備工事及び工事監理委託（平成30・31年度の継続費） 284,145 千円  
 分庁舎整備実施設計をもとに、平成30年度から2カ年度で整備工事を行うとともに、工事の施工、進捗等の監理を行う。  
 工事期間：平成30年9月～平成31年10月予定
- (1) 分庁舎整備工事 280,000 千円
- (2) 分庁舎整備工事監理委託 4,145 千円
- (拡) 2. 朝日町駐車場整備工事 149,904 千円  
 朝日町駐車場整備実施設計をもとに整備工事を行う。  
 工事期間：平成30年6月～平成31年3月予定
3. 仮設歩道橋撤去工事 12,993 千円  
 周辺整備工事の進捗にあわせて、現在設置されている仮設歩道橋を撤去する。  
 工事期間：平成30年4月～6月予定
4. その他経費（手数料、印刷製本費ほか） 5,438 千円

<スケジュール>



(この事業は平成29年度6月補正で増額した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
14,743,138	452,480	3,952,372		19,147,990	拡充

労働費

事業名	労働会館整備費					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 04 説明 01			産業労働課		
指針体系コード	5-1-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	2,555,148	575,000		1,520,700	410,030	49,418
平成29年度	1,833,047	286,929		1,189,300	350,505	6,313
対前年度	722,101	288,071		331,400	59,525	43,105
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				575,000
	(地方債)	労働会館等建設事業債				1,520,700
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				410,030

【事業概要】

藤沢公民館・労働会館等複合施設建設基本設計に基づき、新施設の実施設計業務及び建設業務を実施する。

- 1. 藤沢公民館・労働会館等複合施設建設事業 2,555,148 千円
  - (1) 実施設計・施工監修（モニタリング）業務委託 22,810 千円  
平成28年度～平成30年度（継続費）
  - (2) 建設工事 2,482,920 千円  
平成27年度～平成30年度（継続費）
  - (3) 建設工事に係る損失補償 20,000 千円
  - (4) 労働会館整備事務経費（初度調弁に係る経費を含む） 29,418 千円

<継続費年割額> (単位：千円)

実施設計・施工監修業務	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
	25,726	20,974	22,810	69,510

(単位：千円)

建設工事（実施設計・解体・施工一括発注）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
	0	225,720	1,797,120	2,482,920	4,505,760

<事業スケジュール概略>

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
基本構想						
基本設計等作成事業						
一括発注	実施設計					
	労働会館解体工事					
	新築（建設）工事					供用開始

<鳥瞰図> 実施設計



(南側からの鳥瞰)



(北側からの鳥瞰)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
1,833,047	2,555,148			4,388,195	

総務費

事業名	善行市民センター改築事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 3 細目 05 説明 01	市民自治推進課・善行市民センター				
指針体系コード	5-1-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	227,465			166,300	60,668	497
平成29年度	79,982			57,100	22,882	0
対前年度	147,483			109,200	37,786	497
特定財源の内訳	(地方債)	善行市民センター改築事業債				166,300
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				60,668

【事業概要】

善行市民センター・公民館は、昭和54年に旧耐震基準で建設された施設で、老朽化が進み安全性の確保の観点からも建て替えを行う。

平成28年度から2カ年度で進めてきた改築設計に基づき、改築工事の第1期として、市民センター棟の建設工事を行う。

1. 事業費

- (1) 改築工事：第1期工事（平成30年度～平成32年度の継続費） 218,872 千円  
市民センター棟・地域利用倉庫の建設、西側駐車場の整備、現市民センターの解体
- (2) 工事監理委託（平成30年度～平成32年度の継続費） 3,030 千円
- (3) 家屋調査（事前）委託 5,066 千円
- (4) 防災倉庫等移設 497 千円

2. 施設概要

- (1) 構造等 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造 3階建て
- (2) 延床面積  
市民センター棟 : 約2,565㎡  
地域利用倉庫 : 約99㎡  
健康プラザ棟（体育室） : 約648㎡（外構工事を含め第2期工事で実施）

<継続費年割額> (単位：千円)

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
工事請負費	218,872	1,355,532	111,777	1,686,181
工事監理委託費	3,030	18,763	1,548	23,341

<スケジュール概略>

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
改築工事(第1期) 市民センター棟・地域利用倉庫建設、西側駐車場整備、現市民センター解体			改築工事(第2期) 健康プラザ棟建設
	市民センター棟供用開始 ★	文化財調査	健康プラザ棟供用開始 ★

<鳥瞰イメージ>  
(北西方向から)



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
79,982	227,465	1,404,295	116,725	1,828,467	

総務費

事業名	辻堂市民センター改築事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 3 細目 06 説明 01	市民自治推進課				
指針体系コード	5-1-41	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	96,995			72,200	24,795	
平成29年度	561,312			394,800	166,512	
対前年度	△ 464,317			△ 322,600	△ 141,717	
特定財源の内訳	(地方債)	辻堂市民センター改築事業債				72,200
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				24,795

【事業概要】

辻堂市民センター・公民館は、昭和53年に旧耐震基準で建設された施設で、老朽化が進み安全性の確保の観点から、南消防署辻堂出張所は、より迅速な出動態勢の確立などの観点から、ともに移転し、合築により建て替えを行う。

平成30年度は、期間を延長して取り組んできた基本設計に基づき、実施設計をまとめるとともに、改築事業用地にある元県職員住宅の解体工事を完了させる。

1. 事業費

- (1) 改築設計委託（平成28年度～平成30年度の継続費） 96,390千円
- (2) 構造計算適合性判定手数料 605千円

2. 改築事業用地

藤沢市辻堂西海岸2丁目7, 000番33ほか（高浜中学校西側）

3. 施設概要

沿岸地区の公共施設として津波避難に対応するため、施設の北側に1階から2階までのスロープを設置するとともに、各階屋上に避難スペースを設置する。

(1) 市民センター・公民館

- 1階：事務室、市民図書室、地域包括支援センター、地区ボランティアセンター、地域交流スペース
- 2階：地区防災拠点本部室、防災備蓄倉庫、体育室、談話室2室、工作室兼談話室、実習室、和室、保育室、サークルロッカー室
- 3階：ホール、音楽室

(2) 消防出張所

- 1階：事務室、消防車庫、救急消毒室、防火衣ロッカー室、仮眠室、署倉庫、分団倉庫
- 2階：仮眠室、更衣室、食堂、洗面室、浴室
- 3階：多機能訓練室、トレーニング室、分団待機室

(3) テニスコート2面、駐車場、自転車駐車場、自動二輪車駐車場

<継続費年割額>

(単位：千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
改築設計委託費	17,010	7,056	96,390	120,456

※平成28年度分は全額通次繰越

<スケジュール概略>

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
基本構想	改築設計(解体・基本・実施設計)			改築工事(テニスコート整備含む)		★供用開始
		元県職員住宅解体工事				

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
561,312	96,995	356,495	2,495,469	3,510,271	



衛生費

事業名	一般廃棄物中間処理施設整備事業費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 06 説明 01	北部環境事業所				
指針体系コード	5-1-51	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	195,421	17,604		106,700	71,089	28
平成29年度	34,455	11,393		0	0	23,062
対前年度	160,966	6,211		106,700	71,089	△ 23,034
特定財源の内訳	(国庫支出金)	循環型社会形成推進交付金				17,604
	(地方債)	焼却施設整備事業債				106,700
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				71,089

【事業概要】

廃棄物の円滑な処理を図るため、藤沢市焼却施設整備基本計画に基づく北部環境事業所新2号炉の建設工事を行う。

また、廃棄物処理施設建設に専門的知識を有するコンサルタントに設計・施工監理業務を委託する。

1. 委託料 42,336 千円

- ・新2号炉設計・施工監理業務委託
- 期間 平成30年度から平成34年度まで
- 総額 219,456千円（予定）

<委託内容>

設計監理、各種申請・許可等届出、現場監理、工場検査、性能試験等

2. 工事請負費 153,036 千円

- ・新2号炉建設工事
- 期間 平成30年度から平成34年度まで
- 総額 11,161,746千円（予定）

<工事概要>

敷地面積：約15,058㎡ 施設規模：150t/日  
平成30年度は、旧2号炉の解体工事を行う。

3. その他事務経費 49 千円

事業名称	主な内容	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	～	H54年度
建設業務		H30年2月契約								
既設解体工事	旧2号炉解体		■	■						
建設工事	新2号炉建設				■	■	■			
試運転	プラント単体 総合試運転						■			
外構工事	新2号炉建屋 周辺工事						■			
新2号炉 運営・維持管理業務	焼却炉運転 施設の点検等							■	■	■
新2号炉 設計・施工監理業務	設計監理 工事監理		■	■	■	■	■			

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
34,455	195,421	757,512	828,695	1,816,083	

教育費

事業名	鵜南小学校改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 2 目 3 細目 03 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	5-1-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	74,822				74,822	0
平成29年度	8,522				0	8,522
対前年度	66,300				74,822	△8,522
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				74,822

【事業概要】

老朽化が著しい鵜南小学校を全面改築し、施設の安全性確保と教育環境の向上を図る。また、近隣施設である浜見保育園及びよつば児童クラブについても、施設の老朽化とともに津波避難対策に課題があるため、複合化により一体整備し、あわせて近隣住民を含めた津波避難対策の強化を図る。

1. 基本・実施設計委託 59,658 千円  
 <継続事業1年目>

2. 地質調査委託 15,164 千円

<継続費年割額> (単位：千円)

	平成30年度	平成31年度	合計
鵜南小学校改築基本・実施設計委託	59,658	139,203	198,861

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
8,522	74,822	139,203	603,140	825,687	

教育費

事業名	六会中学校屋内運動場改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 3 目 3 細目 03 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	5-1-71	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	311,395	44,237		200,600	66,558	0
平成29年度	44,135	0		17,800	0	26,335
対前年度	267,260	44,237		182,800	66,558	△26,335
特定財源の内訳	(国庫支出金)	公立学校施設整備費負担金				26,731
	(国庫支出金)	学校施設環境改善交付金				17,506
	(地方債)	大規模改造事業債				200,600
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				66,558

【事業概要】

屋内運動場の老朽化の解消及び生徒数に対して著しく面積の不足が生じている状況の改善により、教育環境の向上を図るため、六会中学校の屋内運動場を改築し、あわせて武道場、部室及び開放用施設を新設する。また、屋内運動場内に防災備蓄倉庫を新設し、防災機能強化を図る。

- 1. 屋内運動場改築工事 281,294 千円  
 <継続事業1年目>
- 2. 屋内運動場改築に伴う諸経費 30,101 千円
  - ・基本・実施設計<継続事業2年目> 20,194 千円
  - ・事前家屋調査 9,807 千円
  - ・印刷製本費 100 千円

<継続費年割額>

(単位：千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	合計
屋内運動場改築工事	-	281,294	656,352	937,646
屋内運動場改築基本・実施設計	37,502	20,194	-	57,696

<スケジュール>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H29				基本・実施設計【継続費：1年目】								
H30	基本・実施設計【継続費：2年目】											
							建設工事【継続費：1年目】					
H31	建設工事【継続費：2年目】											

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
44,135	311,395	656,352	75,361	1,087,243	



総務費

事業名	公共施設再整備関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 03 説明 02	企画政策課				
指針体系コード	5-1-81	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	5,400					5,400
平成29年度	0					0
対前年度	5,400					5,400

【事業概要】

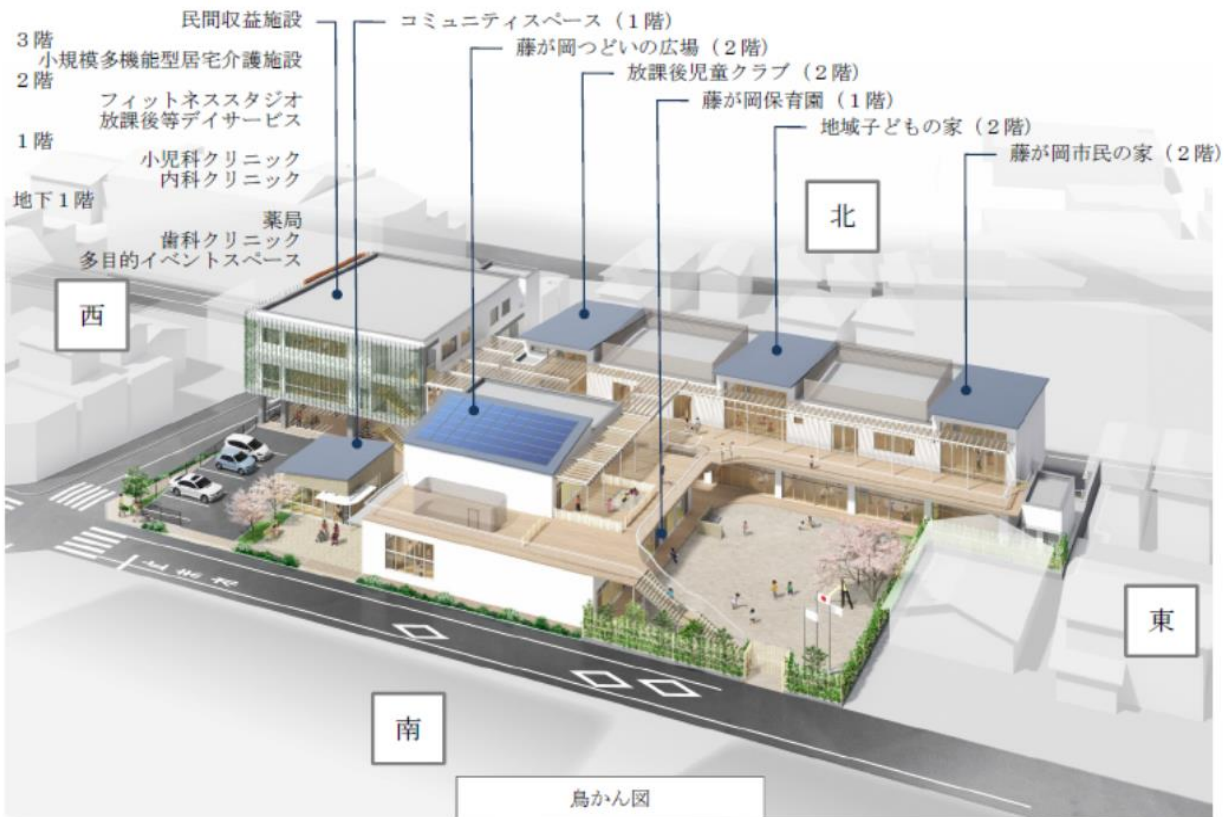
旧藤が岡職員住宅、旧市民病院看護師寮及び藤が岡保育園の敷地を一体的に活用し、周辺地区で賃借している施設及び当該地域に不足している行政サービス機能を含めた複合施設としての再整備を行う。

その整備に当たっては、PFI手法による民間活力を導入し、より効果的かつ効率的なサービスの提供を行い、財政支出の削減及び平準化を図る。

1. 藤が岡二丁目地区再整備PFI事業モニタリング業務 5,400千円

PFI事業として整備するに当たり、当該事業が要求水準書、提案書及び事業契約書に従って実施されていることを確認するために、その期間におけるモニタリング業務を専門業者に委託する。

施設供用開始は平成33年4月予定



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
	5,400	5,500	5,500	16,400	

土木費

事業名	藤沢駅周辺地区再整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 07 説明 01			藤沢駅周辺地区整備担当		
指針体系コード	5-1-111	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	1,183,253	109,638		671,500		402,115
平成29年度	666,956	51,864		425,800		189,292
対前年度	516,297	57,774		245,700		212,823
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				109,638
	(地方債)	藤沢駅周辺地区再整備事業債				671,500

【事業概要】

藤沢都心部の再活性化のため、交通結節機能の更新を核とした駅周辺街区の再整備検討を進めるとともに、平成29年度に引き続き、藤沢駅北口ペDESTリアンデッキの再整備工事を行う。

- 1. 委託料 86,022 千円
  - ・ 藤沢駅周辺地区再整備に伴う推進支援業務
  - ・ 藤沢駅自由通路拡幅に伴う調整・検討業務 等
- 2. 工事請負費 1,025,197 千円
  - ・ 藤沢駅北口ペDESTリアンデッキ再整備工事【継続費】
  - ・ 藤沢駅北口サイン整備工事
- 3. 負担金 66,585 千円
  - ・ 藤沢駅自由通路拡幅整備基本設計負担金【継続費】 等
- 4. 藤沢駅周辺地区再整備事業事務経費 5,449 千円

<継続費年割額>

(単位：千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	合計
藤沢駅北口ペDESTリアンデッキ再整備工事	604,066	978,292	359,266	1,941,624
藤沢駅自由通路拡幅整備基本設計負担金	—	46,585	23,293	69,878



<藤沢駅北口ペDESTリアンデッキ完成イメージ>

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
666,956	1,183,253	1,584,349	1,252,374	4,686,932	



土木費

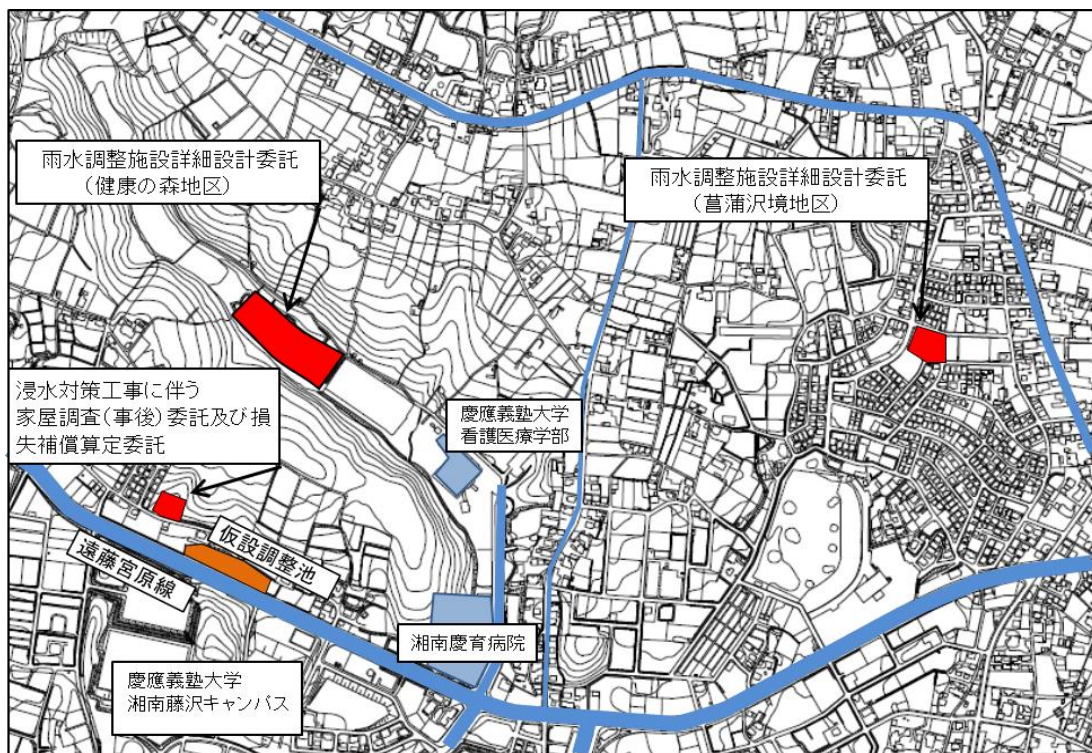
事業名	健康と文化の森整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 01	西北部総合整備事務所				
指針体系コード	5-1-121	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	39,007			14,800		24,207
平成29年度	51,319			0		51,319
対前年度	△ 12,312			14,800		△ 27,112
特定財源の内訳	(地方債)	健康と文化の森整備事業債				14,800

【事業概要】

本市の都市拠点に位置付けられている健康と文化の森地区においては、いずみ野線延伸計画における新駅の設置が想定されていることから、現在、鉄道延伸計画を見据えながら本地区のまちづくりの検討を進めている。今後も引き続き、本市の新たな活力創造の場を創出する都市拠点としてふさわしいまちづくりを推進する。

また、台風や大雨時に慢性的に発生している道路冠水の解消を目的として、平成28年度に策定した「健康と文化の森地区浸水対策基本計画」に基づく地区内の浸水対策を行う。

1. 健康と文化の森地区まちづくりの事業化に向けた検討 15,142 千円
  - ・まちづくり事業化検討業務委託
2. 健康と文化の森地区浸水対策 23,341 千円
  - ・雨水調整施設詳細設計委託（菖蒲沢境地区） 7,960 千円
  - ・雨水調整施設詳細設計委託（健康の森地区） 11,934 千円
  - ・浸水対策工事に伴う家屋調査(事後)委託 290 千円
  - ・浸水対策工事に伴う損失補償算定委託 151 千円
  - ・浸水対策工事に伴う損失補償 500 千円
  - ・仮設調整池維持管理費 2,506 千円
3. 健康と文化の森整備事業事務経費 524 千円



健康と文化の森地区浸水対策位置図

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
51,319	39,007	198,600	69,900	358,826	

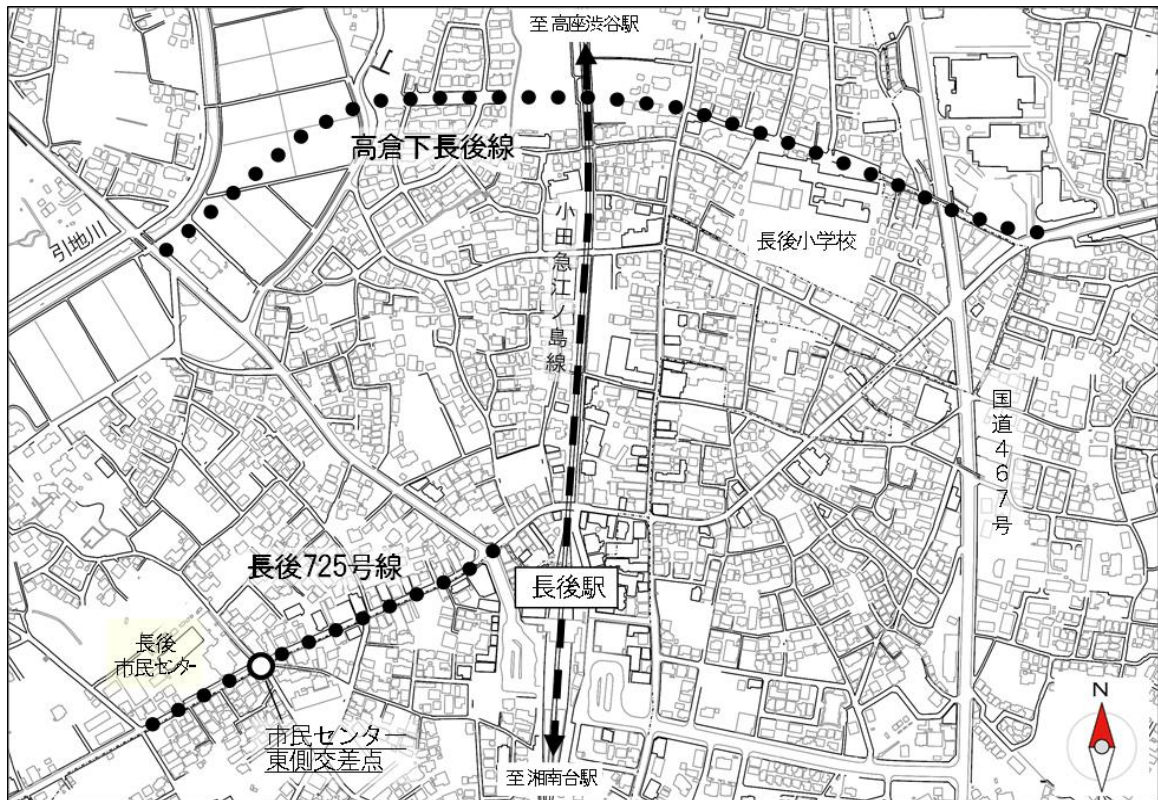
土木費

事業名	長後地区整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 08 説明 02	都市整備課長後地区整備事務所				
指針体系コード	5-1-131	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	24,845	0		0		24,845
平成29年度	75,556	1,485		3,500		70,571
対前年度	△ 50,711	△ 1,485		△ 3,500		△ 45,726

【事業概要】

長後駅周辺の交通混雑緩和のため高倉下長後線の整備に向けた検討を行う。  
 また、長後725号線の歩行者等の安全性の向上を図るため、市民センター東側交差点の改良工事完了に伴う確定測量及び駅方面への北側歩道の整備に向けた用地測量を実施する。

1. 高倉下長後線整備事業 17,864 千円  
 委託料（地質調査、地盤解析、雨水流出抑制施設検討）
2. 長後725号線歩道整備事業等 6,708 千円  
 委託料（用地測量等）
3. 長後地区整備事業事務経費 273 千円



【事業位置図】

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
75,556	24,845	132,000	91,000	323,401	



土木費

事業名	市道新設改良費					
予算科目	款 9 項 2 目 3 細目 01 説明 01			道路整備課		
指針体系コード	5-1-141	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
	5-1-151	重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	625,047	77,178	18,333	375,000	629	153,907
平成29年度	1,400,952	569,160	0	677,600	0	154,192
対前年度	△ 775,905	△ 491,982	18,333	△ 302,600	629	△ 285
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				77,178
	(県支出金)	県立体育センター西側昇降機建設負担金				8,471
	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				9,862
	(地方債)	道路整備事業債				375,000
	(その他)	電線共同溝建設負担金				629

【事業概要】

安全で快適な道路環境と安心して移動できる歩行空間の確保のため、道路の新設改良、バリアフリー化、電線類地中化などの道路整備を行う。

1. 道路の新設改良事業 148,786 千円
  - (1) 藤沢652号線（歩道築造工事等、測量、建物等調査、用地取得、補償）
  - (2) 六会554号線（測量、補償）
  - (3) 御所見537号線（用地取得）
2. バリアフリー化事業 255,578 千円
  - (1) 六会日大前駅周辺地区 六会349号線（バリアフリー化工事）
  - (2) 善行駅周辺地区 善行駅東口駅前広場及び善行駅東口駅前通り線  
（バリアフリー化工事）  
善行駅西口駅前広場（詳細設計）  
県立体育センター西側昇降機（詳細設計）
3. 電線類地中化事業 144,699 千円
  - (1) 藤沢394号線外1路線（電線共同溝工事、建物等調査、負担金）
4. 自転車走行空間整備事業 13,932 千円
  - (1) 中学通り線
5. バスターミナル等改良事業 40,102 千円
  - (1) 湘南ライフタウンバスターミナル（広場整備工事、測量、賃借料）
6. その他の事業 20,908 千円
  - (1) 藤沢87号線（用地取得）
  - (2) 藤沢287号線（用地取得）
7. 市道新設改良事務経費 1,042 千円

<継続費>

- (1) 藤沢652号線歩道築造工事 (単位：千円)

年割額	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
	62,400	381,400	53,000	496,800

- (2) 湘南ライフタウンバスターミナル整備工事 (単位：千円)

年割額		平成29年度	平成30年度	合計
		160,477	27,692	188,169

(この事業は平成29年度6月、9月補正で増額、12月補正で減額した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	新規等の区分
	予算額	予算額	見積額	見積額		
藤沢652号線	456,387	124,074	286,500	120,000	986,961	
バリアフリー事業費	244,513	255,578	359,680	85,800	945,571	

事業名	(新)村岡公民館改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 2 細目 05 説明 01			村岡公民館		
指針体系コード	5-1-161	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	11,947				10,908	1,039
平成29年度	0				0	0
対前年度	11,947				10,908	1,039
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				10,908

**【施策等を必要とする背景】**

村岡公民館については、昭和41年に旧耐震基準で建築され、その後増改築した施設のため、老朽化とともに、バリアフリー対策が十分ではないことなどの理由から、再整備を行う必要がある。

**【提案に至るまでの経緯】**

- 平成23年12月 村岡地区地域経営会議から「村岡公民館建て替え提言書」受領
- 平成27年10月 村岡地区郷土づくり推進会議から「村岡公民館建て替えに関する要望書」受領
- 平成28年 2月 要望書に対する文書回答
- 平成29年 1月 藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会に報告し、「藤沢市公共施設再整備プラン」において、「第2期短期プラン検討事業」に位置づけられた。
- 平成29年 2月 子ども文教常任委員会で、「村岡公民館再整備の取組状況」について報告
- 平成29年 3月 村岡地区まちづくり全体集会で、「村岡公民館再整備の取組状況」について報告
- 平成29年10月 第1回村岡公民館再整備建設検討委員会開催

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 有

定期的に建設検討委員会を開催するとともに、ワークショップ、住民アンケート、説明会等を随時開催する。

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果  
本事業の実施により、頼りにされる地域のコミュニティの中核となる施設としての機能拡充が期待できる。
2. 将来にわたる費用
  - 平成31年度 50,000千円 (基本設計・地質調査)
  - 平成32年度 122,000千円 (実施設計)
  - 平成33年度以降 1,931,000千円 (建設・解体工事)

**【事業概要】**

村岡公民館の再整備を進めていくに当たり、地域住民等から構成される建設検討委員会等において、地域住民の声を反映させた基本構想を策定する。

1. 村岡公民館再整備における基本構想の策定 11,947 千円
  - ・基本構想策定業務委託 10,908千円
  - ・臨時職員賃金 505千円
  - ・その他経費 (消耗品費、印刷製本費、通信運搬費郵便料) 534千円

**【事業費 (事務事業中の重点事業分)】**

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
	11,947	50,000	122,000	183,947	新規

土木費

事業名	総合交通体系推進業務費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 03 説明 01	都市計画課				
指針体系コード	5-2-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	38,850		0			38,850
平成29年度	49,990		8,333			41,657
対前年度	△ 11,140		△ 8,333			△ 2,807

【事業概要】

都市環境の向上と市民生活の利便性向上を図るため、超高齢社会を支える地域に根ざした公共交通網の整備を進めるなど、総合交通体系の構築を目指す。

1. 負担金補助及び交付金 11,668 千円
  - ・ 神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会年会費 180 千円
  - ・ ノンステップバス導入補助 8,400 千円
  - ・ 地域提案型交通システム導入支援補助 3,088 千円
2. 委託料 24,279 千円
  - ・ 藤沢市地域公共交通検討他業務委託 7,949 千円
  - ・ 湘南ライフタウンバスターミナル効果検証委託 8,489 千円
  - ・ いずみ野線延伸地域における交通及び土地利用等に関する検討他業務委託 7,841 千円
3. 総合交通体系推進業務事務経費 2,903 千円



活力を生み出す都市・ネットワークづくり方針図（藤沢市交通マスタープラン）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
49,990	38,850	105,565	114,705	309,110	



土木費

事業名	健康の森保全再生整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 05	西北部総合整備事務所				
指針体系コード	5-3-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	27,757			7,400	0	20,357
平成29年度	36,090			0	22,183	13,907
対前年度	△ 8,333			7,400	△ 22,183	6,450
特定財源の内訳	(地方債)	健康の森保全再生整備事業債				7,400

【事業概要】

市内三大谷戸の1つである健康の森（遠藤笹窪緑地）の保全を図るため、平成28年度に策定した「遠藤笹窪緑地保全計画」に基づき緑地の保全再生を行う。

- 健康の森の里山保全再生に向けた取組 9,647 千円
  - 健康の森オオタカ繁殖状況調査委託 1,080 千円
  - 健康の森管理用地草刈委託 2,992 千円
  - 市民活動団体等からの提案活動交付金 3,000 千円
  - 施設修繕費 999 千円
  - 樹林地管理作業 1,576 千円
- 公園詳細設計委託 9,904 千円  
健康の森内の谷戸底部分の自然型調整池機能を有した公園施設の詳細設計を行う。
- 遠藤225号線用地測量委託 6,416 千円  
遠藤笹窪地区の歩道整備工事に向けた用地測量を行う。
- 健康の森保全再生整備事業事務経費 1,790 千円



市民活動団体等による緑地の保全再生活動風景（植樹体験イベント）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
36,090	27,757	13,820	271,120	348,787	

環境保全費

事業名	自然環境共生推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 04	みどり保全課				
指針体系コード	5-3-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	12,673				9,136	3,537
平成29年度	9,351				9,351	0
対前年度	3,322				△ 215	3,537
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				9,136

【事業概要】

藤沢市環境基本計画に位置づく事業として、平成30年度に策定する藤沢市生物多様性地域戦略に基づき生物多様性の保全及び持続可能な利用に資する取組を進めるとともに、市民等を対象に自然保護意識の高揚、普及・啓発を図る。

また、ヒートアイランド現象の緩和、緑豊かな都市景観の創出などを目的として、市民や事業者を対象とした建物緑化に対する助成及び普及啓発等の建物緑化事業を推進する。

- |                             |          |
|-----------------------------|----------|
| 1. 藤沢市生物多様性地域戦略推進事業         | 9,936 千円 |
| ・シンポジウムの開催                  | 1,114 千円 |
| 講師謝礼、会場使用料、パンフレット作成等        |          |
| ・藤沢市生物多様性地域戦略概要版等の作成        | 2,063 千円 |
| ・戦略実行プラン等検討業務委託             | 3,500 千円 |
| ・既設ビオトープ維持管理作業等             | 3,259 千円 |
| 2. 自然環境実態調査関連事業             | 281 千円   |
| ・自然環境実態調査（継続調査）             | 181 千円   |
| ・調査箇所のカルテ作成                 | 100 千円   |
| 3. 建物緑化事業                   | 2,456 千円 |
| ・建物緑化への助成                   | 2,000 千円 |
| 建物緑化助成事業交付金                 |          |
| ・緑のカーテン普及啓発                 | 419 千円   |
| 緑のカーテン用絵袋種子（ゴーヤ等）の配布        |          |
| ・「緑と花のまちづくりコンクール（建物緑化賞）」の実施 | 37 千円    |
| 建物緑化賞記念品                    |          |



藤沢市生物多様性地域戦略策定に向けての市民とのグループワーク実施状況

（前年度の自然環境共生推進事業費と建物緑化事業費を統合した事業）



平成29年度建物緑化賞（壁面緑化の部）入賞作品

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
9,351	10,217	10,000	10,000	39,568	

環境保全費

事業名	地球温暖化対策関係事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 03 説明 01	環境総務課				
指針体系コード	5-3-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	36,986				30,600	6,386
平成29年度	39,127				32,475	6,652
対前年度	△ 2,141				△ 1,875	△ 266
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				30,600

【事業概要】

地球温暖化に対応するため、市民、事業者及び行政が一体となって、住宅用等太陽光発電システム設置者、家庭用燃料電池システム（エネファーム）設置者、電気自動車導入者等への補助などの各種施策を実施する。

1. 環境に優しいエネルギーシステム普及推進 23,800 千円  
再生可能エネルギー及び新エネルギーへの転換を推進するため、太陽光発電システム又はエネファームの設置者に費用の一部を補助し、両システムを同時に設置する場合は補助額を増額する。
  - ・住宅用太陽光発電 1kWあたり15千円で上限額50千円
  - ・エネファーム 1件あたり50千円
  - ・両システム同時設置 1件あたり上限額150千円
  - ・共同住宅、自治会館及び町内会館用太陽光発電  
1kWあたり100千円で上限額300千円
2. 雨水貯留槽普及推進 600 千円  
水資源の循環利用を推進するため、雨水貯留槽の購入者に費用の一部を補助する。
  - ・雨水貯留槽購入者への補助金 1件あたり本体価格の1/2で上限額15千円
3. 電気自動車普及推進 3,500 千円  
電気自動車の普及推進に向け、電気自動車の導入者に費用の一部を補助する。
  - ・電気自動車導入者への補助金 1台あたり100千円
4. 定置用リチウムイオン蓄電池普及推進 1,500 千円  
エネルギーの効率的な利用を推進するため、蓄電池の設置者に費用の一部を補助する。
  - ・蓄電池設置者への補助金 1件あたり50千円
5. 燃料電池自動車普及推進 1,200 千円  
燃料電池自動車の普及推進に向け、燃料電池自動車の導入者に費用の一部を補助する。
  - ・燃料電池自動車導入者への補助金 1台あたり400千円
6. 地球温暖化対策関係団体等との連携 80 千円  
地球温暖化対策地域協議会と連携し講演会等を開催するとともに、グリーン購入ネットワーク、雨水ネットワーク等へ参加する。
7. 2市1町・湘南エコウェーブプロジェクト事業の推進 40 千円  
茅ヶ崎市・寒川町と連携し、環境イベントの実施、緑の保全、レジ袋削減等の施策を広域的に推進する。
8. 地球温暖化対策関係事務経費 6,266 千円  
非常勤職員報酬、臨時職員賃金ほか

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分

土木費

事業名	住宅政策推進費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 04 説明 01			住宅政策課		
指針体系コード	5-4-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	7,183	124				7,059
平成29年度	6,177	2,697				3,480
対前年度	1,006	△ 2,573				3,579
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				124

【事業概要】

少子高齢化・人口減少・空き家対策・団地再生・マンションの老朽化などの課題に対応するため、住生活基本法及び神奈川県住生活基本計画を踏まえた全市的な住宅政策を推進する。

1. 藤沢市住宅マスタープラン策定業務 6,807 千円  
 本市の住宅、居住環境等の現状を把握するとともに、課題の整理、方向性の検討を行い作成した「藤沢市住宅マスタープラン（中間報告）」を基に、（仮称）住宅政策懇談会での市民や有識者等の意見を踏まえ、藤沢市住宅マスタープランの策定を行う。
  - ・ 藤沢市住宅マスタープラン策定支援業務委託 5,984 千円
  - ・ 住宅政策推進事業事務経費 823 千円
  
2. 高齢者住まい探し相談会の実施 376 千円  
 本市の民間賃貸住宅への入居に困窮している高齢者等に対し、相談会を実施するなど、居住の安定を図るための藤沢市高齢者円滑入居支援事業を行う。
  - ・ 高齢者円滑入居支援事業業務委託 276 千円
  - ・ 公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会年会費 100 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
6,177	7,183	1,735	1,735	16,830	

土木費

事業名	空き家対策関係費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 04 説明 02	住宅政策課				
指針体系コード	5-4-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	9,516	900				8,616
平成29年度	12,354	0				12,354
対前年度	△ 2,838	900				△ 3,738
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				900

【事業概要】

地域住民の生活環境に影響を及ぼすおそれのある管理不全な空き家の発生を抑制するため、空き家の実態を把握し、空き家の適正管理の促進及び利活用の推進等の対策を実施する。

1. 特定空き家の認定と措置 994 千円  
 放置すれば著しく保安上危険、衛生上有害な空き家を特定空き家として認定し、空き家対策特措法や本市のガイドライン等に基づき、所有者等に対し行政指導を行い是正を促す。改善されない場合は、勧告・命令等の法的措置を講ずる。
  - ・ 特定空き家審査会委員報酬 570 千円
  - ・ 審査会会議録筆耕翻訳料 227 千円
  - ・ 特定空き家の認定と措置に係る事務経費 197 千円
  
2. 空き家の適正管理の促進 3,830 千円  
 広報やホームページ等を活用し、空き家の適正管理に関する意識啓発を行う。また、空き家の実態把握に努め、その情報をデータベース化するとともに、空き家所有者に対し、適正管理のための助言・指導を行う。また、空き家等と認められる場所に立ち入って建物損壊状況や衛生上有害な状況などの確認を行い、実態に沿った指導に努める。
  - ・ 空き家実態調査業務委託料 3,192 千円
  - ・ 訪問等調査に係る旅費 82 千円
  - ・ 研修会参加負担金 100 千円
  - ・ 空き家の適正管理の促進に係る事務経費 456 千円
  
3. 空き家の利活用の推進 2,252 千円  
 空き家所有者等の利活用に関する意向を把握するとともに、広報活動、セミナーの開催や空き家移動相談会の実施等により空き家に関する広報・啓発を行い、藤沢市空き家利活用事業補助金の実施、藤沢市空き家利活用マッチング制度により、本市の実態に即した空き家の利活用を推進する。
  - ・ 空き家利活用事業補助金（1,000千円×2件） 2,000 千円
  - ・ 空き家利活用事業審査会委員報酬 127 千円
  - ・ 空き家の利活用の推進に係る事務経費 125 千円
  
4. 推進体制の整備 2,440 千円  
 空き家の適正管理と利活用という両面からの取組を進めるため、空き家対策専門員を継続して配置する。
  - ・ 空き家対策専門員報酬及び費用弁償 2,440 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
12,354	9,516	9,516	9,516	40,902	



商工費

事業名	新産業創出事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 1 細目 04 説明 01	産業労働課				
指針体系コード	5-4-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	40,752					40,752
平成29年度	39,669					39,669
対前年度	1,083					1,083

【事業概要】

新しい産業や雇用機会を創出し、地域経済の活性化を図るため、産学官連携（市内企業・起業家等と市内4大学・近隣大学等の連携）を進めるとともに、ベンチャー企業の育成及び既存企業の新事業進出を支援する。

1. 湘南新産業創出コンソーシアム事業 24,011 千円  
産学官で構成する「湘南新産業創出コンソーシアム」が中心となり、ベンチャー企業育成及び既存企業の新事業進出を支援するための各種事業を展開する。  
  - ・湘南ビジネスコンテスト事業
  - ・都市拠点型起業家育成施設運営事業（湘南藤沢インキュベーションセンターの運営）
  - ・創業・新事業進出フォーラム事業
  - ・海外事業展開等支援事業
  - ・コミュニティビジネス支援事業（セミナー・事例発表会等） など
2. 大学連携型起業家育成施設支援事業 9,533 千円  
大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ」の運営のため、インキュベーションマネージャー等を派遣し、入居者に対する総合的支援を行う。
3. 大学連携型起業家育成施設入居支援事業 5,795 千円  
大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ」の入居者に対し、賃料の一部を補助する。（補助単価は1,000円/㎡）
4. コミュニティビジネス支援事業（創業補助） 663 千円  
コミュニティビジネスの創業時に要する経費（賃借料及び改装工事費）の一部を補助する。（対象経費の40%以内、女性やシニア世代の事業者の賃借料は45%以内）
5. ポストインキュベーション支援事業 750 千円  
市内公的インキュベーション施設を退去後、市内に新たに事業所等を開設する際に要する経費（敷金相当額及び改装工事費）の一部を補助する。（対象経費の50%以内）



(湘南ビジネスコンテスト)



(コミュニティビジネスセミナー)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
39,669	40,752	41,139	41,299	162,859	

商工費

事業名	ロボット産業推進事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 1 細目 07 説明 01	産業労働課				
指針体系コード	5-4-41	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	21,973		1,082			20,891
平成29年度	25,127		1,002			24,125
対前年度	△ 3,154		80			△ 3,234
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				1,082

【事業概要】

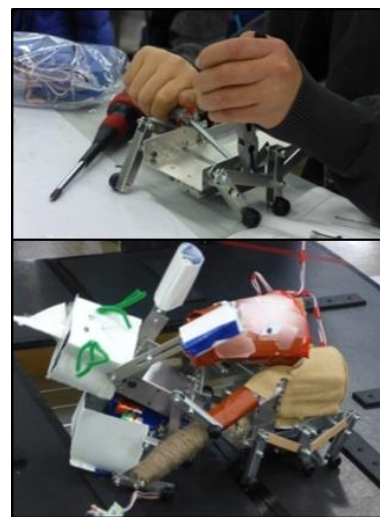
これまでの「藤沢市ロボット産業推進プロジェクト」の先進的な取組は継承した上で、ロボットの利活用とロボット産業の振興の両面から施策を展開するため、平成30年度から新たに開始する「藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクト」の取組の一つとして、生活支援ロボットの普及啓発等を行うとともに、市内企業のロボット産業への参入を支援する。

- 生活支援ロボット普及啓発等推進事業 17,919 千円  
「さがみロボット産業特区」の関連施設（介護ロボット等普及拡大拠点）として市内に整備されたロボット展示場（湘南ロボケアセンターロボテラス）を活用し、生活支援ロボットの普及啓発等の事業を行う。
- ロボット産業に対する参入支援・人材育成 1,910 千円  
地域経済団体等と連携し、市民等を対象に先端的なロボットに関する基調講演などを行う「ふじさわロボットフォーラム」、市内企業等を対象にロボット産業に関する理解を深めることを目的とした「藤沢ロボット産業研究会」、子どもたちがモノづくりの楽しさを体験し、ロボットのメカニズムを通して工学の基礎を学習し、創造性を養うことを目的とした「少年少女ロボットセミナー」を開催する。
- ロボット産業推進事業補助金 2,114 千円  
市内中小企業によるロボット産業への参入やロボットに関する研究開発の促進を図るため、ロボットの試作開発等に要する経費に対し助成を行う。

- (新) 4. 産学官連携によるコンソーシアム負担金 30 千円  
健康と文化の森地区における先導的なまちづくりに向け、産学官の連携により社会的課題の解決を目指してスマートモビリティ等の研究開発・実証実験・社会実装を推進するコンソーシアムへの参加負担金。



(ふじさわロボットフォーラム2017)



(少年少女ロボットセミナー)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
25,127	21,973	21,973	21,973	91,046	拡充



商工費

事業名	地域密着型商業まちづくり推進事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 01	産業労働課				
指針体系コード	5-4-51	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	18,415					18,415
平成29年度	17,415					17,415
対前年度	1,000					1,000

<新規事業> まちゼミ事業への助成

【施策等を必要とする背景】

インターネットの普及による消費行動の変化や商店街加入店舗数の減少、店主の高齢化等により、人的余裕が個店になく、商店街活性化へ取り組む余力が減退しつつある。

【提案に至るまでの経緯】

公益社団法人藤沢市商店会連合会に加盟する商店街団体、会員の減少、一部の商店街では後継者不足による店舗の廃業等により、商店街としての活動も停滞している状況にあり、対面型の良さを伝え、来店へのハードルを下げることでインターネット販売、大型店舗との差別化、集客力向上を図る各種商店街活性化策が必要となっている。こうした状況への対応策として、公益社団法人藤沢市商店会連合会から、個店に負担が少なく、個性と魅力を消費者に直接伝えることができる「まちゼミ」事業に対する支援要望書が提出されている。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市産業振興計画において「地域コミュニティの核となる商業の発展支援」として、商店街を中心とする地域商業を活性化するため、事業者と消費者の双方の視点に立ち、消費者（市民）ニーズに対応した商業集積の実現を図り、地域経済の活力再生を目指すこととしている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

各商店街団体が持つ特色を活かした活性化事業や、個店と顧客を結び付ける取組に対して支援することにより、新規顧客開拓、売上増加といった商店街団体の体力の向上を図り、地域コミュニティの醸成に寄与する。

2. 将来にわたる費用

まちゼミ事業への助成による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

平成31年度	1,500 千円
平成32年度	1,500 千円
平成33年度以降	1,500 千円

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
17,415	18,415	18,915	18,915	73,660	拡充

## 【事業概要】

多様化する消費者ニーズに対応した商業集積を進めるため、指導事業及び商店街団体が商店街の活性化を目的に行う特色づくり等への支援のほか、「ふじさわ元気バザール」事業及び「まちゼミ」事業の実施に対し支援する。

1. 商店街にぎわいまちづくり支援事業 10,695 千円

商店街ににぎわいや直接の消費をもたらすため、商店街が実施する特色づくりの取組に対し、専門家派遣により事業の企画・実施・効果検証までの一連を支援するとともに、後継者育成や販売促進イベントによるにぎわいづくり等の事業に対し事業費の一部を助成する。

2. ふじさわ元気バザール事業 6,720 千円

地域経済の活性化に向け、にぎわいの創出、市内での経済循環などを図るため、市民が主役の産業振興を目指す「ふじさわ元気バザール」事業に対し事業費の一部を助成する。

(新) 3. まちゼミ事業 1,000 千円

商店街を中心とする地域商業の活性化に向け、地域住民とのコミュニケーションの場から、地域コミュニティの核となる商店街の構築と集客力向上を図るため、公益社団法人藤沢市商店会連合会が実施する「まちゼミ」事業に対し事業費の一部を助成する。

まちゼミとは、お店の方が講師となり、プロならではの専門的な知識や情報、コツ、また趣味の楽しみなどを受講者（お客様）に伝える、得する街のゼミナール

仕組み ・ 無料で実施（一部材料費を支払う場合あり）

- ・ 少人数制
- ・ 1講座60分～90分程度
- ・ 同一エリアにある複数の店舗で開催

効果 ・ 店主やスタッフと受講者とのコミュニケーションにより、信頼関係を築くことができる

- ・ 受講者は知識・技術が身に付き、店舗は新しいお客様の来店、商業者同士の繋がりが生まれる
- ・ 商店街活性化のための体制づくり、実践力の強化に繋がる



(まちゼミ事業)

農林水産業費

事業名	担い手育成支援事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 3 細目 03 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	5-4-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成30年度	22,190		21,100			1,090
平成29年度	24,240		22,900			1,340
対前年度	△ 2,050		△ 1,800			△ 250
特定財源の内訳	(県支出金)	新規就農者確保支援事業補助金				21,100

【事業概要】

市内農業の新たな担い手や農業後継者、担い手不足の農業者を支援する市民ボランティアに対する支援を行う。

1. 市内若手農業者に対する講習会、研修会支援 15 千円  
 対象者：さがみ農協藤沢市青少年藤友会  
 支援内容：パソコン簿記講習会や優良事例視察研修会等講師謝礼
2. 地域住民との交流、農業理解促進活動の実施 689 千円  
 ・景観形成事業  
 委託先：さがみ農協藤沢市青少年藤友会  
 委託内容：遊休農地において景観作物(コスモス等)を栽培し摘み取りイベントを行う。
3. 援農ボランティア養成講座の開催 100 千円  
 期間：4～12月  
 対象者：援農ボランティア活動を希望する市民 40人程度
4. 新規就農者に対する支援 21,100 千円  
 ・農業次世代人材投資資金の交付 21,000 千円  
 「藤沢市人・農地プラン」において、中心となる経営体に位置付けられた新規就農者に対して、国が実施する農業人材力強化総合支援事業に基づき補助金を交付する。  
 対象者：平成24年4月以降に経営開始した45歳以下の独立自営就農者  
 支援内容：年間最大150万円の補助金を交付  
 ・新規就農指導員謝礼 100 千円  
 農業次世代人材投資資金交付対象者に対し支援を行う「サポート体制」の活動に参加する農業者に対し、謝礼を支払う。
5. 農業後継者研修受入支援事業 240 千円  
 農業後継者の育成のため、新規就農希望者に対して農業技術及び経営に関する研修を行う団体に対し補助金を交付する。  
 対象者：藤沢市農業経営士協議会  
 支援内容：研修生1人当たり3万円の補助金を交付
6. 担い手育成支援事業事務経費 46 千円  
 ・旅費、消耗品費

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 見積額	平成32年度 見積額	事業費合計	新規等の区分
24,240	22,190	30,990	30,990	108,410	

## 5 地域づくり

各地区での取組として、市民センター・公民館が郷土づくり推進会議と実施する事業について示します。

各地区の事業は、市が実施、支援等を行うものであり、地区集会等での意見を踏まえ、毎年見直しを行いながら進めます。

- ① 六会地区まちづくり事業
- ② 片瀬地区地域まちづくり事業
- ③ 明治地区まちづくり事業
- ④ 御所見地区地域まちづくり事業
- ⑤ 遠藤まちづくり推進事業
- ⑥ 長後地域活性化事業
- ⑦ 辻堂地区地域まちづくり事業
- ⑧ 善行地区まちづくり事業
- ⑨ 湘南大庭地域まちづくり事業
- ⑩ 湘南台地域まちづくり事業
- ⑪ 鵜沼地区まちづくり事業
- ⑫ 藤沢地区まちづくり事業
- ⑬ 村岡いきいきまちづくり事業



## 六会地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 素的なふるさと 六会

### まちづくり事業

#### 1 公園提案事業

地区内には28の公園があります。立地条件・規模・利用者の状況等それぞれ特徴がありますが、子どもから高齢者・障がい者まで安心して遊べる公園について、地域の要望（自治会・町内会、公園愛護会連絡協議会等）も踏まえ多方面から検討し、地域の特性を生かして全世代が利用しやすい公園を提案します。

- (1) 地区内の公園に関するニーズ調査の検討
- (2) 実効性のある公園改善提案の検討

#### 2 六会人材センター推進事業

地域の人材発掘を行うとともに、地域のまちづくり活動の推進を図るため、ボランティアと依頼団体とのコーディネート事業等を行います。

- (1) 六会人材センターの設置
- (2) 地域の人材発掘

#### 3 六会まちの相談室事業

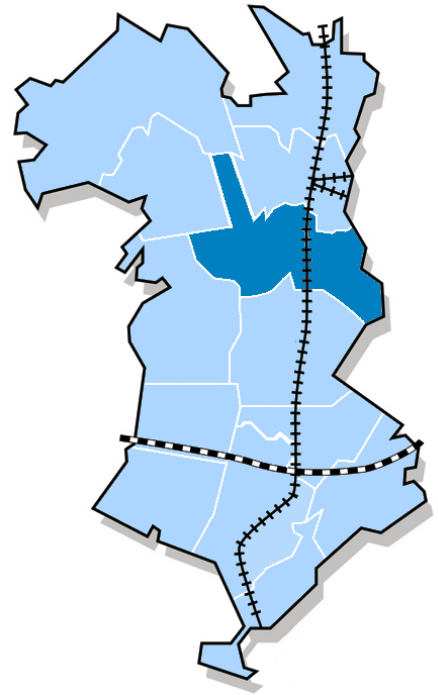
幅広い層を対象に将来を安心して暮らすためのライフプランセミナー事業を行います。また、資格を持った相談員が家計管理や相続等の相談を受けます。

- (1) セミナー事業の推進，講師の拡充
- (2) 相談受付事業の推進，相談員の拡充

#### 4 引地川自然環境向上事業

円行新橋から引地川親水公園までの引地川両岸の美化を維持しつつ，市に提出した「引地川の環境改善に関する提言」のフォローをします。

- (1) 引地川両岸の清掃活動と不法投棄防止活動
- (2) 引地川，一色川両岸の美化活動をするボランティア団体の設立と支援
- (3) 引地川の環境改善提言のフォロー



## 5 花の植栽活動による美しいまちづくり事業

地区内の公園，小・中学校，特別支援学校，花のボランティア団体等への花の植栽活動の支援を行い，自然とのふれあいを深めるとともに美しいまちづくりを進めます。

また，近隣の人々が共同作業をすることで，地域のコミュニケーション（あいさつや声かけ）や連帯感を深めます。

- (1) 幼苗の育成と苗配布による地域の花の植栽活動支援
- (2) 「六会の美しい庭・風景の写真展」の開催
- (3) あいさつ運動の推進
- (4) 六会グリーンクラブの支援

## 6 六会まちおこし活動支援事業

駅前空間の賑わいやまちの美化向上のため，12月から1月にかけて六会日大前駅東口ロータリーにイルミネーションを設置します。さらに，地域の子どもから高齢者・障がい者まで楽しめるイベント等の支援を検討し，六会地区のまちおこしを図っていきます。

- (1) イルミネーション点灯式の開催
- (2) 活気あるまちづくりに寄与するイベント等の支援の検討

## 7 バリアフリー化支援活動事業

市のバリアフリー化計画(六会日大前駅周辺道路)にあわせ，高齢者，障がい者も安心して通行できる道路環境を，市との連携により具現化します。

- (1) バリアフリー化工事の進捗状況の見守り
- (2) 六会349号線（駅前東口ロータリーから六会2号踏切付近まで）の早期着工の提案

## 8 踏み切り安全対策事業

六会日大前駅南側踏切の問題は，地区の長年の課題です。踏み切りの安全対策について工事が完了しましたが，その後の利用状況，安全性について検証を行います。

- (1) 線路東側に隣接する張出歩道利用状況の実態調査
- (2) 張出歩道廃止に向けた住民意見の聴取

## 9 交通不便地区解消検討事業

西俣野地区で運行する予約型乗合タクシー「おでかけ六会」の地域住民への周知及び利用者拡大を図ります。

## 10 地域の縁側事業等「地域ふれあい事業」の設立支援事業

地域の縁側事業に限らず，広く地域の高齢者等のふれあい（心の交流）に係る事業の設立支援に努めます。

- (1) 地域ふれあい事業設立の他団体（事業者）への支援・協力・働きかけ

## 11 「多世代学び場」づくり支援事業

公や民間の施設（場所）を活用して，高齢者に限らず，またテーマも福祉に限定せずに幅広く日常生活に役立つ事を気楽に学べる「場」の設立支援に努めます。

(1) 場所や実施主体（団体，有志，講師）の確保

---

## 長期的に取り組む地域課題等

六会のまち全体としての魅力（誘因力）を創る「六会まちづくりプランの検討」を将来的な課題としています。

また，藤沢型地域包括ケアシステムの理解を深め，取組を推進していきます。



## 片瀬地区地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 歴史の薫りと潮の香りがただよう ふれあいのまち 片瀬・江の島

### まちづくり事業

#### 1 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業

地域の活動と人をつなぎ、人材の流通と地域活動の活性化を推進するため、地域活動情報、人や団体の情報などを蓄える人材・情報バンクセンターを設置するとともに専属のコーディネーターを配置し、人と団体と情報とを結びつける業務などを実施します。

- (1) 地域の情報収集（関係づくり）、登録者・情報の蓄積
- (2) コーディネーターによる相談対応、コーディネーター
- (3) 地域情報の発信（広報紙発行、ポータルサイト掲載）
- (4) 活動参加へのきっかけづくり（講演会等イベント開催）

#### 2 地域広報事業

多くの人々が交流し、地域の魅力にあふれるまちの実現を図るため、広報紙及び片瀬地区ポータルサイトによる地域活動等情報の発信・広報を実施します。

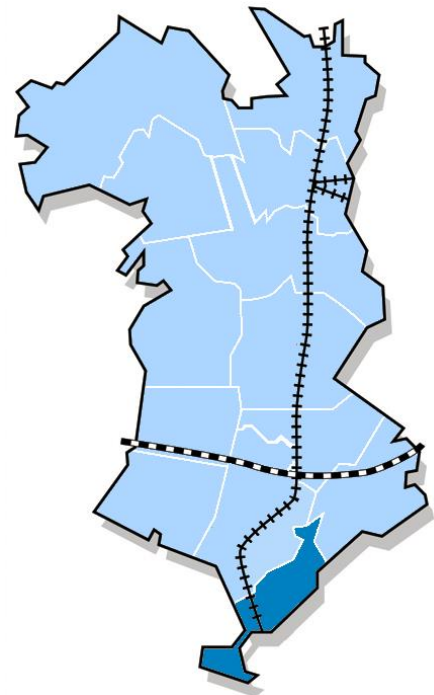
- (1) 広報紙「片瀬・江の島まちづくり通信」の発行
- (2) 片瀬地区ポータルサイトの充実
- (3) 地域情報の整理と共有の推進

#### 3 緑と花いっぱい推進活動事業

全国有数の観光地であり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のセーリング会場にもなる片瀬・江の島地域としてふさわしい景観の確保並びに環境の浄化を図るため、地域ボランティアを募り、江の島弁天橋植栽帯花植え等のボランティア活動を支援します。

#### 4 ボランティアセンター事業

人と人とのつながりを広げ、支えあう地域の実現を図ることを目的に、地域福祉活動の拠点として、赤ちゃんからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄れる居場所「片瀬地区ボ



ランティアセンター（愛称 ひだまり片瀬）」の充実に向けた取組を実施します。

- (1) 居場所・ひだまり，かたせ・にこにこ広場の開設
- (2) 機関紙の発行

## 5 まちかど相談事業

誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進するため，子育て・思春期・老後・介護などに関する相談を行政窓口より身近な地域の居場所を活用し，地域ボランティア・地域包括支援センターなどが連携し実施します。

- (1) 行政窓口より身近な相談場所の設置
- (2) 臨床心理士等専門家の連携による相談の実施

## 6 公民館活用事業

公民館事業の活性化及び公民館の有効活用の推進を図るため，地域の皆さんの意見や要望を公民館評議員会と協力して公民館運営に反映させ，さらに公民館と地域活動の連携を促進させ，課題の把握と解決の検討を実施します。

- (1) 公民館事業と各地域団体事業の計画を効率的で効果的にするための調整
- (2) 各種イベントの実施が一目でわかるような情報集約とその表示の検討
- (3) 公民館施設のメンテナンス必要箇所の抽出とその改修の提言

## 7 青少年居場所事業

子どもたちを見守り，育む地域づくりの推進を図るため，片瀬しおさいセンターでの青少年の居場所づくり・対話・見守りを実施します。

- (1) 公民館を利用した青少年の居場所の確保
- (2) 青少年を見守るボランティアの配置

## 8 小学生ふれあい事業

子どもたちを見守り，育む地域づくりの推進を図るため，地域の小学生を対象に，宿題・勉強支援と見守り活動を実施します。

- (1) 指導者等事業運営体制の整備
- (2) 小学生を対象とした勉強会等事業の実施

## 9 民俗文化財等継承事業

片瀬地区で300年前から唄いつがれ市無形民俗文化財として指定されている片瀬餅つき唄や伝統的な片瀬こまなど，地域にゆかりのある民俗文化財等継承活動の支援を実施します。

- (1) 片瀬餅つき唄保存会及び片瀬こま保存会の活動発表や展示事業等の開催
- (2) その他片瀬ゆかりの文化の継承・発展を図るための事業の実施

## 10 江の島道の整備事業

旧江の島道を歴史探訪の道としての整備を実施するとともに，歴史継承のための周知及び有効活用についての検討を実施します。

- (1) 杉山検校の道標をはじめとする旧江の島道の道標・史跡の整備
- (2) 江の島道の周知と有効活用

---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

片瀬・江の島地域には、少子超高齢化が進んでいることでの課題、歴史ある旧道や昔からの狭あい道路が現在も生活道路や通学路として使われていることでの課題、また、全国有数の観光地として多くの観光客が訪れる地であるとともに、住民の生活地として両立するための安全・安心や環境面での問題点など、地域の特色ゆえに浮彫になってくる日常生活での課題が数多くあります。これらのうち、ひとつの地域団体による活動では対応が困難な地域課題について、片瀬地区郷土づくり推進会議（片瀬・江の島まちづくり協議会）が検討し、まちづくり事業として事業化したものも多くあります。

一方では、市、県、関係機関や団体等の動向を見据えていく必要がある地域課題、並びに、片瀬山市民の家再整備を踏まえた公的資産の有効活用、地域の居場所のあり方、廃屋への対応、より身近な高齢者相談窓口、生活支援ボランティアの推進、ひとり暮らし高齢者・障がい児者の見守りや移動手段の課題、また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のセーリング会場となる地元地域として、地域の魅力や特色を来訪者や転入者も含めた次世代へ継承するなど、長期的に取り組んでいく必要のある地域課題があることも、片瀬地区郷土づくり推進会議として認識をしています。

なお、今後も地区集会等の機会を捉えて、引き続き地域課題を集約していき、片瀬地区郷土づくり推進会議が中心となって、地域としての取組を検討していきたいと考えております。

## 明治地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 明るく楽しい未来を創るまち、めいじ

### まちづくり事業

#### 1 歴史・文化継承事業

明治地区には、「耕余塾」、「旧三觜八郎右衛門家住宅」などの歴史・文化資産が数多くあります。それらを活用して明治地区の歴史文化を広く周知し、次世代へ伝えていくための活動を推進します。

- (1) 郷土史料室での史料展示
- (2) 歴史講座等の開催
- (3) 「明治ふるさとかるた」や「小笠原東陽物語」の活用
- (4) 地区内石仏の調査、記録

#### 2 明治地区マナーアップ推進事業

歩行喫煙・自転車交通・ごみのポイ捨て・日常の挨拶など、明治地区全体のマナー向上を図るため、明治地区マナーアップ週間等を設定し、地域団体・学校等が一体となった取組・活動を実施し、住みよい生活環境づくりを推進します。

- (1) 駅周辺での街頭キャンペーンの実施
- (2) 市民センター・学校等におけるキャンペーン期間中の「のぼり旗」の掲示
- (3) 地域内回覧によるマナー向上の呼びかけ
- (4) 市民センター・学校等にポスターの掲示

#### 3 子育て支援充実事業

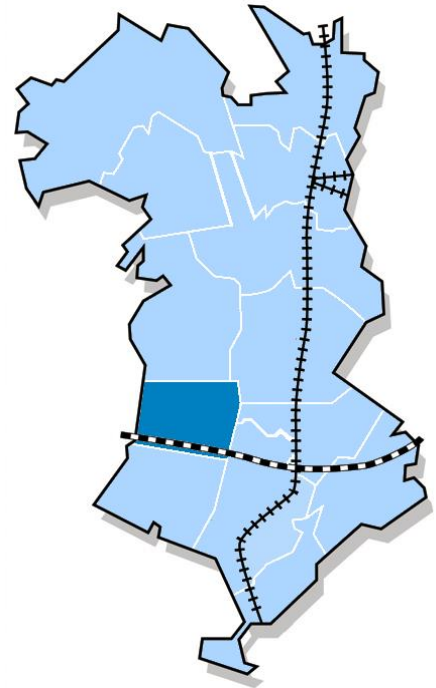
開発や区画整理に伴い、増加している子育て世代に必要な情報の提供を行うとともに、地域の子育て環境の充実を図るため、子育てグループや子育て支援団体が連携した事業を行います。

- (1) 明治発！子育て応援メッセの開催及び子育て支援事業の充実
- (2) 地区内子育て支援グループの交流促進

#### 4 避難行動要支援者支援体制推進事業

自主防災組織（自治会・町内会）を中心に、災害時に自主的避難が難しく支援を必要とされる方に対し、災害時の迅速な支援体制を構築するため、自治会・町内会等との協力体制を強化するとともに、地区民生委員との連携等を図ります。

- (1) 避難行動要支援者支援体制の構築



(2) 自治会・町内会，自主防災会と民生委員等との連携

#### 5 小・中学生地域活動参加促進事業

地域の自然，景観，歴史，文化を継承し，地域アイデンティティを受け継ぐ，地域における将来の担い手を育成するため，小・中学生の地域活動への参加を促進します。

- (1) 各事業への参加の呼びかけ
- (2) 学校との連携

#### 6 大学生と小・中学生の交流促進事業

地域の未来を担う人材を育成するため，小・中学生を対象に，大学生ボランティア等と地域団体の協働による講座，事業等を開催するなど，世代を超えた交流と学習機会を創出します。

#### 7 道路バリアフリー化促進事業

だれもが安全に道路を利用できるよう，地区内の主要な道路のバリアフリー化について検討し，必要に応じて担当部署に要望していきます。

#### 8 明治地区健康体操推進事業

明治地区内住民の健康維持と住民同士の交流を促進し，健康でいきいきと生活できる環境づくりを目指し，健康体操の普及を図ります。

- (1) 自治会・町内会及び老人会等に，体操への参加を促すための案内。
- (2) 地区内で実施されている健康体操の案内。
- (3) 健康体操を広めるため健康体操サポーターの拡充並びに育成。
- (4) 健康体操を実施している団体や健康体操サポーターに必要な支援の実施。

#### 9 子どもの安全を守る「不審者情報共有化」事業

子どもの安全を守るため，不審者情報をパトロール団体等が共有し，効果的に巡回を行う等対応する仕組みを構築します。

- (1) 不審者情報を共有するネットワークの構築並びに効果的な巡回の調整。
- (2) 子どもへの声かけ等，抑止効果を高める活動の実施。

---

### 長期的に取り組む地域課題等

大型商業施設の進出や圏央道の開通による通過交通の増加等により，地区内で，土，日，祝祭日を中心に慢性的な交通渋滞が発生している現状があります。

## 御所見地区地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## みんなが楽しめる心なごむ田園パーク・御所見

### まちづくり事業

#### 1 田園パーク構想推進事業

「少年の森」と、隣接する「健康の森」を結ぶことにより北部観光の振興拠点とすることの検討を進めるとともに、富士山・大山を望む観光ルートや荒廃農地利用について庁内関係課との協議を進めます。また、地区の農畜産物の付加価値を高め、「御所見ブランド」の創出を目指します。

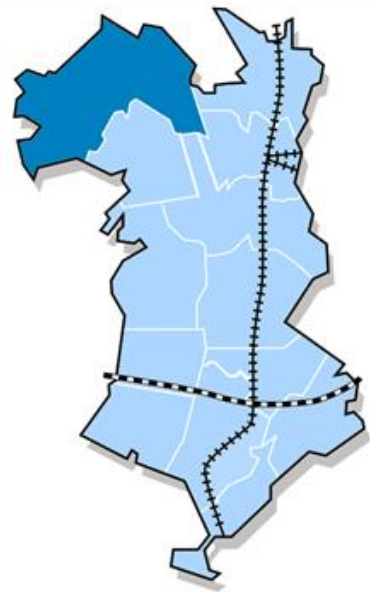
さらに、花桃祭り、れんげの里まつり、彼岸花まつり、ざる菊鑑賞ツアーなど地域団体が実施している事業の展開と合わせ、農地や樹林地、豊かな水系に恵まれた地域特性を生かし、四季折々の花に彩られた環境整備や高齢者が活躍できる場の提供を、地域団体やボランティアと協働して進めます。

- (1) 「少年の森」と「健康の森」を結ぶルートの整備や、拠点としての「少年の森」及び周辺整備の検討
- (2) 地区内の農畜産物を使用した「食」の提供促進と「御所見ブランド」の創出、加工施設の検討
- (3) 地域団体、ボランティアと連携し地区内の花の植栽を進めるとともに、高齢者の活躍の場を創出

#### 2 情報発信推進事業

地域の歴史、身近な話題など地域に密着した情報を提供するとともに、地域の魅力を外部に発信していきます。

- (1) ホームページによるリアルタイムな情報提供と発信
- (2) 広報誌等による地域情報の提供



---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

「少年の森」を地域の拠点施設として位置づけていますが、青少年健全育成施設であることから、その活用においては管理主体との調整が必要となります。

従来の青少年健全育成施設の機能に加えて、外部からの誘客施設、中高年者も自然に触れ、憩える施設とすることを目指し、具体化に向け関係課と協議を進めます。また、「御所見ブランド」としての地元食材を使用した料理の提供や、高齢者の智慧を活用した伝統的製品の復活・販売により自主運営できる施設の建設なども視野に入れた周辺整備についても、更に研究を進めることが必要です。



# 新たな時代を拓く「健康と文化の森」を創造し “人と自然がいきづくまち” 夢のあるまち遠藤を目指します

## まちづくり事業

### 1 高齢者見守りネットワーク体制推進事業

地域団体やボランティア団体と行政とが連携し、高齢者が安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、健康づくりや交流事業を通じた見守り活動の推進と居場所づくり、地域人材の育成に向け高齢者見守りネットワーク体制を構築し、支えあう地域社会づくりを推進します。

### 2 地域活動の広報充実事業

「遠藤まちづくりニュース」等の広報紙について地域活動の紹介やイベント情報を充実し、豊富な内容にするとともに、遠藤地区ポータルサイトを活用した地域イベント情報の積極的な発信や、慶應義塾大学との情報連携を推進するなど、各種媒体を用いた効果的な地域情報の提供と地域のPRに取り組みます。

### 3 避難行動要支援者支援体制整備事業

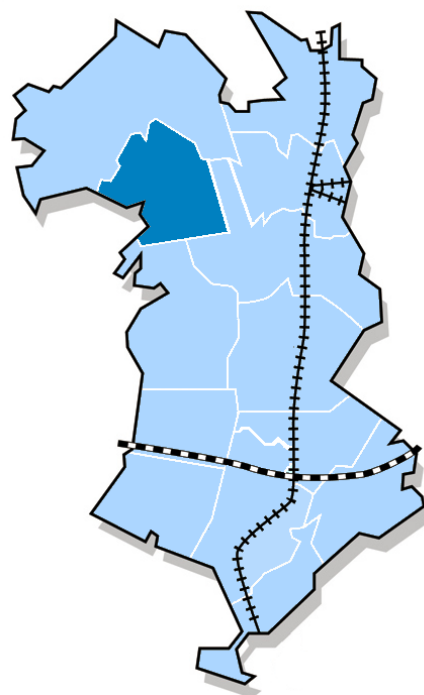
「避難行動要支援者」をはじめ避難支援を要する全ての人が、災害時に近隣住民が声をかけあい、支えあい、手を差し伸べることで安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、関係団体と連携し避難行動要支援者支援体制の構築に向け、自治会への支援を推進します。

### 4 遠藤魅力アップ推進事業

健康の森や小出川に残る良好な自然や史跡、果樹園等を巡る散策路（フットパスネットワーク）の整備を推進し、自然や農業、お祭りなどの地域資源を結び、関係団体や関係機関と連携して地域の魅力を高める取り組みを進め、観光や農業の振興を図ります。

### 5 自然環境推進事業

地域の資産である健康の森や小出川などの良好な自然を保全し、郷土愛あふれる地域づくりを推進するため関係団体や学校、慶應義塾大学、行政等と連携し、清掃活動や自然体験学習等を通して、意識啓発と保全活動に取り組む人材の育成を図ります。



## 6 道路環境整備事業

歩行者及び車両が安全に通行できる、安全安心な道路環境を推進するため、地域と行政が一体となって地区内の狭あい道路など交通危険箇所の改良整備を進めます。

また、地区内の交通不便地域の解消に向け、調査研究を進めます。

## 7 魅力と活力あふれるまちづくり推進事業

「藤沢市都市マスタープラン」や「健康と文化の森地区まちづくり基本計画」に基づき、今後予定される新たなまちづくりの方向性について、地域団体や関係機関、慶應義塾大学や行政等と連携し、地区の将来的発展を見据えた土地利用や交通、景観等について検討し、都市拠点機能や観光拠点機能を高め、魅力と活力あふれるまちづくりの実現に向けた取組を進めます。

## 8 伝統文化継承事業

遠藤地区には、本市の無形文化財に指定された「遠藤ささら盆おどり」や「焼き米搗き唄・臼引き唄」があり、地域に伝わる貴重な文化資源となっています。これらの民俗芸能を次世代に引き継ぎ、歴史や文化を語り継ぐことで郷土に対する愛着を深めていくことが大切です。そのため、子ども達の体験や学習の場、民俗芸能保存団体の活躍の場を広げ、広報活動に積極的に取り組むことで、担い手の育成と伝統文化の継承に向けた支援を図ります。

---

## 長期的に取り組む地域課題等

相鉄いずみ野線延伸に伴う新駅周辺のまちづくりについては、都市拠点として都市機能の充実を図り、地域活力を高める重要な事業であり、地域が行政と連携協力し長期的に取り組む課題となっています。

また、集中豪雨による浸水被害が度々発生しており、地域住民が安全安心に生活できる環境の整備に向け、浸水対策は長期的に取り組む課題となっています。

超高齢化社会が進行するなかで、誰もが住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができるよう、地域資源のつながりと連携を深め、住民一人一人が互いに支えあう地域社会の実現が、長期的に取り組む課題となっています。

## 長後地域活性化事業

まちづくりのテーマ

### さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環

#### 地域活性化事業

##### 1 健康づくり普及事業

地域に根ざした健康づくりを普及させるために、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を実施します。

(1) 健康づくりに関する講座の実施

##### 2 長後すくすく応援事業

子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やグループ、ボランティア等が一堂に会する長後版の子育てメッセを開催し、子育て世代の親子の仲間づくりと子育てに役立つ情報の提供、意見交換など地域で子育てを支援していく体制を推進します。

(1) 「長後子育てメッセ」の開催

##### 3 地産地消推進事業

長後地区で栽培されている果物やその他の特産物を紹介するとともに、商店街の活性化にもつながる地産地消のイベントを行います。

(1) 地産地消イベントの実施

##### 4 地域人材発掘・育成事業

地域社会の高齢化等が進む中で、今後の地域コミュニティをさらに発展させていくために必要な人材の発掘や育成について、情報交換の場づくり等の調査研究を行います。

(1) 人材育成講座の開催等

##### 5 ちよご見守りネットワーク事業

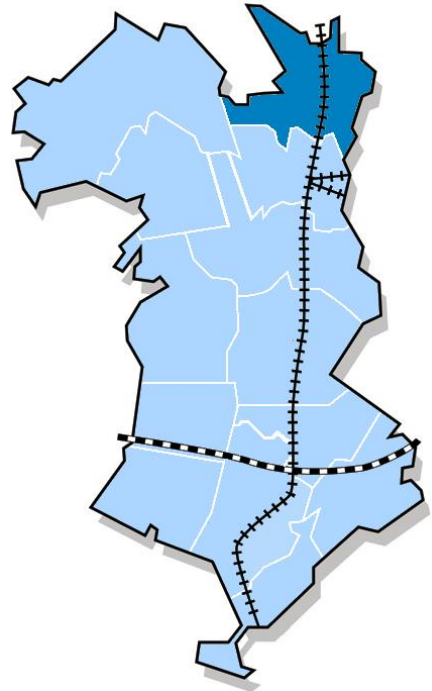
住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、高齢者を支える「ちよご見守りネットワークシステム」の定着と推進を図ります。

(1) いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）と連携した、見守り・声かけなどの推進

##### 6 観光・歴史資源開拓事業

長後地区内の名所、旧跡の説明板の整備や観光資源の開拓等を行います。

(1) 名所、旧跡説明板の設置等



## 7 交通手段支援事業

長後地区の交通不便地域解消のため、新たな交通手段の実施に向けた調査や検討を行います。

- (1) 住民ニーズの調査
- (2) 移動手段や手法の検討

## 8 花いっぱい運動推進事業

長後地区内の花のボランティア団体の花の植栽活動を支援するとともに、地域の人が親しみを持てる花壇の整備を行い、きれいなまちづくりを進めます。

- (1) 花の広場の管理
- (2) プランターへの花植え等

## 9 長後子ども安全ネットワーク事業

児童生徒が登下校時に安心して通学できるよう、スクールガードリーダーを中心とした子どもを守るネットワークの強化と情報交換等を行い、防犯意識の高揚と防犯対策の推進を図ります。

- (1) 安全安心ネットワーク会議の開催
- (2) 安全パトロールの実施

## 10 安全・安心ステーション運営事業

防犯情報の共有や情報交換、防犯パトロールなど地域防犯活動の拠点施設である「安全・安心ステーション」の運営に対して支援を行います。

- (1) 今後の事業展開を含めた有効活用策の検討等

---

## 長期的に取り組む地域課題等

都市計画道路の早期整備により長後駅周辺の通過交通を排除し、慢性的な交通渋滞を緩和するとともに、狭あいな生活道路の解消や駅周辺から離れた地区の交通手段の確保等都市基盤整備の不足を解消する取組が課題となっています。

また、長後駅入口交差点から長後市民センターに至る市道長後725号線の歩道整備により、地域の住民が安全に通行できる環境整備を進めることが急務となっています。

## 歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち ” 湘南辻堂 ”

### まちづくり事業

#### 1 生活マナーアップ啓発事業

現在、自転車・ペット・ごみ等の生活マナーの啓発については地域団体によりチラシの配布、キャンペーンの実施、看板の設置等が行われています。

それらの個別的な取組から、地区が一体となって総合的な取組を実施することにより、地域住民や来訪者(観光客)のマナーの向上を図り、地区の生活環境の向上を図ります。

- (1) チラシ・パンフレット等による啓発活動
- (2) キャンペーンの実施
- (3) マナー啓発看板の設置

#### 2 青少年育成推進事業

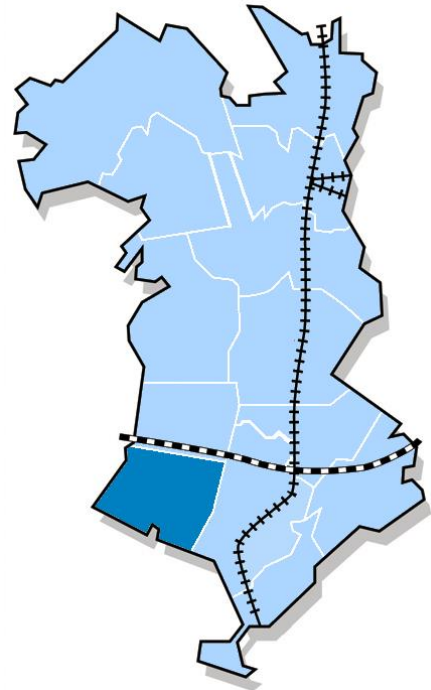
青少年の健全育成については、青少年育成協力会や青少年会館等によって取組が進められていますが、さらに体験学習や地域の子どもと中学校や高校の部活動等との交流を進めるとともに、子どもが安心して屋外で遊べるような地域で子どもを見守る環境づくりをめざし、講演会の開催や、見守りボランティアの育成などに取り組みます。

- (1) 子どもと中学校・高校の部活動等との交流
- (2) 地域スポーツの応援活動
- (3) 青少年の健全育成を目的とした体験学習の実施
- (4) ビーチクリーンやボランティア等地域活動の実施
- (5) 子どもの見守りに関する講演会の開催
- (6) 子ども見守りボランティアの育成
- (7) あいさつ・声かけ運動の推進

#### 3 健康推進事業

「私たちの藤沢 健康都市宣言」に基づき、地域ぐるみで健康づくりに取り組み、地域で健康な生活を続けていくことをめざし健康に関する講座等を開催します。

- (1) 身体を動かす講座の開催
- (2) 手軽に取り組めるスポーツの普及促進講座の開催



- (3) 医療機関と連携した健康講座の開催
- (4) 心のバリアフリーの推進

#### 4 防災対策推進事業

東日本大震災以降、地域で高まった津波への不安を軽減するほか、津波をはじめとする災害に対する正しい知識情報の発信を目的とした防災対策講演会の実施など地域でできる防災対策を進めます。

- (1) 防災対策の推進
- (2) 防災対策講演会の開催

#### 5 湘南辻堂地域ブランド情報発信事業

地域への誇りや愛着が育まれるよう、地域ブランド、地域グルメを生み出すための取組を進めます。

また、地産地消のきっかけづくりを図るため、平成22年度から実施している「辻堂朝市」を引き続き実施します。

- (1) 地域ブランド認定組織の立ち上げ、基準策定、認定、情報発信
- (2) 地域グルメの開発・普及
- (3) 辻堂朝市(地産地消の取組)の実施

#### 6 伝統文化継承事業

地区に伝わる伝統文化についての情報発信や講座の開催などに取り組みます。さらに、地区内に点在する地区の財産である名所旧跡についても、「辻堂ふるさとマップ」を活用した周知や、それらについての説明板の新設や更新を行います。

- (1) 伝統文化についての情報発信
- (2) 伝統文化伝承講座の開催
- (3) 辻堂ふるさとマップによる周知
- (4) 地区内名所旧跡の説明板の新設・更新

#### 7 環境美化キャンペーン事業

地区内の環境の美化を進めるための取組として、現在、地区生活環境協議会等により様々な取組がなされています。その実績を踏まえ、さらに地区内の環境美化を進めるキャンペーン等を行います。

あわせて、まちと自然が調和する辻堂駅南海岸線及びその周辺の美化や辻堂駅南口の美化を推進します。

- (1) 効果的なクリーンキャンペーンの実施方法の検討
- (2) 辻堂駅前美化活動の検討
- (3) 辻堂駅南海岸線及びその周辺の全体的な美化計画の検討

#### 8 商店街活性化イベント実施事業

商店街を活性化するため辻堂商店会連合会などと協働し、商店街を利用するきっかけとなるイベント等の開催を検討します。



また、地元商店街のホームページを充実させ、商店街の買い物、イベント等の情報発信を行います。

- (1) 商店街活性化イベント等の開催の検討
- (2) ホームページ等による商店街の情報発信の充実・推進

## 9 地域拠点施設提言事業

地区における行政サービス提供の拠点であり、災害時には地区の防災拠点となる辻堂市民センター・公民館は、老朽化や駐車スペースの不足など、その機能に様々な課題を抱えています。

市民センターの建て替えの時期にあわせて行ってきた提言の実現に向けて、取り組んでいきます。

- (1) 提言の実現に向けた取組

## 10 道路問題箇所改善事業

地区内の老朽化が進む道路問題箇所などを調査するとともに改善要望等を行います。

- (1) 道路問題箇所の改善要望

## 11 辻堂グリーン回廊事業

地区内の歴史的財産である名所旧跡や辻堂海岸遊歩道、引地川緑道などを自転車や徒歩等で巡るグリーン回廊を周知するため案内板等を整備するとともに、グリーン回廊ウォーキングを実施します。

- (1) 「辻堂グリーン回廊」の設定及び情報発信
- (2) 案内板等の設置
- (3) グリーン回廊ウォーキングの実施

---

## 長期的に取り組む地域課題等

海岸線に面している辻堂地区は、東日本大震災を契機として、津波避難対策や防災対策などへの関心が高まっています。

このため、市への提言・提案事項としては、地区防災拠点等の役割も担う辻堂市民センターの建て替えの要望書及び提言書を提出しています。老朽化への対応や地域からの要望が高い防災機能の充実を図るため、基本コンセプトに則った建て替えに向けて取り組みます。

そのほか、辻堂駅北口に大型店舗が進出したことにより、南北の交通渋滞が進んでいるため、この解消を図る南北線の早期開通が望まれています。

## 善行地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち

### まちづくり事業

#### 1 地域活動ネットワーク事業

地域住民が地域活動に参加しやすい環境をつくるため、地域で活躍する団体の情報等を発信し、住民同士のネットワークの構築を支援します。

- (1) 地域団体の様々な活動を発信する広報紙の発行等

#### 2 「ぜんぎょう」を知ろう事業

わがまち「ぜんぎょう」への郷土愛の醸成を図るため、「善行かるた」などを用いて、善行に関する様々な情報を地域住民に提供します。

- (1) 「公民館まつり」への参加による情報発信の支援
- (2) 「善行かるた」の普及・啓発
- (3) まち歩きの開催

#### 3 高齢者等移動支援事業

坂の多い善行で、高齢者や障がい者、子育て世代の親子など地区内を移動することに不便を感じる方々を支援します。

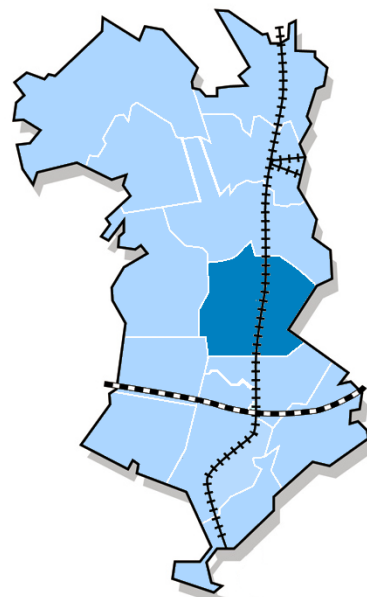
- (1) 特定非営利活動法人のりあい善行の運行に係る情報発信の支援
- (2) 善行西部地区における高齢者等の移動支援についての検討

#### 4 活気ある地域づくり事業

活気ある地域づくりを進めるため、自治会・町内会とも協力しながら、地域団体の活動や地域イベントの再構築など、地域の活性化を図ります。

#### 5 つづけよう きれいな善行

きれいで住みよい地域環境を保つため、地域団体と協力しながら、地域の美化推進を図ります。また、善行駅周辺のバリアフリー化について周知活動に取り組んでいます。



### 長期的に取り組む地域課題等

藤沢型地域包括ケアシステムの推進に伴い、地域で安全に安心して暮らせるよう、セーフティーネットの構築に向けた取組を具体的に進めるとともに、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催を機に、地域活性化に向けた取組を着実に進めていくことが求められています。また、地域のまちづくりの拠点となる善行市民センター・公民館については、平成 31 年度中の市民センター棟供用開始に向けて改築が進んでいます。

## 湘南大庭地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭

### まちづくり事業

#### 1 健康なんでも相談事業

生き生きと安心して暮らし続けるためには、地域住民自ら健康づくりに取り組んでいくことが大切です。健康づくりに関する講演会や相談会を開催し、健康への意識の高揚を図り、生き生き健康のまちづくりを推進します。

- (1) 地区住民の生活習慣、食事、運動などの改善を図るため、健康寿命を延ばすイベントや講演会を開催、又は協力するなどの取組を推進します。
- (2) 健康に関する専門機関と連携しながら、地区住民にとって身近な施設を利用して、「健康相談事業」を実施し、地区住民の健康増進に取り組みます。

#### 2 地域のゴミゼロ運動推進事業

地域の環境美化に取り組んでいるポイ捨て無くし隊は、地区内4小学校と石川小学校の子ども達を中心に多くのボランティアによって、道路・公園のポイ捨てゴミを無くす清掃活動を行っています。この活動への参加者の拡充を図り、地域が一体となった活動を推進します。

- (1) 年間5回実施するポイ捨て無くし隊活動を支援

#### 3 歩行空間バリアフリー事業

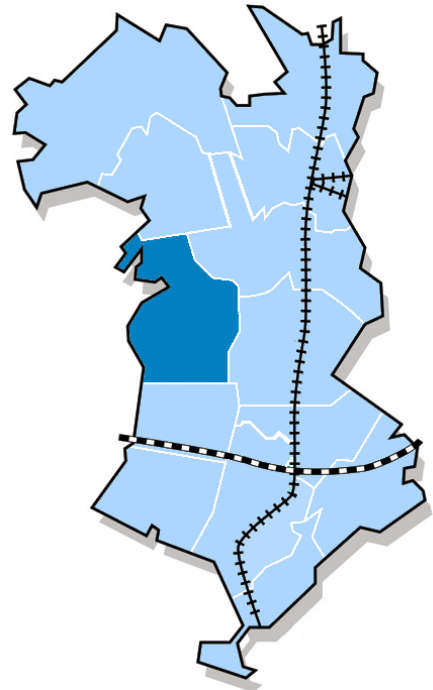
高齢者、障がい者の方々が外出しやすく、円滑に移動することが出来るように、交差点の歩道と車道の擦り付け約150箇所を計画的にバリアフリータイプの構造物に更新し、利便性、安全性の向上を図ることにより、誰もが安心して暮らせるまちの実現を目指します。

- (1) 歩道段差解消修繕の実施

#### 4 街路樹景観保全事業

辻堂駅遠藤線のケヤキ並木は、まちと自然が調和している街路樹として地域住民から大変親しみを持たれています。この地域資源としても重要なケヤキ約300本の定期的な剪定を実施し、辻堂駅遠藤線の景観を長く保全し維持していきます。

- (1) ケヤキ剪定作業の実施



## 5 健康増進公園改修事業

高齢者のみならず幅広い年齢層の市民が、日頃から身近なところで健康づくりを行えるように、地区内の公園に健康増進遊具を設置して健康増進公園として整備することにより、生き生き健康のまちづくりを推進します。

(1) 健康増進遊具設置工事の実施

## 6 健康体操普及推進事業

地区住民の高齢化に伴い、高齢者の自立した生活を支えるため、ラジオ体操を中心とした「健康体操普及推進事業」を進めます。

(1) 地区内の公園での朝の体操風景が日常化することで、参加者同士が顔見知りになり、人と人とのつながりによる健康づくりのまちを目指す。

## 7 まちづくり課題解決事業

「住みたい 住み続けたいまち、湘南大庭」のまちづくりを目指して、10年後のまちのイメージを描きつつ現在の課題を解決する方策を検討し事業化に取り組みます。

(1) 「高齢者支援」、「子ども・子育て育成支援」、「コミュニティ活動の活性化」の3つのテーマを中心とする課題解決事業を継続して検討する。

---

## 長期的に取り組む地域課題等

自治会の役員のみならず手が届かない、世代交代ができない、事業の継続が困難になっているなどコミュニティ活動の活性化が課題となっています。急速に進む高齢化を踏まえて、地域のなかで支援されるとともに支援する側にもなる高齢者が主役となって、子ども・子育て育成支援や高齢者の見守りなどを含めたコミュニティ活動に取り組んでいけるように、先進事例の調査・研究を行いながら具体的方向性と地区の社会資源を生かした事業化を検討していきます。

## 湘南台地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

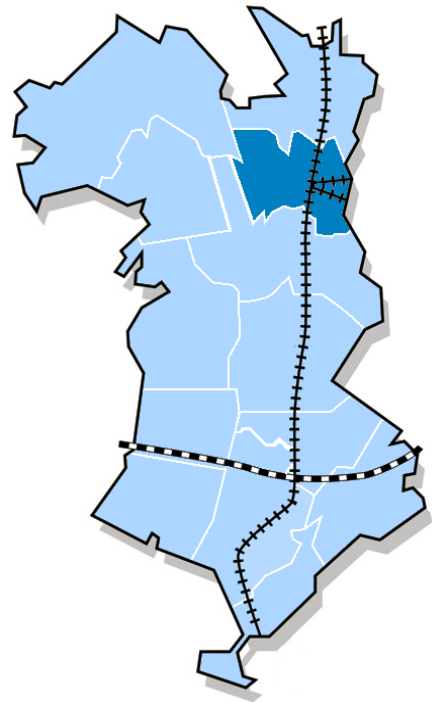
## 川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台

### まちづくり事業

#### 1 緑の回遊路事業

地区内には湘南台公園や円行公園など多くの公園があり、境川や引地川が流れ、身近に自然とふれあうことができます。さらに、今田遊水地や下土棚遊水地の上部利用計画が進められており、地区内に点在する神社仏閣や文化施設を含めた地域資産を有効に活用した緑の回遊路事業を推進し、豊かな自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる湘南台の新たな魅力づくりとその発信を進めます。

- (1) 「レインボータウンわくわくマップ」の更新
- (2) 緑の回遊路を発信するウォークイベント（湘南台さんぽ、湘南台七福神めぐり）の開催
- (3) 「(仮称)花のまち湘南台」に向けた緑の回遊路の充実



#### 2 子育てネットワーク事業

地区内に住む多くの子育て世代のために、保育園や幼稚園、子育て支援センター等の子育て関係機関や子育てサークル、地域団体等と連携して「湘南台子育て応援メッセ」を開催し、子育てに関する情報の提供や相談などの支援を行います。

- (1) 「湘南台子育て応援メッセ」の開催

#### 3 ようこそ先輩 in 湘南台事業

地区内の中学生の職業意識を育てることを目的に、主に湘南台中学校を卒業し様々な分野で活躍する先輩を講師として中学生との交流会を開催し、中学生が自分の将来を考える機会をつくります。また、あわせて地域・学校・PTAが連携し、地域で子どもを育てる郷土づくりを推進します。

- (1) 「ようこそ先輩 in 湘南台」の開催

#### 4 地域サポーター育成事業

地区内では様々な地域活動が行われ、地域のまちづくりに寄与していますが、担い手不足や高齢化が課題となっているため、地域貢献や社会貢献に関心を持つ方を対象に地域サポーター養成講座「ゆめまる地域塾」を開催し、地域を担う人材の育成を行うとともに、地域活動への参加を促進することにより、地域の活性化を進めます。

- (1) 地域サポーター養成講座「ゆめまる地域塾」の開催
- (2) 地域サポーター養成講座「ゆめまる地域塾」修了者の地域活動参加の促進

## 5 文化創造事業

地区の地域性や特性を生かし、人が集い活気にあふれる新たな魅力づくりを推進します。その中心的な取組として、多目的イベントを開催するなど、湘南台駅地下イベント広場を有効活用することにより、まちの活力創出を進めます。

- (1) 駅地下イベント広場での多目的イベントの開催
- (2) 駅地下イベント広場での展示ギャラリー機能の充実
- (3) 湘南台地区のマスコットキャラクター「ゆめまる・ゆめみん」の着ぐるみの活用

---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

交通や居住環境での利便性や満足度が高い反面、交通渋滞や放置自転車の増加など生活環境の悪化が懸念される状況にあります。また、市北部の都市拠点として、商店街を中心とした活力の創出が求められています。さらに、将来にわたり子や孫が愛着と誇りをもてる郷土づくりを進め、満足度の高いまちづくりを目標に、地域特性を生かした文化の創造や地域人材の育成と活用、地域コミュニティの充実などが地区の課題です。



## 鵜沼地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 緑と海と人が輝くまち 湘南ふじさわ鵜沼

### まちづくり事業

#### 1 鵜沼元気塾・鵜沼元気ひろば事業

2013年（平成25年）4月から鵜沼市民センターにおいて小学生の放課後の居場所として鵜沼元気塾を開始。2016年（平成28年）4月からは地区北部への拡大を図り、鵜沼元気ひろばを開始。地域の協力スタッフとの学習や交流を通じて、子どもたちの豊かな人間性を育みます。

- (1) 学校の宿題等の学習
- (2) 地域スタッフの企画による工作や遊び、音楽等
- (3) 夏季野外活動などの体験学習

#### 2 鵜まつり事業

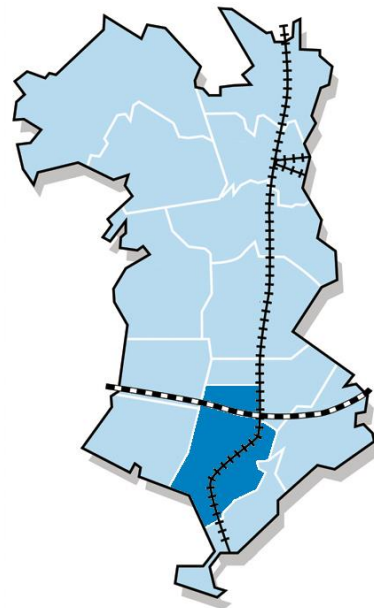
2009年（平成21年）から鵜沼のまちおこしとして鵜沼運動公園芝生広場で開催。地元の魚、野菜、雑貨、鵜沼魚醤を使った創作料理や、鵜沼公民館を中心に活動するサークルのステージ出演、フリーマーケット等、参加者全員で盛り上げ、地域のおまつりとして定着しています。

#### 3 認知症対策事業

地域において認知症への理解を深めるために講座や講演会を開催するなど、認知症の当事者やその家族が安心して暮らすことができる地域づくりを進めます。

#### 4 公園見直し事業

早期に整備され、設備が老朽化した公園をより利用しやすくするため、計画的に出入口の段差の解消、水飲場の改修等のバリアフリー化を行います。



### 長期的に取り組む地域課題等

鵜沼地区では、これまでのまちづくり事業や、喫緊の課題である津波避難対策等に継続して取り組むとともに、計画道路の問題や地域を支える地域団体、ボランティア等の担い手づくり（人材の発掘や育成）などの課題解決に向け、事業に取り組んでいきます。

## 歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点

### まちづくり事業

#### 1 藤沢宿活性化事業

藤沢地区には、旧東海道藤沢宿周辺を中心に、神社仏閣や史跡、蔵などの歴史的資源が数多くあります。このような歴史的資源を活用した地域イベント等を実施する活動を支援するとともに、より多くの方々が藤沢宿を訪れることによって、地区ににぎわいをもたらし、藤沢宿のさらなる活性化を図ります。

- (1) 藤沢宿まつりへの支援
- (2) 三宿連携事業への支援
- (3) トランスボックスラッピングの維持管理
- (4) 藤沢宿のPR

#### 2 西富憩いの森検証事業

誰もが身近に自然とふれあうことのできる憩いの場であり、地区内の貴重な緑地である西富憩いの森について、政策提言「『西富憩いの森』充実」の提言」を踏まえての再整備を行うことで、地域における多世代交流の促進を図ります。

- (1) 散策路の整備
- (2) 活用方法の検討

#### 3 地域緑化運動事業

藤沢地区における斜面緑地などを含む都心部の緑は、地域にとって貴重な財産であり、本市の市街地中心部にあって良好な自然的環境や景観を形成し、市民の生活に快適さや潤いをもたらしています。

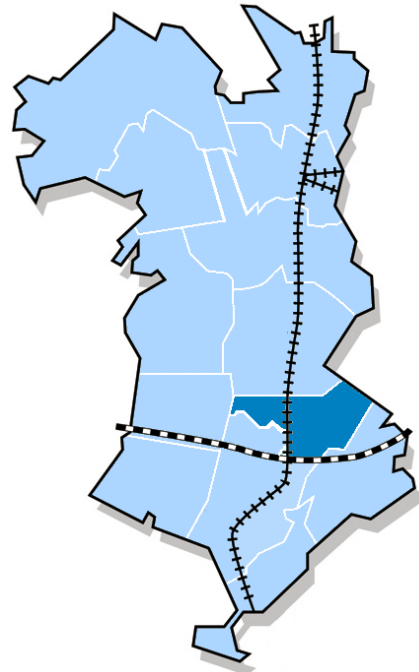
今後も緑豊かな潤いのある快適な生活環境の継続的な確保や市街地景観の形成・向上に向けて、緑の保全・緑化を推進し、身近な緑地の整備を進めます。

- (1) 地域の緑地の保全・整備

#### 4 地域の魅力発見事業

藤沢地区は古くからの街なみが今もなお残されており、旧藤沢宿にちなんだ寺社や建物を訪ねて多くの観光客が来ています。

こうした歴史と文化を併せ持つ、藤沢地区の魅力をより一層アピールするため、古くから桜の名所として知られている伊勢山公園周辺の整備を行い、地域の活性化に繋げて



いきます。

- (1) 伊勢山公園の桜の植樹，花壇などの整備

## 5 交通安全対策事業

藤沢地区は，JR・小田急線藤沢駅，小田急線藤沢本町駅周辺に通勤，通学あるいは買い物を目的とした自動車・バイク・自転車が集中するとともに，地区内を国・県道等の幹線道路が通過するなど，交通事故が発生しやすい道路環境となっています。

こうしたことから，地域の交通事故の発生場所を記したマップを作成し，地域住民に周知することにより，事故の防止を図ります。

- (1) 藤沢地区交通安全マップの更新

## 6 子どもの見守り活動事業

学校・家庭・地域の連携を図り，学校登下校時の子どもの見守り活動や，いきいき・のびのびとした地域交流ができる安全・安心・快適な環境づくりを進めます。

- (1) 関係団体による情報交換会の開催
- (2) 各種活動を通じた地域と学校との連携の強化

---

## 長期的に取り組む地域課題等

今後取り組む予定の地域課題としては，小田急線藤沢本町駅周辺の利便性の向上を図るため，藤沢本町駅周辺検証事業についてさらなる取組を検討します。

また，高齢者や障がい者が暮らしやすいまちとなるよう，地域生活改善事業についてさらなる取組を検討します。

なお，今後検討が予定される市への提言事項としては，緑地など，地域環境の向上を図ることを目的に，(仮称)大清水浄化センター周辺環境整備検証事業，公共施設のあり方検証事業などがあります。

## 村岡いきいきまちづくり事業

### まちづくりのテーマ

**ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか**

### まちづくり事業

#### 1 マナーアップ啓発事業

マナーやモラルについて責任ある行動を取ることにより、迷惑行為のない生活環境の実現を目指し、自転車の乗り方、ごみやたばこのポイ捨て、ペットの飼い方など地域生活を営む上でのマナーやモラルの向上に向けた事業を実施します。

- (1) ごみやたばこのポイ捨て等の禁止看板の作成及び自治会・町内会への配布
- (2) 自転車の安全な乗り方のマナーアップの啓発

#### 2 村岡あいさつ運動事業

学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの健やかな成長と安全・安心な環境づくりのため、これまでの地域住民による登下校時の児童や隣人に対する声掛け運動をさらに充実させるとともに、こうした声掛け・あいさつ運動を地域の中に広げ、根付かせていきます。

- (1) 地区内小中学校の登下校時にあわせ、児童・生徒に対しあいさつ運動キャンペーンを実施
- (2) ポスター・標語コンクールの実施

#### 3 公園環境整備防犯対策事業

地域の子どもたちがのびのびと健やかに育つために、公園の環境整備を実施するとともに、防犯の観点から、夜間暗い公園には照明灯を整備します。

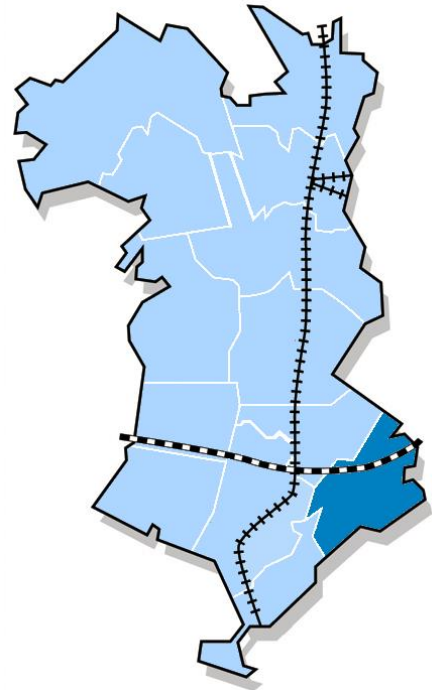
- (1) 公園小型遊具の整備の検討
- (2) 照度・省エネなどに配慮し、災害時にも有効なソーラーシステム蓄電池LED照明灯を整備

#### 4 地域防災力強化事業

地域防災力を強化するため、「地域防災ネットワークづくり」を進め、地域住民や団体、民間事業者、NPO、医療機関などの地域防災の担い手同士が顔の見える関係を構築します。

また、災害時における生活用水確保のための啓発事業を実施します。

- (1) 「地域防災ネットワークづくり」の推進



- (2) 災害時における生活用水確保のため、雨水貯留槽設置の推進
- (3) 災害ボランティアコーディネーターの育成

## 5 健康づくり推進事業

子どもから高齢者、障がいのある方まで、地域の誰もが心豊かで健康に過ごすため、地域での健康づくり事業を推進します。

- (1) 各自治会・町内会で公園体操の推進を図る
- (2) 街区公園等への健康遊具設置について市と連携を図る

## 6 犯罪のない安全安心まちづくり対策事業

「地域の安全は地域で守る」を合い言葉に安全・安心なまちづくりを進めるため、児童の下校時における見守りをはじめとした防犯活動を支援・推進します。

- (1) 愛犬家を対象としたわんわんパトロールの推進

## 7 歩道等通行環境整備事業

住む人、働く人、訪れる人、誰もが安心して快適に過ごせ、これからも住み続けたいと思えるようなまちづくりのため、道路環境、特に子ども、高齢者、障がいのある方など歩行者の安全確保のための整備を中心に進めます。

- (1) 主要幹線歩道のバリアフリー化の実施（段差解消等の整備）

## 8 村岡美化活動事業

美化運動を推進するとともに緑豊かな環境づくりを進め、美しく住みよい地域社会を築き、生活環境に対する意識の高揚を図ります。

- (1) 地区一日清掃の実施
- (2) 緑豊かな環境づくりの推進を目的とした講演会等の実施

## 9 自治会加入促進事業

自治会・町内会の活発な活動は、防犯・防災などに大きな力を発揮することから、自治会・町内会への加入促進を図り、地域の連帯と助け合いの精神を醸成します。

- (1) 自治会・町内会未加入世帯に対し、加入促進リーフレットの配布

## 10 史跡案内板設置事業

地域の歴史的財産、自然的資源の素晴らしさを広く地域住民に周知を図るため、名所・史跡の所在を表す史跡案内板を設置及び歴史や魅力を知るためのパンフレットの配布を行い、郷土愛あふれた「輝ら里 むらおか」の実現を目指します。

- (1) 史跡案内板の設置
- (2) パンフレット・リーフレットの配布及び更新

## 11 高齢者見守り事業

地域包括支援センター、地域の民生委員や地域団体等が連携し、支援を必要とする高齢者の把握と見守る支援体制は市を中心に構築されていますが、高齢者が安心して暮らすことができる地域づくりのため、地域独自の事業の構築を目指します。

(1) 地区内の福祉を中心とした情報を紹介する広報誌の作成

---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

平成22年度に、村岡新駅を中心としたまちづくりの実現に向けて取り組むための指針として策定した「村岡地区まちづくり計画」の実施に向けた取組及び県道横浜藤沢線の川名以南の延伸を将来的な長期課題としています。

また、村岡公民館については、老朽化が著しく、手狭な状況であるとともに、バリアフリー対策が十分ではないことなどから、早期に改築する必要があります。



藤沢市市政運営の総合指針2020  
—郷土愛あふれる藤沢をめざして—  
事業集

(平成30年度版)

企画政策部 企画政策課

〒251-8601 神奈川県藤沢市朝日町1番地の1

電話 0466(25)1111 (代表) 内線 2175

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp>